

# 第7回 学生生活実態調査報告書

平成26年度

弘 前 大 学

## はじめに

4年に一度発行している本学の学生生活実態調査報告書ですが、今回は平成22年度に続いて7回目となります。

かつて「学生の視点に立った、学生中心の大学が基本である」（廣中レポート、2000）と言われてきましたが、今や大学には実に多様な学生が入学するようになり、各大学における「学生中心」の実質化が問われています。このような時代の変化に対応して、大学も日々進化し続けなければなりません。学生生活における環境面はもちろんのこと、多面的な学生支援を充実させることがますます重要となっています。

したがって、大学における学生支援をより実践的なものにするには、まずは在籍している学生の現状を理解し、これらを中心にどのように学生を支援していくかを考えることが基本となります。

今回の調査は、この点において大変重要な意味を持っています。学生がどのような生活を送っていてどのようなことを考えているのか。大学に対してどのような意見や要望、不満をもっているのか。今回寄せられたこれらの声すべてが、学生がより充実した学生生活を送るための環境づくりへのヒントとなります。また、在籍している学生に対して、大学はどのような理念とプランを持って教育を行い、どのように学生支援を行っていくべきかにおいても、大きな手がかりとなることでしょう。

本調査を受けて工夫した学生生活環境や学生支援により、学生生活における様々な困難が少しでも軽減し、個々の学生がのびのびと学生生活を送り、大学における自己の目標を達成して社会へ巣立っていくことができれば、教職員にとってもこの上ない喜びです。

今回この調査に協力してくれた全ての学生に感謝すると同時に、多忙の中、報告書をまとめてくださった教職員の皆さんには心から感謝します。

また、今回の実態調査はインターネットシステム上での回答、集計が行われました。本報告書作成に当たり、膨大な量のデータを処理してくださった総合情報処理センターの皆様にも心より感謝します。

平成27（2015）年3月

理事（教育担当）・副学長

伊藤 成治

# 目 次

■ 第一章 調査の概要と回収状況 .....	1
■ 第二章 回答者のプロフィール .....	4
■ 第三章 弘大生の学業生活 .....	11
■ 第四章 弘大生の進路への希望と考え方 .....	27
■ 第五章 弘大生の学生生活と人間関係 .....	33
■ 第六章 弘大生の健康 .....	42
■ 第七章 弘大生の経済状況 .....	50
付録1 経年変化に関する結果	
付録2 Web ベース調査による回答状況	
付録3 調査票	
付録4 単純集計表	

## ■ 第一章 調査の概要と回収状況

本学では、学生の生活実態を把握し、大学として自己点検評価並びに今後の福利厚生施設等の改善、修学支援充実を図るための基礎資料を得ることを目的に、4年ごとに学生生活実態調査を行っており、平成26年が第7回調査の年に当たる。そこで平成26年1月に学生生活実態調査専門委員会が学内に組織され、この委員会においてアンケート調査の方法と質問内容が検討され、10月1日～10月15日に調査が実施された。

今回の調査では、紙媒体の調査票を配布・回収する従来の調査方法に替わり、インターネット上で質問に回答するWeb入力方式が初めて採用された。このWeb入力方式への変更は、前回調査で回答者からWeb上での調査を望む声が寄せられていたことと、弘前大学総合情報処理センターの全面的な協力によって実現した。

調査対象は、前回の調査同様、学生の声をできるだけ広く汲み上げるため全学部生・大学院生とし、学内の調査用Webサーバ(LimeSurvey)へログインするためのトークン(対象者個々に割り振られ一度だけ使用できるパスワード)を印刷した調査案内文書を、前期成績表配布期間中に成績表と併せて学部生・院生に配布した。調査内容は性別・年齢・学部所属等の個人プロフィール的事項、学業、進路、人間関係と学生生活、健康、経済の6つのパートから構成され、質問項目数は学部学生・大学院ともに前回よりも2項目ずつ増え、学部が77項目、大学院が73項目となった。また、質問内容については、時勢の変化に対応してSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)に関する質問事項を新たに含め、大学院生の実情に合わせた選択肢を用意するなど若干の変更・加除を行ったが、基本的には前回と同様の質問項目が用意された。

学部生については、学生総数6,101人に対しトークンの実配布数が5,361で配布率は87.9%、回答者数は1,468人で全学部生の27.4%がアンケートに答えたことになる。大学院生については、院生総数789人に対しトークンの実配布数が695で、配布率は88.1%、回答者数は189人で27.2%の院生がアンケートに答えたことになる。回答率(入力完了者率)は、学部生では全学部生を対象に調査が実施されるようになった前々回の調査(第5回)を10.4ポイント下回り、前回調査(第6回)を6.4ポイント上回っている。また、院生では、全大学院生を対象に調査が実施されるようになった第4回調査以降で最も高く、前回は2.0ポイント上回っている。

学部別及び研究科別の集計を表1-1aと表1-1bに示した。

回答率を学部別に見ると、最も高かったのは医学部医学科32.9%であり、次いで理工学部・農学生命科学部・人文学部がほぼ同率で続き、医学部保健学科と教育学部では22%と低かった。前回と比べると、回答率は教育学部で5.3ポイント下がり、他の4学部では平均して11.3ポイント(1.6～19.1)上がっている。特に増加が目立つのは、医学部医学科(19.1ポイント増)と理工

表 1-1 a 配布数と回答率の学部別集計

学部名	学生数	配布数	配布率	回答者数	回答率	構成比	
						母集団	サンプル
人文学部	1,474	1,296	87.9%	367	28.3%	24.2%	25.0%
教育学部	1,013	883	87.2%	193	21.9%	16.6%	13.1%
医学部医学科	735	675	91.8%	222	32.9%	12.0%	15.1%
医学部保健学科	825	776	94.1%	178	22.9%	13.5%	12.1%
理工学部	1,275	1,078	84.5%	317	29.4%	20.9%	21.6%
農学生命科学部	779	653	83.8%	191	29.2%	12.8%	13.0%
計	6,101	5,361	87.9%	1,468	27.4%	100.0%	100.0%

表 1-1 b 配布数と回答率の研究科別集計

研究科名	学生数	配布数	配布率	回答者数	回答率	構成比	
						母集団	サンプル
人文社会科学研究科	35	28	80.0%	9	32.1%	4.4%	4.8%
教育学研究科	81	57	70.4%	8	14.0%	10.3%	4.2%
医学研究科	208	190	91.3%	57	30.0%	26.4%	30.2%
保健学研究科	95	89	93.7%	13	14.6%	12.0%	6.9%
理工学研究科	231	216	93.5%	81	37.5%	29.3%	42.9%
農学生命科学研究科	103	79	76.7%	15	19.0%	13.1%	7.9%
地域社会研究科	36	36	100.0%	6	16.7%	4.6%	3.2%
計	789	695	88.1%	189	27.2%	100.0%	100.0%

学部（13.5ポイント増）である。なお、学部間の在籍者数と回答者の構成比に大きな違いはみられなかった。

大学院の回答率を研究科別に見ると、理工学研究科が37.5%で最も高く、次いで人文社会科学研究科、医学研究科の順に高かった。前回と比較すると、これらの3研究科では回答率が平均して10.5ポイント（6.3～13.2）上がっている。これに対して、他の4研究科では回答率が平均して10.5ポイント（4.4～16.7）下がっている。これらの研究科で回答率が下がった要因として、働きながら学んでいる社会人入学生が多い、配布率が低い、調査期間中にグループウェアを利用できなかったことなどが挙げられる。なお、研究科間の在籍者数と回答者の構成比は、理工学研究科で歪みが最も大きく、回答結果には13%ほどの過大評価が反映されることになる。

今回の調査では、回答途中にログアウトし回答入力が無完了だったデータが193人分（学部学

生 164, 大学院生 29) あり, これらは集計から除外された。未完了データについては, Web 入力方式を採用したことでログアウトまでの時間や質問への回答状況を分析することができた。それらの結果と対策は, 付録 2 の「Web ベース調査による回答状況」にまとめられているので, 今後の回答率の向上のためにも是非参照していただきたい。

最後に, 今回の調査では, 学部・大学院の全学生を対象としたにもかかわらず, トークンが記載された調査案内文書の配布率が 90%に満たなかった。今回, トークンは二重の入力を防ぐ目的で用いられたが, 一部の学生からは「トークンが記述された調査案内文書を受け取っていない」, 「そう言えば前期成績表と一緒にそんな用紙も受け取ったような気がする」という声も聞かれた。トークンの使用については調査専門委員会で検討を重ねたが, 今後はトークンを用いることの妥当性と配布方法についてさらに検討が必要であろう。また, 回答率を高める上で何よりも重要なことは, 学生に調査の意義と目的を啓発し, 協力することの認識と意欲を高めることである。学生が抱えている心理的・物理的・経済的・社会的問題や学生から見た大学全体の問題を計量的に把握する上で本調査の意義は極めて深い。しかしながら, 本調査がその存在意義を果たすためには, 調査結果にもとづく変化が具体的に示されなければならない。

学生・院生にはもちろん, 教職員の皆さんにも今後の学生生活の改善にこの報告書を大いに役立てて欲しいと願うと同時に, よりよいキャンパスライフに向けた大学としての取り組みにも本報告書を活用していただきたい。

(石川 玲)

## 第二章 回答者のプロフィール

本章ではアンケート回答者の性別，年齢，所属学部，出身地等一般的プロフィールを整理し，過去の調査報告書と比較しながらそれぞれの傾向について分析する。

### 2.1 性別

全学部の回答者総数は1,468人であり，そのうち男子は748人(51.0%)，女子は720人(49.0%)であった(図2-1a)。全学部の在籍者総数は6,101人であり，男子は3,498人(57.3%)，女子は2,603人(42.7%)であるので，男子の21.4%，女子の27.7%がアンケートに回答したことになる。一方，大学院生の回答者総数は189人であり，男子は139人(73.5%)，女子は50人(26.5%)であった(図2-1b)。全学の大学院在籍者総数789人のうち，男子は538人(68.2%)，女子は251人(31.8%)であるので，男子の25.8%，女子の19.9%がアンケートに回答したことになる。

回答者の男女比は，学部生では約50%であり，全学部生を対象とした過去2回の調査と比べて男子で6～9ポイント増加している。これに対して院生では，男子73.5%，女子26.5%であり，過去3回の調査と比べて男子で7～10ポイント増加しており，学部生・院生ともにアンケートに回答した男子学生が増えている。

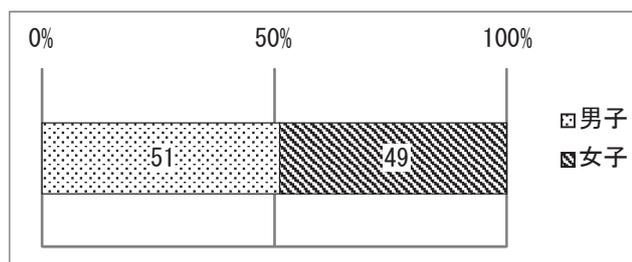


図2-1a 回答者の性別 (学部)

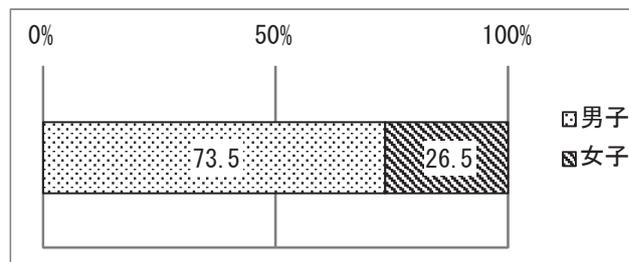


図2-1b 回答者の性別 (大学院)

学部別に見た回答者の男女比は，図2-2aのように人文学部，教育学部，医学部保健学科では60～70%が女子なのに対して，医学部医学科，理工学部，農学生命科学部では20～40%にとどまっている。これは学部間の在籍者の男女比を反映しており(図2-2a，▽が在籍者数を100%としたときの男子の比率)，それぞれの学部における回答者の男女比は在籍者の男女比とほぼ一致している。前回と比べると，人文学部，教育学部，農学生命科学部では男子学生の割合が5～9ポイント高まっている。

一方，大学院の方では，人文社会科学研究科で女子が67%を占めているのに対して，教育学研究科と理工学研究科では男子が約85%を占めている(図2-2b)。特に人文社会科学研究科では女子の比率が前回よりも41ポイント増加し，教育学研究科では男子の比率が50ポイント増加している。

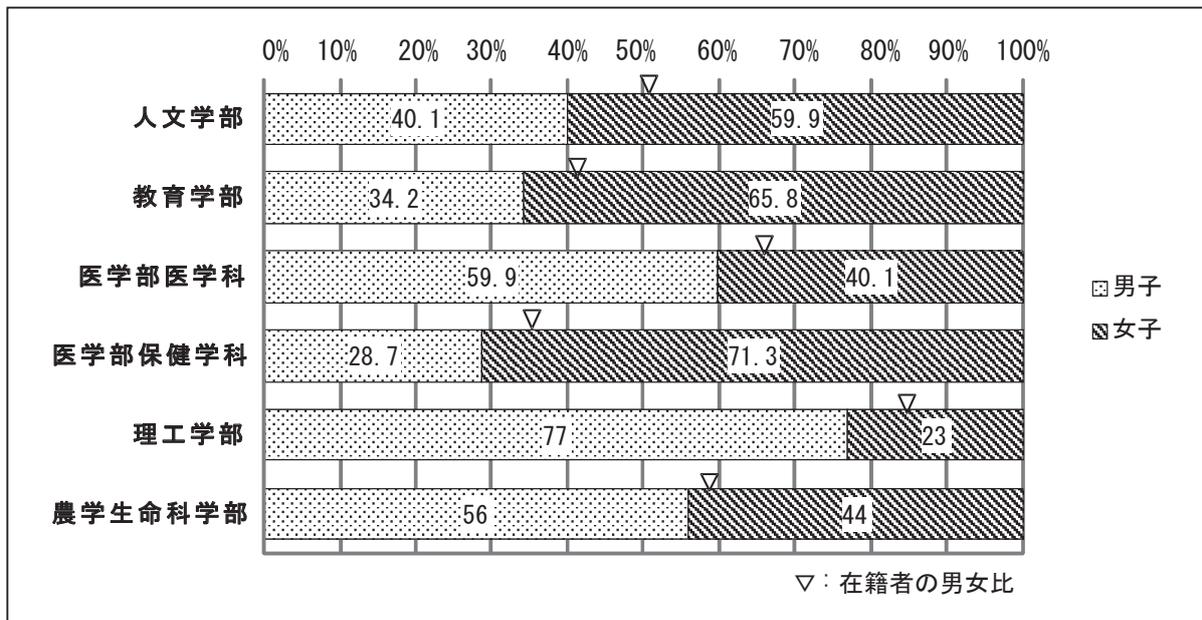


図2-2a 学部別に見た回答者の男女比

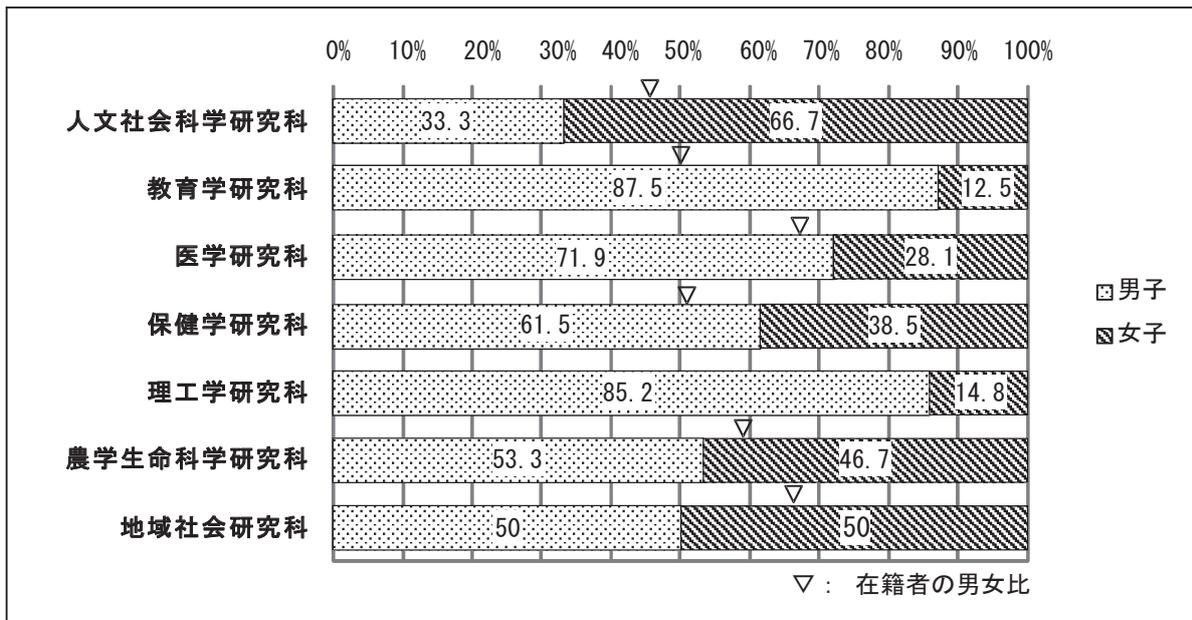


図2-2b 研究科別に見た回答者の男女比

回答者と在籍者の男女比を見ると、人文社会科学研究科と地域社会研究科では女子の回答者の割合が在籍者の男女比よりも高く、教育学研究科では男子の回答者の割合が在籍者の男女比よりも高い。これらの3研究科の回答結果は、男女どちらかの回答が過大に反映されていることを考慮する必要がある。

## 2.2 年齢

回答者の年齢は、学部生では18歳から38歳まで幅広く分布し、男女ともに19歳から21歳に集中している(図2-3a)。18歳と22歳の学生の人数が少ない背景には、誕生日と調査の実施時期(10月)が関係している。25歳以上の回答者は全回答者の5%を占め、その6割以上が2~3

学年に在籍している。

大学院生の年齢分布は22歳から57歳まで幅広く、22～24歳に集中しているが、大学院へ進学するもうひとつの小さなピークが30歳台に見られる（図2-3b）。

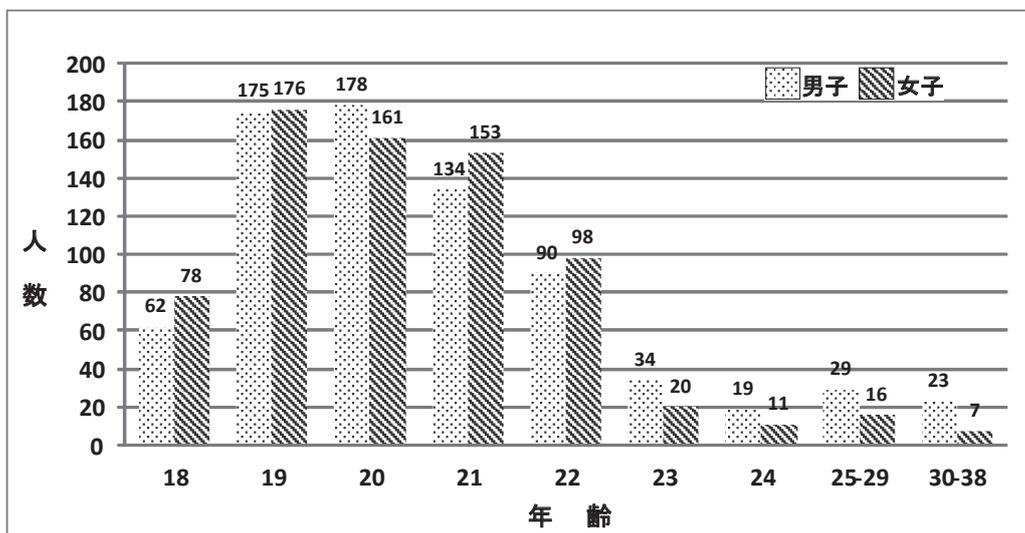


図2-3a 回答者の年齢の分布（学部）

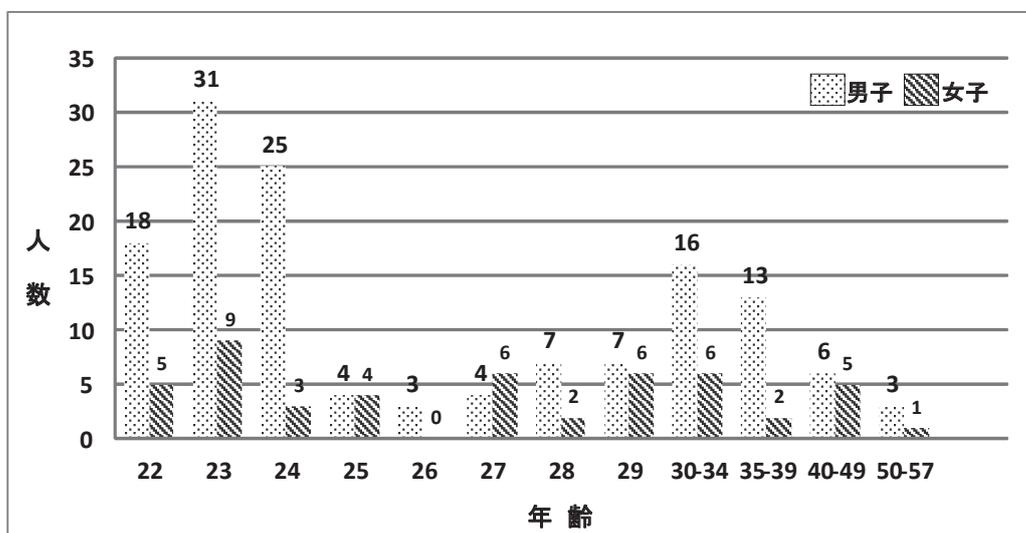


図2-3b 回答者の年齢の分布（大学院）

### 2.3 所属学部・学科

回答者の所属学部・学科は、多い順に人文学部 367 人 (28.3%)，理工学部 317 人 (29.4%)，医学部医学科 222 人 (32.9%)，教育学部 193 人 (21.9%)，農学生命科学部 191 人 (29.2%)，医学部保健学科 178 人 (22.9%) であった。学年別では、1 年生 422 人 (28.7%)，2 年生 347 人 (23.6%)，3 年生 351 人 (23.9%)，4 年生 309 人 (21.1%)，5 年生以上の者 39 人 (2.7%)

であり、学年が進むにつれて回答者が減少している。前回調査では、3年生の回答者数が最も多く2年生が最も少なかったため、学年による回答率の増減パターンには共通性を見いだせなかった（表2-1a）。

表2-1a 回答者の所属（学部）

	人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	計
1年	108	68	31	58	84	73	422
2年	92	50	7	44	109	45	347
3年	82	37	74	35	81	42	351
4年	85	38	71	41	43	31	309
5年	-	-	12	-	-	-	12
6年	-	-	27	-	-	-	27
計	367	193	222	178	317	191	1,468
在籍者	1,474	1,013	735	825	1,275	779	6,101

大学院では、理工学研究科が最も多く79人（43.4%）、最も少ないのは地域社会研究科の6人（3.3%）である（表2-1b）。前回調査よりも回答者数が増加したのは、理工学研究科（28人）、医学研究科（18人）、人文社会科学研究科（5人）、地域社会研究科（2人）であり、逆に減少したのは農学生命科学研究科（20人）、教育学研究科（8人）、保健学研究科（4人）である。

表2-1b 回答者の所属（大学院）

		人文社会 科学研究科	教育学 研究科	医学 研究科	保健学 研究科	理工学 研究科	農学生命 科学研究科	地域社会 研究科	計
修士 博士前期	1年	7	6	-	4	37	8	-	62
	2年	2	2	-	3	34	7	-	48
博士 博士後期	1年	-	-	6	1	2	-	1	10
	2年	-	-	15	1	3	-	1	20
	3年	-	-	20	1	3	-	4	28
	4年	-	-	14	-	-	-	-	14
計		9	8	55	10	79	15	6	182
在籍者		35	81	208	95	231	103	36	789

## 2.4 受験様式

入学試験の受験様式については、各学部の募集定員を反映しており、前期日程試験875人（59.6%）、後期日程試験233人（15.9%）、推薦入試217人（14.8%）、AO入試77人（5.2%）、社会人入試4人（0.3%）、私費外国人留学入試10人（0.7%）、学士（2年次）・3年次編入学入試47人（3.2%）という状況であった（表2-2）。なお、推薦入試の回答では、推薦Ⅰ（センター試験を課さない）と推薦Ⅱ（センター試験を課す）について誤った回答（例えば、推薦Ⅰのみ

を実施している学部の学生が推薦Ⅱと回答)が少なからず見られたので、推薦Ⅰ・Ⅱを区別せず、「推薦」として集計している。

表2-2 回答者の受験様式(学部)

	前期日程	後期日程	推薦	AO	社会人	私費外国人留学生	編入学 (学士、3年次)	不明	計
人文学部	214	85	61	—	—	7	—	0	367
教育学部	127	30	36	—	—	—	—	0	193
医学部医学科	103	—		77	—	1	37	4	222
医学部保健学科	109	18	40	—	4	—	7	0	178
理工学部	195	62	57	—	—	2	1	0	317
農学生命科学部	127	38	23	—	—	—	2	1	192
計	875	233	217	77	4	10	47	5	1,468

## 2.5 学生の出身地

調査では、学生の出身地を確認する手がかりとして、実家の所在地を質問している。これによると、出身地の分布は以下のとおりである。学部生については、北海道351人(23.9%)、青森県614人(41.8%)、青森県を除く東北5県279人(19.0%、岩手県116人、秋田県77人、宮城県43人、山形県27人、福島県16人)、関東・甲信越154人(10.5%)、東海・北陸40人(2.7%)、近畿9人(0.6%)、中国・四国7人(0.5%)、九州・沖縄4人(0.3%、沖縄は0人)、外国10人(0.7%)で合計1,468人である。

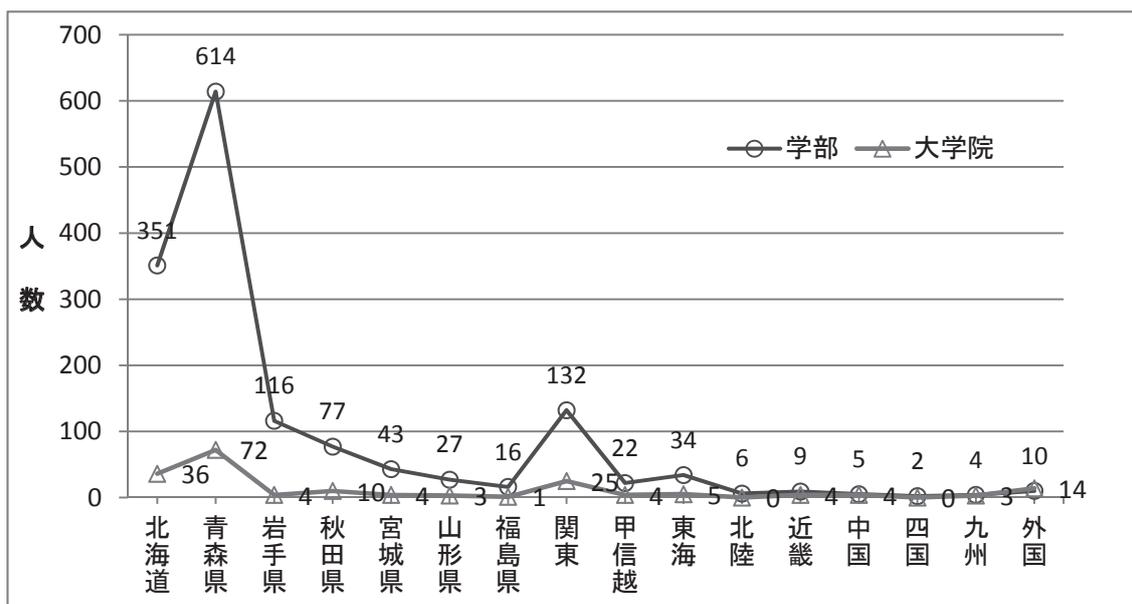


図2-4 回答者の出身地

大学院生は、北海道 36 人 (19.0%)、青森県 72 人 (38.1%)、東北 5 県 22 人 (11.6%)、関東・甲信越 29 人 (15.3%)、東海・北陸 5 人 (2.6%)、近畿 4 人 (2.1%)、中国・四国 4 人 (2.1%)、九州・沖縄 3 人 (1.6%、沖縄は 0 人)、外国 14 人 (7.4%) で合計 189 人である (図 2-4)。

学部別に見ると (表 2-3 a), すべての学部で地元青森県という回答の割合が最も高く、人文学部、医学部保健学科、理工学部では北海道・東北地区出身の学生で 9 割以上が占められており、教育学部及び農学生命科学部においても 8 割前後を占めている。前回と同様に際立った傾向としては、医学部医学科で北海道出身の学生が少なく、関東・甲信越地区出身の学生が多い。前回とやや異なる傾向としては、北海道出身の学生が約 5 ポイント増加し、東北 6 県出身の学生が約 7 ポイント減少している。また、外国人学生は 0.4 ポイント上昇し、実数では 3 人から 10 人に増えている (人文学部 7 人、理工学部 2 人、医学部医学科 1 人)。

表 2-3 a 学部別に見た出身地の割合 (%) (学部)

	北海道	青森県	東北5県	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	外国	計
人文学部	27.8%	44.1%	21.5%	2.5%	1.6%	0.3%	0.3%	0.0%	1.9%	100.0%
教育学部	14.5%	44.6%	27.5%	10.9%	2.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医学部医学科	2.3%	38.7%	13.5%	33.8%	5.9%	2.7%	1.4%	1.4%	0.5%	100.0%
医学部保健学科	24.2%	48.3%	23.6%	2.8%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
理工学部	38.2%	41.6%	13.2%	4.7%	1.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	100.0%
農学生命科学部	27.2%	32.5%	17.3%	15.2%	5.8%	0.0%	1.6%	0.5%	0.0%	100.0%
計	23.9%	41.8%	19.0%	10.5%	2.7%	0.6%	0.5%	0.3%	0.7%	100.0%
前回調査の計	19.2%	44.7%	22.9%	8.0%	3.0%	0.8%	0.2%	1.0%	0.3%	100.0%

表 2-3 b 学部別に見た出身地の割合 (%) (大学院)

	北海道	青森県	東北5県	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	外国	計
人文社会科学研究科	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	33.3%	100.0%
教育学研究科	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	100.0%
医学研究科	1.8%	38.6%	10.5%	29.8%	3.5%	5.3%	1.8%	3.5%	5.3%	100.0%
保健学研究科	7.7%	38.5%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
理工学研究科	34.6%	39.5%	9.9%	3.7%	2.5%	0.0%	1.2%	1.2%	7.4%	100.0%
農学生命科学研究科	26.7%	20.0%	6.7%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	100.0%
地域社会研究科	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
計	19.0%	38.1%	11.6%	15.3%	2.6%	2.1%	2.1%	1.6%	7.4%	100.0%
前回調査の計	17.8%	46.0%	18.4%	7.4%	1.2%	3.1%	1.8%	0.6%	3.7%	100.0%

院生では（表 2-3b），研究科全体で青森県出身の学生の割合が最も高かったが，前回と比較して 8 ポイント減少している。また，東北 5 県出身の学生の割合も前回調査と比べて約 7 ポイント減少し，近畿地区出身の学生の割合も 1 ポイント減少している。これらの地区以外の学生の割合は平均して 2.6 ポイント増加しており，中でも関東・甲信越地区の学生が約 8 ポイント，外国人学生が 3 ポイント増加している。研究科別に見ると，人文社会科学研究科，医学研究科，理工学研究科では北海道・東北地区以外の学生がおおよそ半数以上を占めており，全国各地から大学院生が集まっている傾向が見られる。

## 2.6 大学等卒業から大学院入学までの年数

大学等卒業から大学院入学までの年数は（図 2-5），0 年から 30 年まで幅広く分布しており，回答者のおよそ半数は学部卒業後直ちに進学し，卒後 5 年以内には約 8 割が入学している。また，前回と異なる傾向としては，回答者の 1 割が大学院入学までの年数を 10～19 年と回答しており，「2.2 年齢」で述べた大学院へ進学するもうひとつのピークが 30 歳台に見られることを裏付けている。

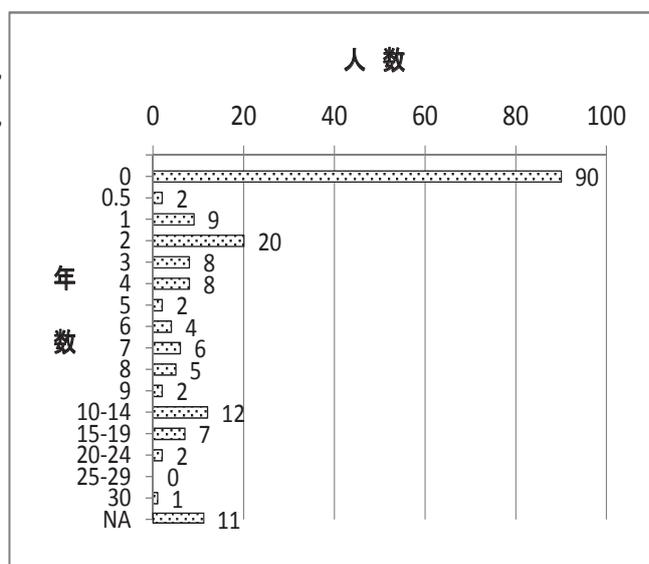


図 2-5 入学までの年数（大学院）

（石川 玲・工藤弘文）

## ■ 第三章 弘大生の学業生活

アンケートでは、弘前大学の学部生に対しては設問 7 から設問 28 の計 22 問、同大学院生に対しては設問 8 から設問 26 の計 19 問を用いて、学業生活に関する質問が行われた。本章では、これらの設問に対する結果を概観することを通して、教員のよりよい意識に基づく授業の改善や学生の意識の改善への方向性を明らかにすることを目的とする。

### 3.1 弘前大学及び弘前大学大学院への進学理由

#### (1) 高等学校における履修科目

数学では、「数学Ⅰ（数学A）」、「数学Ⅱ（数学B）」が男女ともに 97%以上と高い履修率を示している。一方、「数学Ⅲ（数学C）」は、男子の履修率は 68.0%なのに対して女子の履修率は 48.1%で、20%ほどの開きがある。なお、前回調査（男子 59.3%、女子 41.9%）の数値と比べると、履修率が増加していることがわかる。

男女差が顕著であるのは、前回調査と同様に理科である。「物理」を履修した男子学生は 62.0%（前回調査 51.9%）、女子学生は 31.1%（前回調査 28.3%）となっている。逆に、「生物」を履修していた女子学生の割合は 70.4%（前回調査 75.4%）で、男子学生の 49.7%（前回調査 53.3%）よりも高いことがわかる。これらは、前回調査と同じ傾向である。

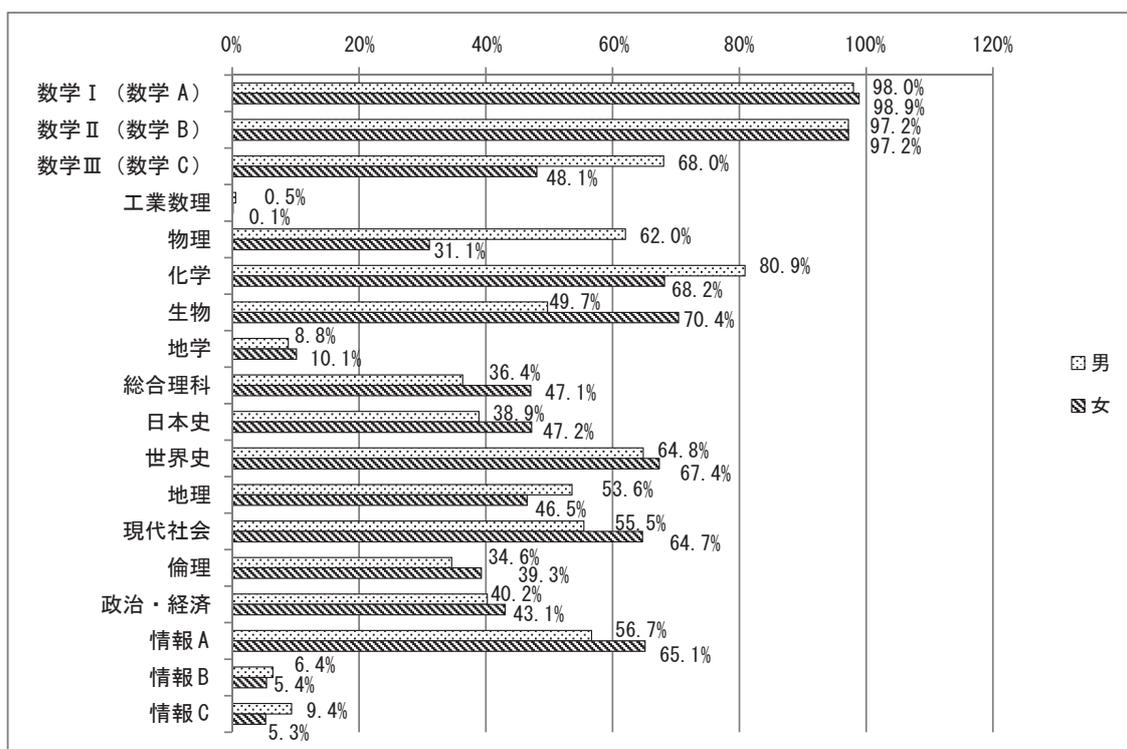


図3-1 高等学校における履修科目

## (2) 大学進学に対する国立志向とセンター試験結果による判断

弘前大学への進学に限らず、どのような理由で大学に進学を考えたのかを尋ねている（図3-2）。「専門的な知識や技術の習得」が65.5%と最も高く、「学問・研究」が51.4%、「学歴を得る」が49.3%、「教養を身につける」が42.0%と続いている。

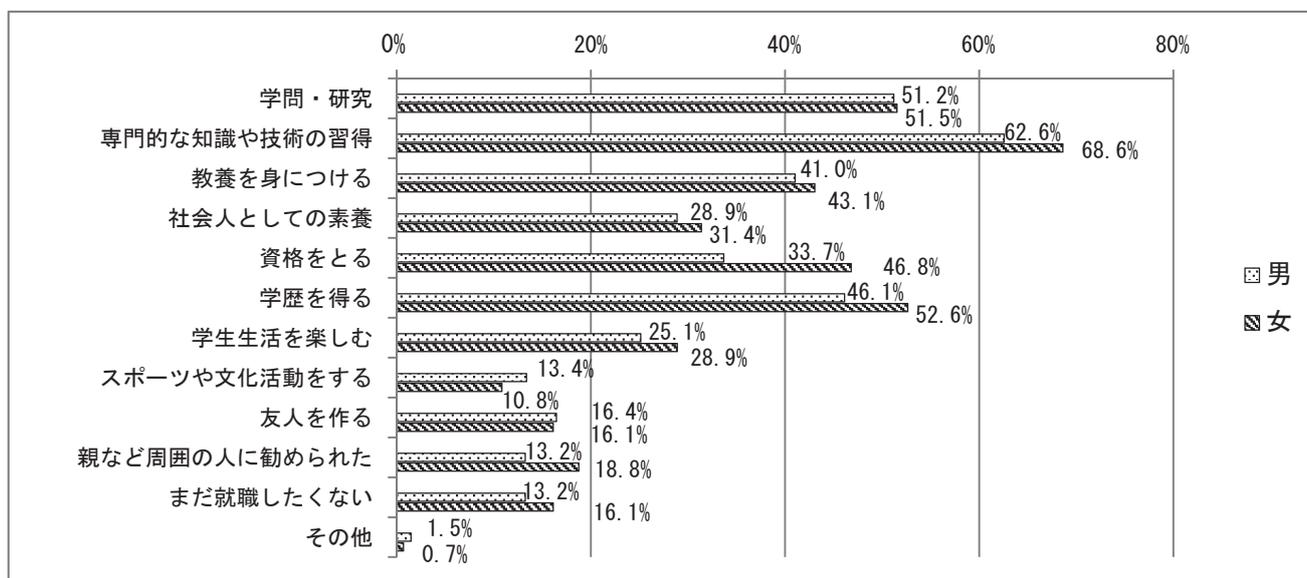


図3-2 大学進学の志望理由

男女差については、項目「資格をとる」において男子33.7%、女子46.8%、「親などの周囲の人に勧められた」において、男子13.2%、女子18.8%と若干の差がみられる。しかし、こうした傾向は、前回調査「資格をとる」（男子27.8%、女子40.8%）、「親などの周囲の人に勧められた」（男子15.0%、女子17.7%）と比べるとこれまでの傾向との大きな違いはない。

次に、弘前大学を選んだ理由に関してみていく。表3-1が示すように、今回の調査において、弘前大学が第一希望の大学であった割合は、男子46.3%、女子55.6%、合計50.8%であった。前回の調査の結果は、回答者の52.6%が第一希望であった。これ以前の調査をみても、およそ半数の学生が、弘前大学が第一希望であると答えていることから、今回の調査もこれまでの結果とほぼ同様の結果といえる。弘前大学を選んだ理由に関して、全体の3割以上の学生が選択した項目は、「国立大学だから」（76.4%）、「志望専攻分野があった」（65.6%）、「能力・学力があった」（48.4%）、「センター試験の結果」（37.0%）、「実家に近い」（36.9%）である（図3-3）。志望する専攻分野があることは当然であるとする、やはり「国立大学だから」という理由は、選ばれる大きな理由であることがわかる。「実家が近い」という回答も多く、およそ4割の学生が選択しており、地元志向の強い学生が在籍していることがわかる。

表3-1 弘前大学は第一志望か？

項目	男 (%)	女 (%)	合計 (%)
はい	46.3	55.6	50.8
いいえ	53.7	44.4	49.2

「センター試験の結果」という項目は前回調査にはなく、今回の調査から導入した項目である。回答者のおよそ4割の学生が、センター試験の結果を受けて、志望する大学を変更・決定していることがわかる。これらのことから、弘前大学を進学先として選んだ学生には、国立大学に進学したいという願望に基づいて第一希望で入学した学生と、センター試験による結果からの判断によって入学した学生がいるのである。

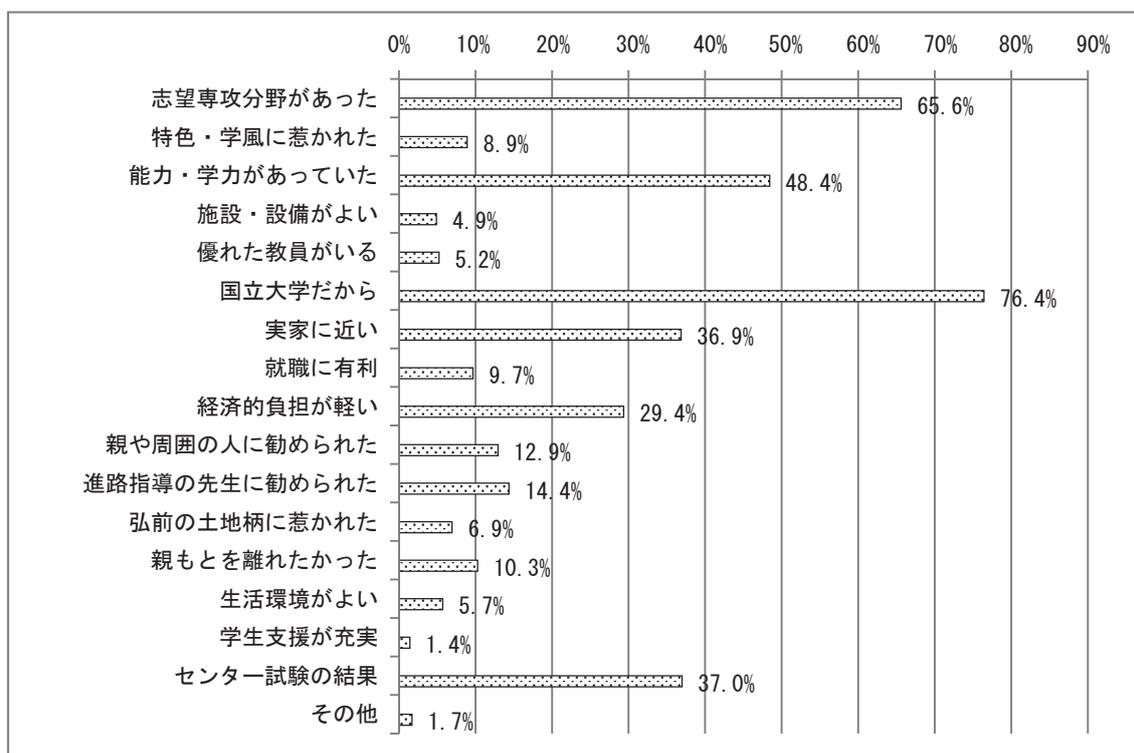


図3-3 弘前大学を選んだ理由

### (3) 大学院進学理由

弘前大学大学院に関わらず、大学院への進学を志望した理由について尋ねている（図3-4）。これによれば、「より専門的な知識や技術を得たい」が71.4%として最も高く、「もっと勉強したい」が46.6%と続く。「将来学問・研究の道に進みたい」と考えている割合も30.2%と高く、189名の回答者であったので、60名弱の院生がこのように考えていることがわかる。

男女を比較してみると、男女差の見受けられるもののうち男子の割合が高い項目は「就職や資格取得に有利」（男子38.1%、女子18.0%）「より高学歴を得たい」（男子28.8%、女子18.0%）、「まだ自由な学生生活を楽しみたい」（男子18.7%、女子6.0%）である。将来を見据えている一方で学生生活を続けたい様子もうかがえる。逆に女子の割合が高い項目は「親や周囲の人に勧められた」（男子5.8%、女子14.0%）である。この理由を挙げる傾向は、大学進学志望理由においても男子の割合よりも女子の割合が高かったこと（図3-2）と同じ傾向である。

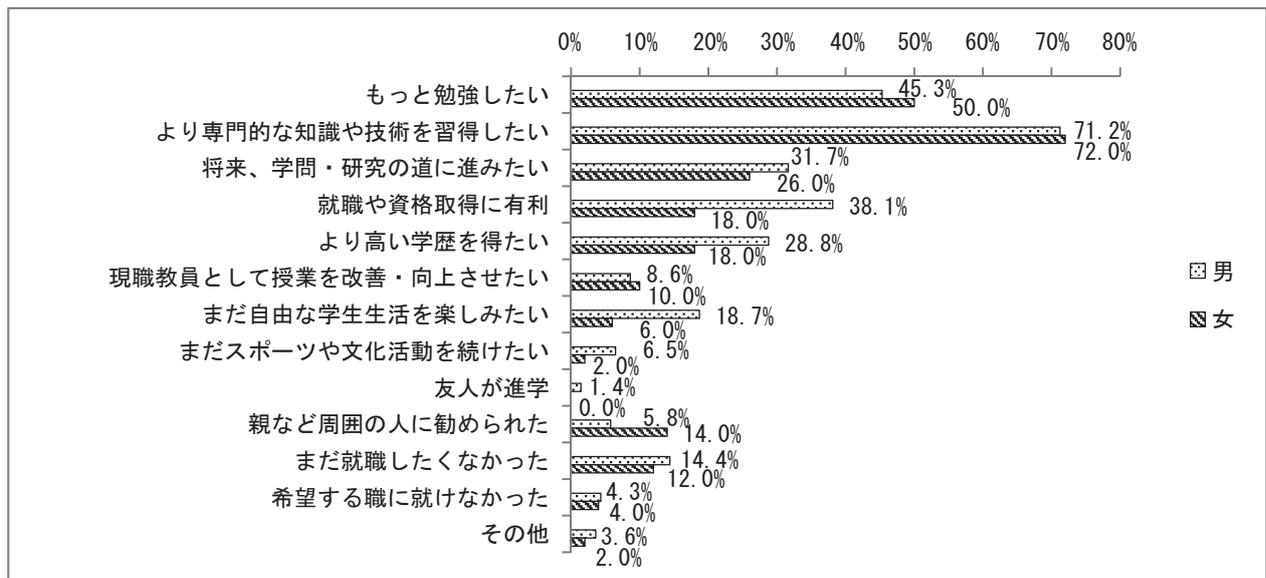


図3-4 大学院進学の原因

次に、弘前大学大学院に関する志望理由についてみていく。弘前大学大学院が第一志望であった学生の割合は、92.6%であった。同大学院を選んだ理由は、「弘前大学の学部・研究科に所属していた」が68.8%と高く、弘前大学の学部または研究科から上がってくる傾向が強いことがわかる(図3-5)。「自分の志望する専攻分野があった」(34.4%)、「指導を受けたい教員がいた」(37.6%)の項目が比較的多くの院生に支持されている。なお、教員の組織再編が検討されている弘前大学においては、こうした学生のニーズに答える受け皿をどのように確保していくのかが懸念される。

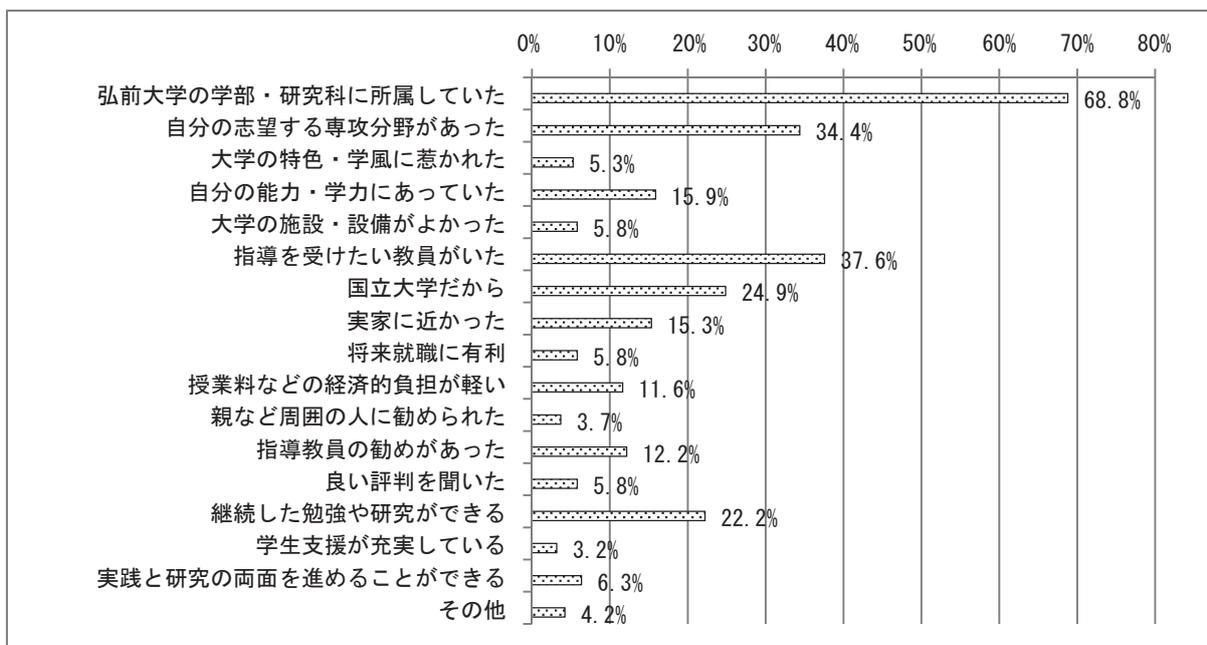


図3-5 弘前大学大学院を選んだ理由

以下では、弘大生の学業に関する実態に目を向けていく。

### 3.2 弘大生の学業に関する実態と希望

#### (1) 弘大生の学業に関する環境とその変化

##### ①自分専用のパソコンの保有率と利用状況

学部生個人で使用可能なパソコンの保有率は、男女合計で 98.6%となっており高い割合である(表 3-2)。また、大学院生の保有率も男女合計で 92.6%であり、ほとんどの学生が個人専用のパソコンを保有していることがわかる(表 3-3)。

個人のパソコンの利用目的は、割合の高い順に「レポート作成」(92.5%)、「ホームページをみる」(77.5%)、「授業の予習・復習」(60.0%)、「メールのやりとり」(43.9%)となっている(図 3-6)。一方、大学院生は、「レポート作成」(76%)と「ホームページを見る」(76%)と同じ程度に、「研究」

(74.3%)のためにパソコンを使用していることがわかる。これらの目的について、「メールのやりとり」が 66.9%となっている。

「自宅から大学情報の取得」については、学部生が 33.1%、大学院生が 27.4%であり、3割程度の弘大生が自宅から大学情報を取得していることもわかる。

表 3-2 自分用パソコンの有無(学部生)

項目	男	女	合計
持っている	98.3%	99.0%	98.6%
持っていない	1.7%	1.0%	1.4%

表 3-3 自分用パソコンの有無(院生)

項目	男	女	合計
持っている	94.2%	88.0%	92.6%
持っていない	5.8%	12.0%	7.4%

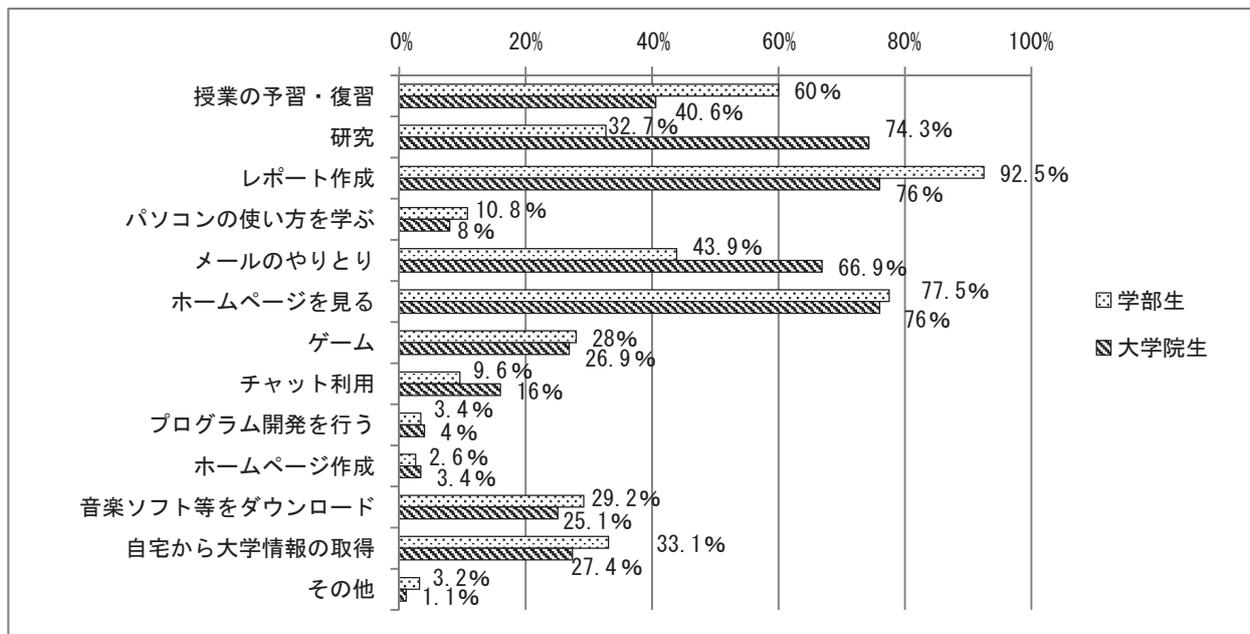


図 3-6 自分用パソコンの利用目的

インターネットの接続状況をみる（表3-4）。この設問からは、ほとんどの学部生がインターネットを接続した環境にいることがわかる。これは、大学院生についても同様であり、接続している割合は、93.1%である。

表3-4 インターネットの接続状況

項目	男	女	合計
接続している	96.7%	95.5%	96.1%
接続していない	3.3%	4.5%	3.9%

インターネットを利用する時間について、「授業・研究」に費やす時間（図3-7）と、「授業・研究以外」に費やす時間（図3-8）を尋ねている。インターネットの時間を「授業・研究」に費やす学部生のうち、「30分以上1時間未満」（24.7%）と「1時間以上2時間未満」（26.4%）の学生で全体の約半数を占めている。一方、インターネットの時間を「授業・研究」以外に費やす学部生のうち、2時間以上の時間を費やす学生は全体の約半数を占め、1時間以上の時間を費やす学生も含めると、全体の約8割となる。多くの時間を勉強以外の時間としてインターネットに費やす状況にあると言ってよいであろう。

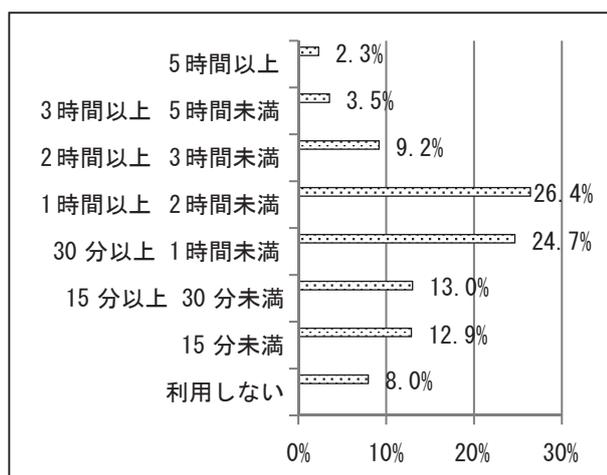


図3-7 授業・研究のためのインターネットの利用時間

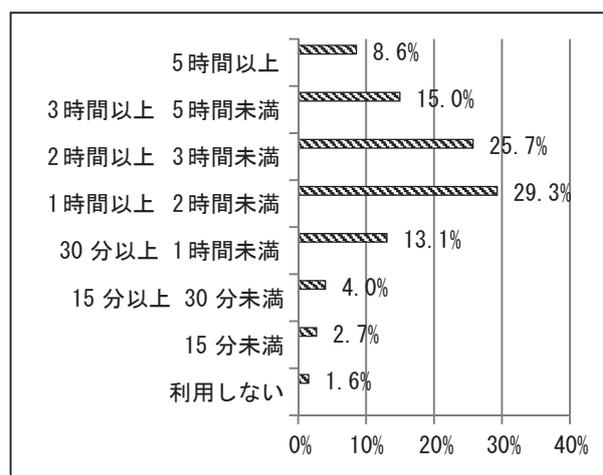


図3-8 授業・研究以外のインターネットの利用時間

## ②図書館の利用状況

「月に1, 2回利用」と答えた学部生の割合は、26.6%であり、それ以上の利用頻度の学部生の割合の合計は、49%である（図3-9）。逆に、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」と答えた学部生の割合の合計は、51%であり、半数の学部生が図書館を利用していない状況であることがわかる。

大学院生の場合には、「ほとんど利用しない」「まったく利用しない」と答えた割合の合計が74.6%であり、7割以上の学生が図書館を利用していない状況であることがわかる（図3-10）。大学院生の場合には、図書よりも論文をよむことが多いと推察され、論文はインターネット上からダウンロードすることもできるために、こうした結果になっていると考えられる。

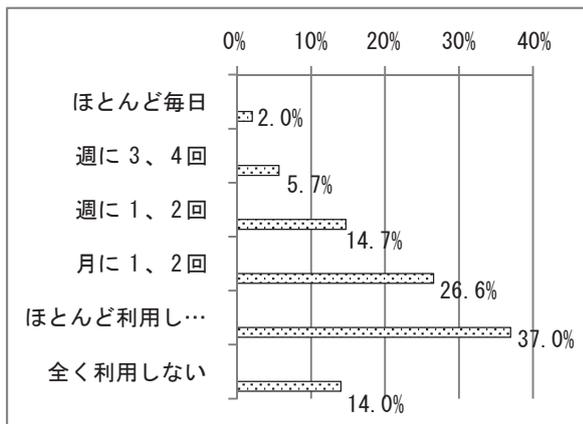


図3-9 学部生の図書館の利用頻度

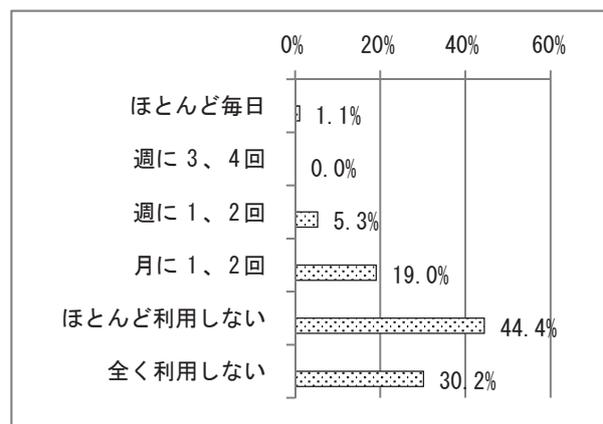


図3-10 大学院生の図書館の利用頻度

学部生の図書館利用の目的は、「調べもの」(63.3%)が最も高く、「勉強・研究」(50.8%)、「予習・復習」(26.6%)となっている(図3-11)。また、大学院生の図書館利用の目的も、学部生と同様に、「調べもの」(78.8%)が最も高く、「勉強・研究」(62.1%)が続く。なお、大学院生の場合には、「資料の依頼」が13.6%となっており(図3-12)、学部生(4.4%)よりは高い数値となっていることがわかる。

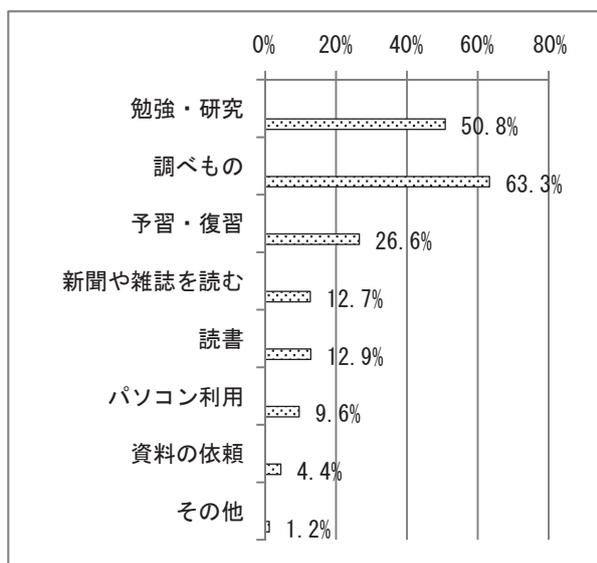


図3-11 学部生の図書館の利用目的

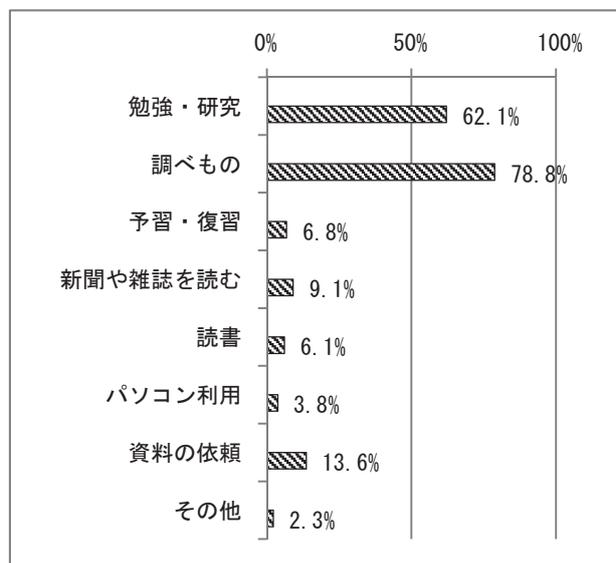


図3-12 大学院生の図書館の利用目的

次に、学部生が図書館の利用で困っていることについては、「土曜日日曜日を含め24時間利用できない」が55%で最も高くなっている(図3-13)。大学院生が困っていることについても同じ項目が50.0%と最も高くなっている(図3-14)。次いで、両者ともに、「本の数と種類が少ない」(学部生29.7%、大学院生36.4%)が高い割合となっており、困っている事柄を挙げる傾向は同

じである。「本の数と種類が少ない」については、学生の意見を取り入れながら、図書館司書等と大学教員との連携により、学生のニーズに合う本や各授業における推薦図書を積極的に在庫していくことが望まれる。

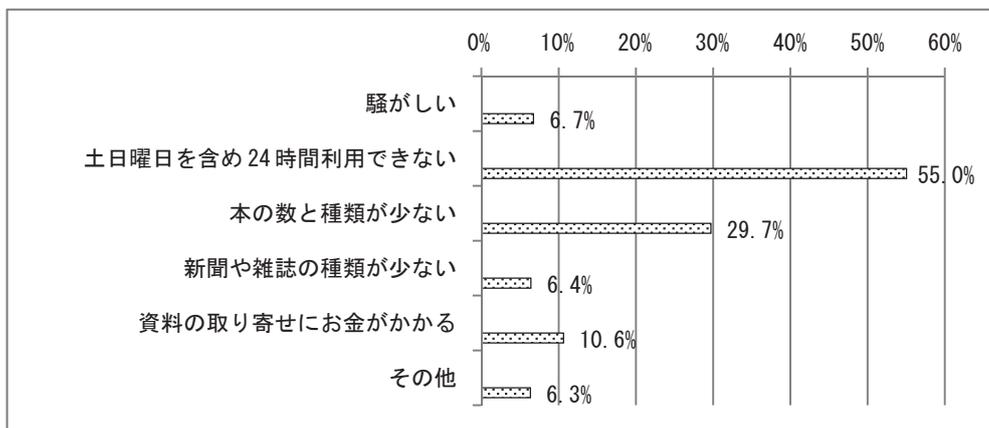


図3-13 図書館の利用で困ったこと（学部生）

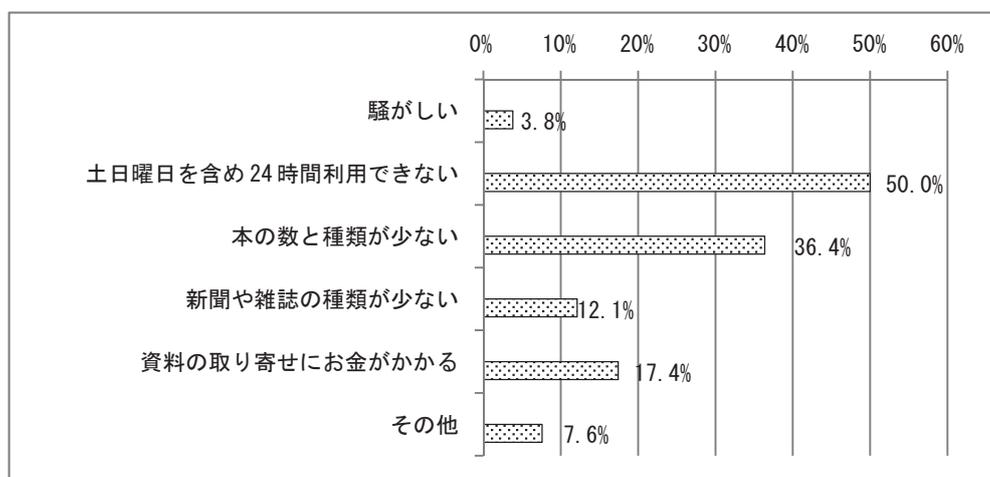


図3-14 図書館の利用で困ったこと（大学院生）

学部生の「その他」の意見としては、「コピー機が少ない」や、「投函した意見に対する返信を読める環境がない」、「改修工事で不便な時期が長かった。土日でも夜まで開けてほしい。学術書以外の本を増やしてほしい。」、「グループで使うスペースだけでなく個人のパソコンを使えるスペースが欲しい。」などが記述されていた。また、大学院生の「その他」の意見としては、「外国語の本が少ない」や、「郵送による取り寄せができない」（青森市在住）、「遠方に住んでいる人への配慮の欠如」などが記述されていた。

### ③情報処理センターの利用状況

情報処理センターの利用状況は、月に1、2回利用する学部生の割合は22.5%で、それ以上利用する学部生の割合が44.5%である（図3-15）。「ほとんど利用しない」「全く利用しない」学部生の割合の合計が55.5%である。なお、大学院生においては、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」の合計が91.6%であり、それ以外の項目については、約2%ずつであった。

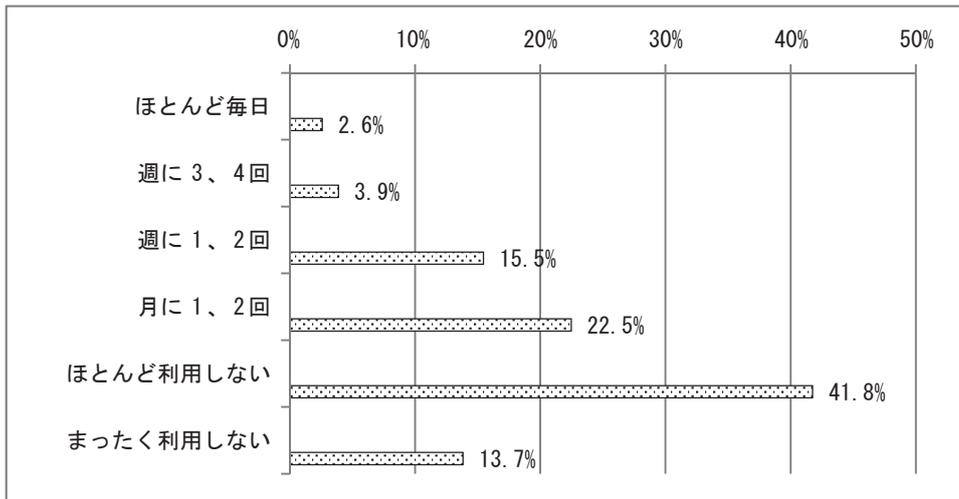


図3-15 情報処理センターとパソコン室の利用頻度

情報処理センターやパソコン室の利用目的の上位は、「レポート作成」(58.0%)、「授業の予習・復習」(40.5%)、「本学の情報を確かめる」(18.7%)であり（図3-16）、大学に来ている時間を使って授業に関連した活動の場としていることがわかる。また、本報告書にある「付録1の経年変化に関する結果」を見ると、「授業の予習、復習」を目的とした利用が増加していることがわかる。

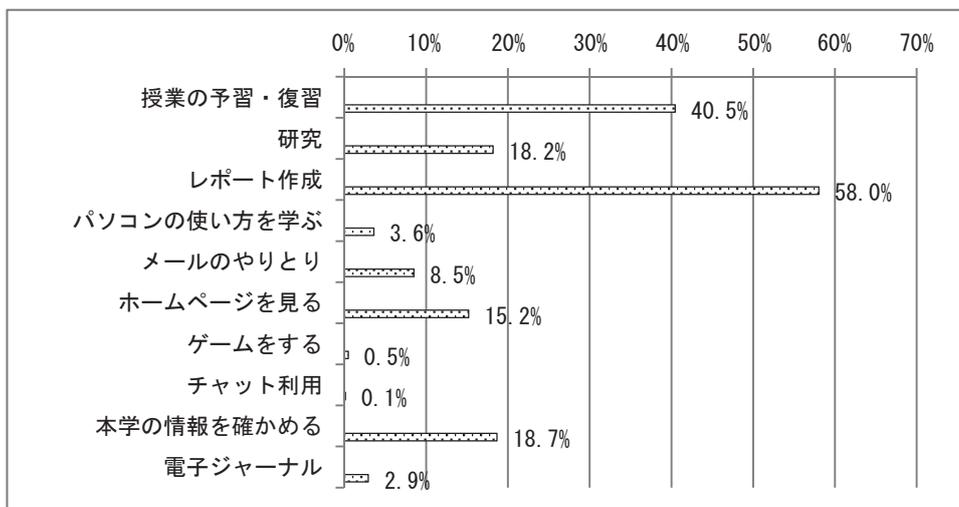


図3-16 情報処理センターとパソコン室の利用目的

これらの利用に関して、困っていることのうち最も高い割合を示した項目は、「土曜日日曜日を含め 24 時間利用できない」の 28.9%である（図 3-17）。しかし、防犯対策や安全の確保といった管理上の問題の大きいことが予想されるため、学部生の意見を取り入れて改善を図ることは難しいと思われる。

一方、項目「土曜日日曜日を含め 24 時間利用できない」以外の割合は低く、「困ったことはない」が 42.6%である。したがって、取り立てて改善を要する状況はないと言ってよさそうである。しかし、「その他」の記述をみると、「パソコンを使用しないのにパソコン室で勉強する学生が多く、使いたい人が使えない状況です。」といった部屋の使用マナーに関する記述や、「パソコンの処理速度が遅い。wifi を飛ばして欲しい。」、「無線 LAN の電波強度の弱い所がある。」といった機器の性能に関する記述、「衛生のためにも学内のパソコンを使用した際には消毒液で手を洗いたいが、パソコンを利用できる施設に設置されていないように見受けられる。」といった衛生面に関する記述がみられる。こうした学生の声大切にされるようにしたい。また、今回のアンケートだけでなく日常的に学生の意見が集約できるように各施設毎の仕組みの構築も望みたい。

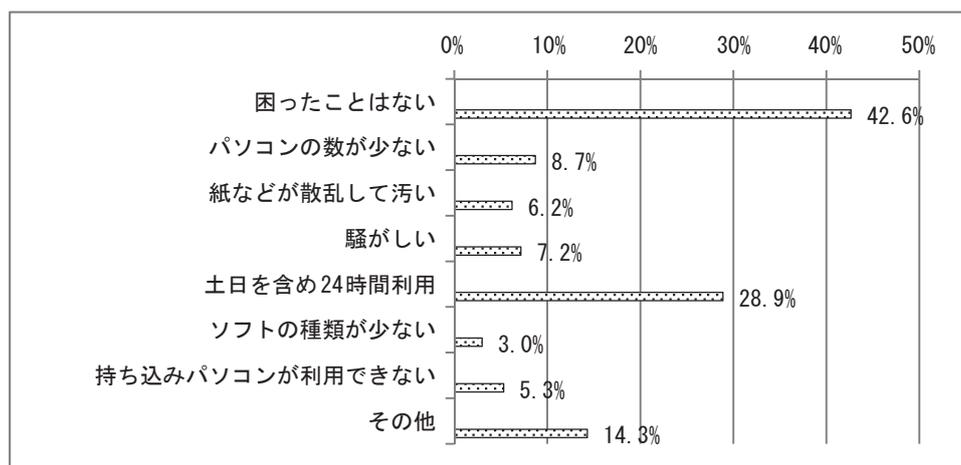


図3-17 パソコン室及び無線 LAN の利用で困ったこと

#### ④学生用掲示板の利用状況

学生が掲示板を利用する目的は、「休講通知」、「呼び出しの確認」が多く、次いで「単位取得の確認」、「奨学金案内」となっている（図 3-18）。一方、「まったく見ない」と回答した学部生が 31.3%、大学院生が 47.1%を占めている。こうした状況は、これまでの調査でも指摘されていることであるが、改善はみられない。前回調査においても、「まったく見ない」と回答した学部生が 28.2%、大学院生が 48.1%であり、今回の調査と同様の結果である。クラスアワー等で掲示板をみることを習慣にするように伝えるといったこれまでの改善策に加えて、スマートフォンから掲示板の一部がみられるようになったことを多くの学生に周知していくなどの何らかの新しい対策が必要であると思われる。

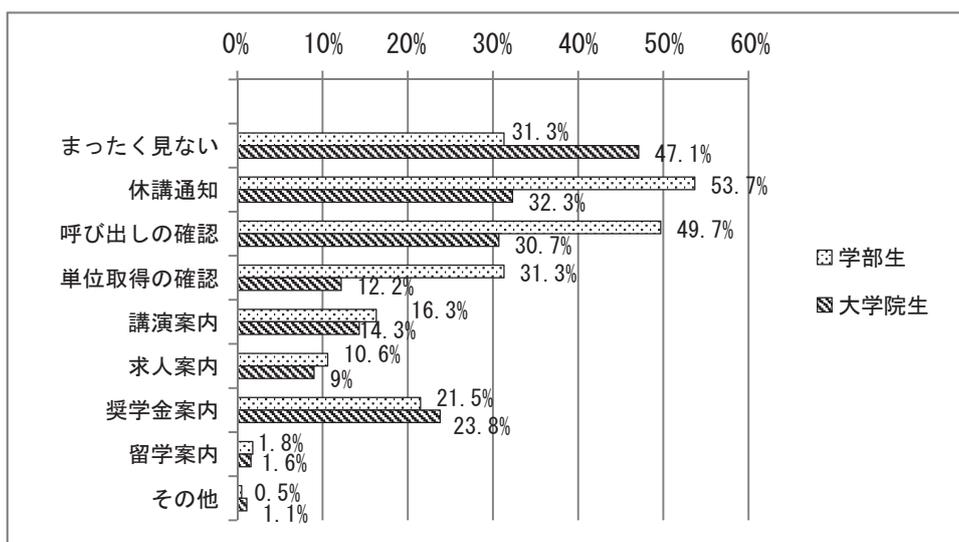


図3-18 学生用掲示板でよく利用する案内

## (2) 弘大生の学業に関する実態

### ①授業の出席へのまじめな態度

2014年度前期の授業に対して「すべて出席」に回答した学部生の割合が49.8%、「ほとんど出席」が47.2%となっており、合計すると、97%にもなる(図3-19)。弘前大学の学部生は授業の出席に対してまじめな態度である。

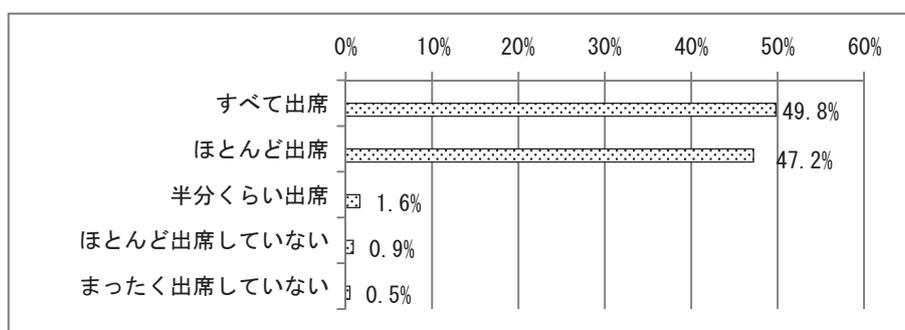


図3-19 2014年度前期授業の出席状況

一方、授業を欠席した理由については、「寝坊」と回答した学生の割合が28.4%と最も高い(図3-20)。次いで「病気・けが」が23.6%となっている。授業の欠席理由に関する質問項目の中には「その他」があり、これを選択した学部生の割合は8.1%である。学部生の回答者全員が1,468人であったことから、120人程度の学生が何らかの別の理由を回答していることになる。そこで、自由記述のいくつかを拾い上げてみると、50名程度の学部生が「就職活動」を挙げている。また、部活が優先された場合もある。この他、公共交通機関の乱れや、実習先へのあいさつ等が記述されている。

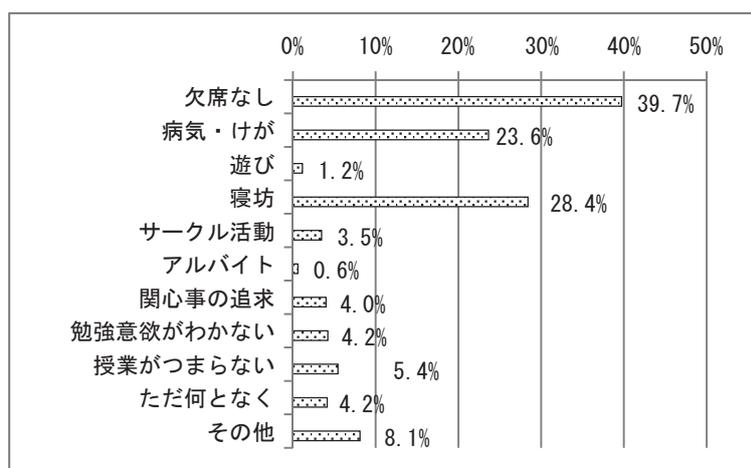


図3-20 授業の欠席理由

## ②授業に対する満足度

次に、授業に対する満足度については、「非常に満足」、「まあまあ満足」を合わせると、87.8%の学生が満足であると回答していることがわかる（図3-21）。また「付録1の経年変化に関する結果」を見てみると、授業に対する満足度が上昇していることもわかる。

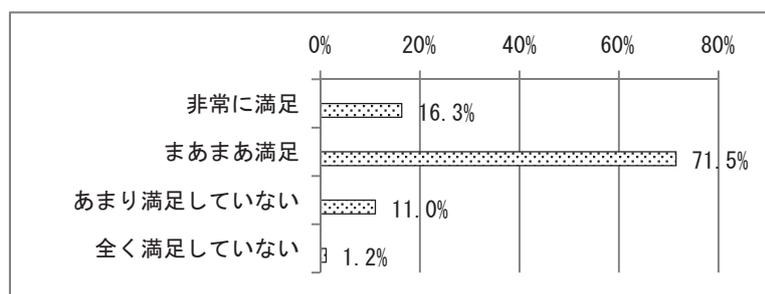


図3-21 授業に対する満足度

一方、授業に満足できない理由に関する質問がなされている（図3-22）。数値の大きい順にいくつかの項目を取り上げると、「興味関心がない」が34.9%、次いで、「単位取得や科目選択の制限」が24.8%、「受講したい科目が少ない」が21.1%となっている。前回調査では、「興味関心がない」が43.7%、「単位取得や科目選択の制限」が20.5%、「受講したい科目が少ない」が19.2%となっていた。

これらについて、前回調査と今回調査を比較すると、「興味関心がない」が34.9%と高い値を示しているものの、「興味関心がない」は、前回調査から10%ほど低下している。これは、何らかの要因（教員の工夫とりたい）により、授業に対する興味関心をもてる学生の割合が増加したといえるので、比較的良い傾向であるといつてよいであろう。一方、「単位取得や科目選択の制限」は、前回調査と比べて4.3%増加しており、授業の履修制限に対して、不満を感じている学生が増えていることが伺える。このことに対しては、制限する必要性や理由を明らかにしてクラスアワーの時間等で学生に説明する機会を検討すること、制限すること自体の見直しを図ってい

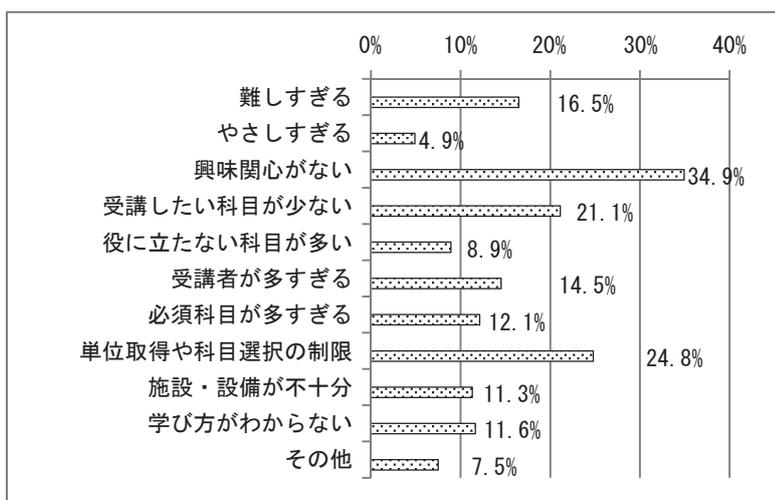


図3-22 授業に満足できない理由

くことが考えられる。

この他、特に、着目したい項目が2つある。1つは、「学び方がわからない」(11.6%)である。全体の回答人数が1,468人であることから、150人程度の学生が選択していることがわかる。もう1つは、「その他」の項目である。7.5%の学部生が、「その他」を選択している。いくつかを取り上げてみると、履修に関しては、「抽選が多すぎる」、「受講希望の科目が同時時間帯に集中している」などが挙げられている。また、教員の指導に関しては「黒板に喋ってばかりの授業はつまらない」や「スライドを淡々と説明されて、メモできない時が多い」などが挙げられている。

### ③授業に対する難易度と希望

「難しすぎる科目はあるか」の設問に対し、「ある」と回答した学部生の割合は44.9%、「ない」と答えた学部生の割合は55.1%であった(図3-23)。

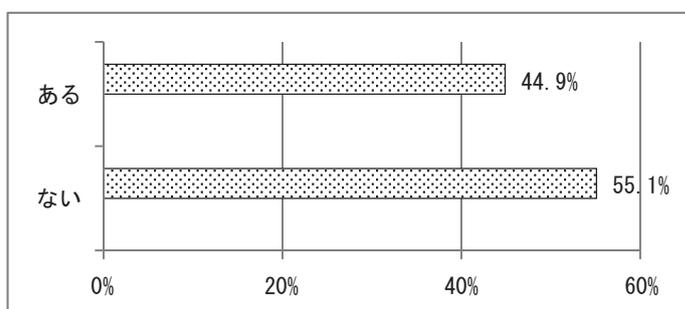


図3-23 難しすぎる科目はあるか

このうち、「ある」と答えた学部生に対して、さらに、「難しすぎる科目数」が問われた。この結果、男子平均2.8科目、女子平均2.5科目であった。前期で履修した授業のうちの2つから3

つの授業が難しすぎると回答しているのである。

難しすぎる授業があると答えた学部生は、授業に対していくつかの希望を持っている(図3-24)。

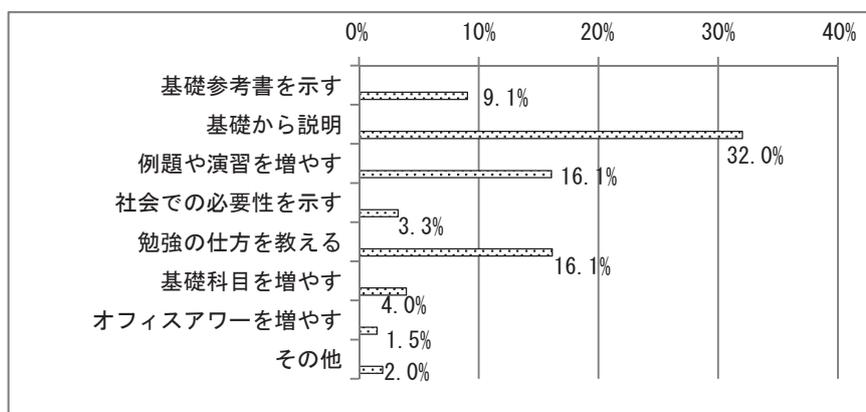


図3-24 難しい授業へ希望すること

「基礎から説明」(32.0%)が最も望まれており、「例題や演習を増やす」(16.1%)、「勉強の仕方を教える」(16.1%)が続く。勉強の仕方も含めて自ら獲得していく必要があると考える教員も多いかもしれないが、どのように学んでいけばよいかの教員からの示唆が与えられることを望んでいるように思われる。実際、「その他」には、「参考書も難しいものがあるため、分かりやすいものを示してほしい。また、図書館に入っている本を示してくれてもいいと思う。」という記述がみられた。

#### ④教員との対話

学部生は、教員とあまり対話していないととらえている。実際、「あまりない」「まったくない」と回答した学部生の割合は、63.8%に上っている(図3-25)。「よくある」「ときどきある」においては、男子に比べて、女子の方が対話の頻度が高い値となっていることがわかる。

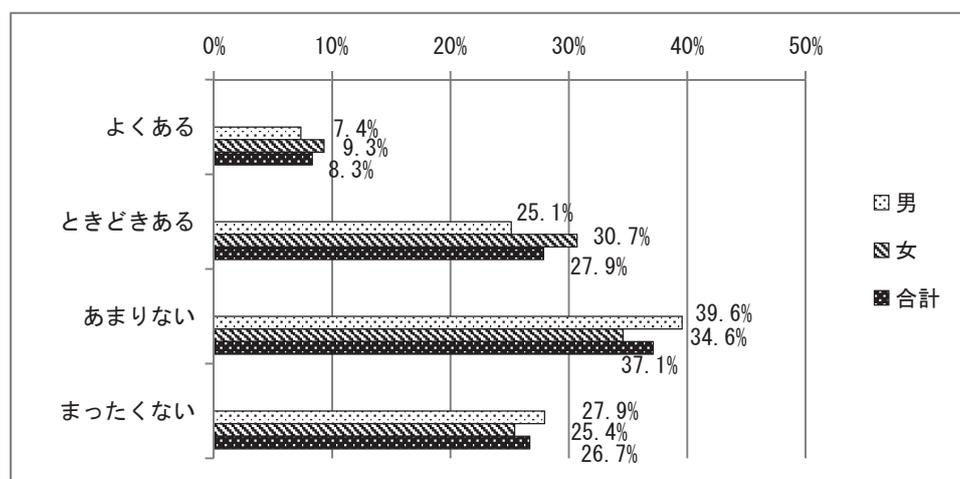


図3-25 教員との対話の頻度(学部生)

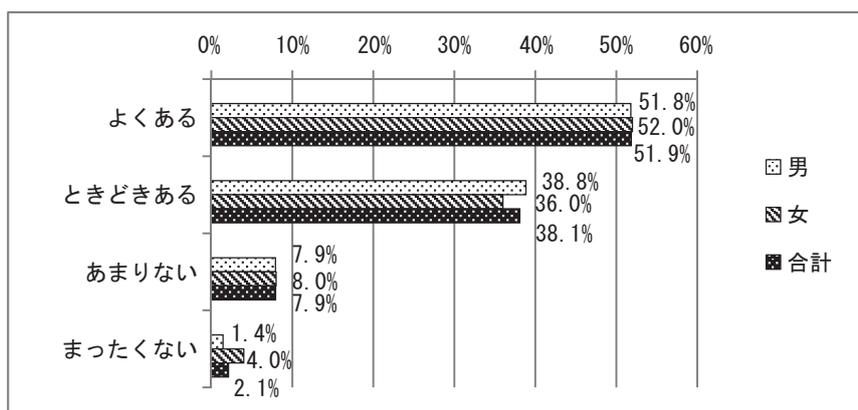


図3-26 教員との対話の頻度（大学院生）

一方、大学院生は、教員との対話の頻度が高いととらえられている。実際、「よくある」「ときどきある」と回答した院生の割合が90.0%に上っている（図3-26）。

### (3) 海外留学への意欲とその理由

海外留学に関して、学部生のうちの25.5%の学生が「留学してみたい」と回答している。また、大学院生は、36%の学生が「留学してみたい」と回答している（図3-27）。

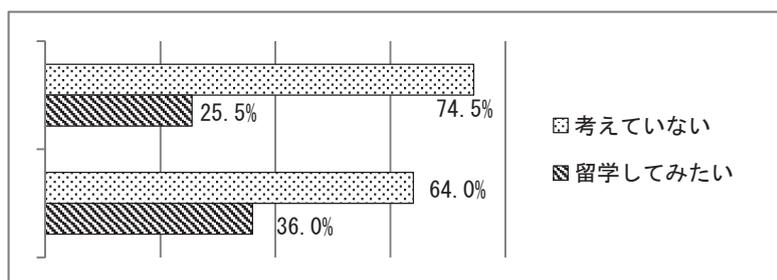


図3-27 海外留学について

留学をしてみたい理由については、学部生の場合は「外国語で自由に話したい」が74.1%と最も高くなっているのに対して、大学院生の場合は「海外で生活・就職してみたい」が61.8%と最も高くなっている（図3-28）。

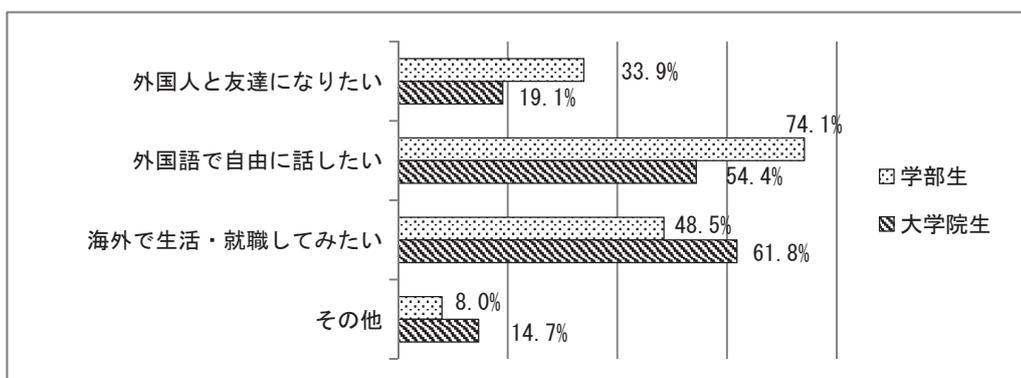


図3-28 海外留学をしてみたい理由

弘前大学には、国際教育センターがあり、海外留学に関する様々な企画が用意されている。こうした環境があることを積極的に知らせたり、弘前大学に来ている留学生との交流による「学内留学」があることを知らせたりして、留学による学びの促進を図っていくことが考えられる。

### 3.3 学生の学業の実態に対する改善への方向性

#### (1) 学生の意識の発展に向けた教員の働きかけ

弘前大学を第一希望であると答えた学部生の割合は50.8%であったことから、およそ、半数の学生は希望通りの進学であったといえる。一方、残りの半数の学生は希望した通りの進学ではなく、ネガティブな感情を抱いている可能性がある。「基礎ゼミナール」等の初年次教育においては、消極的な意識の学生がいる可能性を考慮しながら学生に接し、たとえこの大学に所属したとしても意識を高く持って学業に専念し、そのようにすることのよさや面白さに気づけるように支援していくことが望まれる。4年間を充実した時間として過ごせるかどうかによって得られるものが大きく変わるからである。なお、こうした支援は「基礎ゼミナール」だけで行うと考えるのではなく、少なくとも1年生を対象とする授業すべてにおいて教員が意図的に行っていくべきものであると考える。

難しい授業に対する学部生の希望には、「基礎から説明」(32.0%)が最も望まれていた。つまり、「難しい」「わからない」状況に対して「わかりやすく説明してほしい」という学生の意識であるといえる。しかし、こうした学生の意識のままでは、知的に自立していくことは難しい。「わかりやすく説明してほしい」に対して時には丁寧に説明することも必要かもしれないが、それだけでなく「難しい」「わからない」状況から「なにをどのように学んでいけばよいのか」というように、学生の意識が改善し発展するように教員は支援したい。

#### (2) 知識や技能を理解・習得する授業とともに学び方も学べる授業の実現へ

授業に満足できない理由の一つとして「学び方がわからない」(11.6%)があった。割合としては高いとは言えないかもしれないが、学生の実態に応じて授業を改善すべき理由の一つと考えられる。将来の自立した時点やそれ以降において、自ら問い自ら答えていくことのできる人材の育成が重要であるからであり、「学び方がわからない」ままでは、授業が終わった後には自ら学んでいくことが困難となるからである。

そこで、授業においては、知識や技能を理解し習得することを目的とするだけでなく、学習内容やその周辺に対する学び方を学ぶことも目的にしていく。例えば、表面的な学びになるかもしれないが、その学問領域における学び方の一連の過程を少なくとも一回は経験できるようなレポート課題等を通して、学び方を学ぶ機会を提供することが考えられる。

学部生の授業への出席態度は、非常にまじめである。こうしたよい現状の習慣を活かしながら、学び方も学べる授業を学生が受けることで、さらに、授業を積極的に受けようとする学生が増えていくことを期待する。また、学生が生涯にわたって自ら学び続けられる人材になっていくことを教員が意識し、そうした意識に基づいた授業が行われることを期待する。教員の意識や態度が学生の学びをよりよいものにするはずだからである。

(田中義久, 深瀬政秋)

## ■ 第四章 弘大生の進路への希望と考え方

### 4.1 卒業後の進路について

卒業後の進路については、就職希望が全体で 81.1%，次いで他大学大学院進学希望が 6.3%，本学大学院進学希望が 5.1%である。進路についてまだ考えていないと回答した学生は 6.0%である。

学部別で見ると、就職希望が最も多いのは医学部保健学科（93.3%）であり、次いで人文学部（91.3%），医学部医学科（89.2%），教育学部（89.1%），農学生命科学部（68.6%），理工学部（59.3%）であった。本学および他大学も含めての大学院進学を希望する学生は理系学部が多く，理工学部 28.4%，農学生命科学部 22.0%であった。理工学部における進学希望者の割合は前回の 20.5%から約 8%増加している。

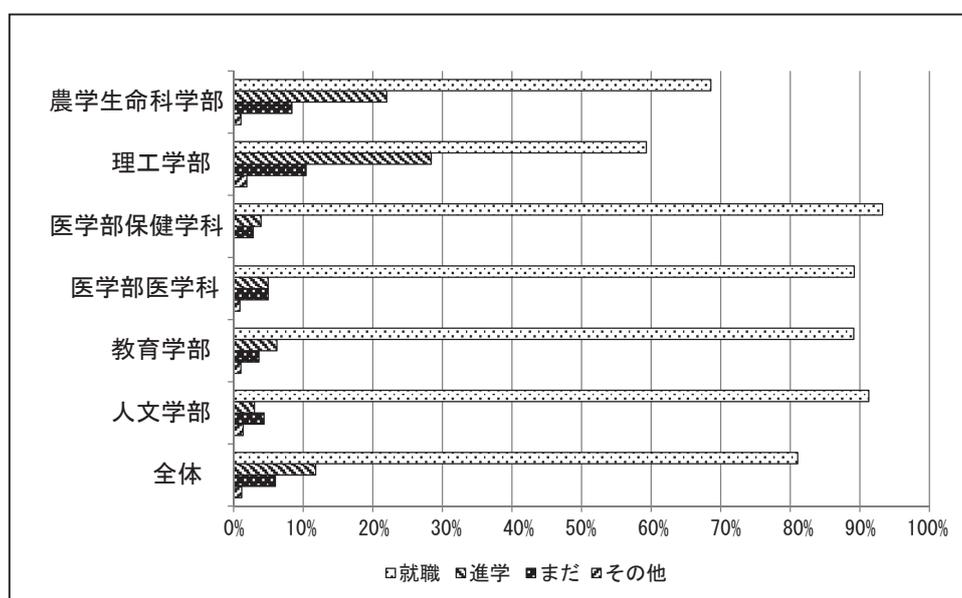


図4-1 卒業後の希望

### 4.2 大学院への進学を希望する理由

大学院進学を選択した理由については、図4-2に見られるように「もっと勉強したいから」、「将来、学問・研究の道に進みたいから」、「より高い学歴を得たいから」、「就職や資格取得に有利だと思ったから」が主として多く選択されており、いずれも前回調査時のパーセンテージを上回っている。一方、「まだ就職したくない」、「希望の職につけなかった」、「友人が進学」などの消極的な理由はいずれも前を下回っており、よりよい将来を展望して大学院進学を希望する学生が増えつつあるものと思われる。特に、理系学部での大学院進学率の高さは明白であり、また意欲や向上心ある学生が全体として多いことが確認できる。

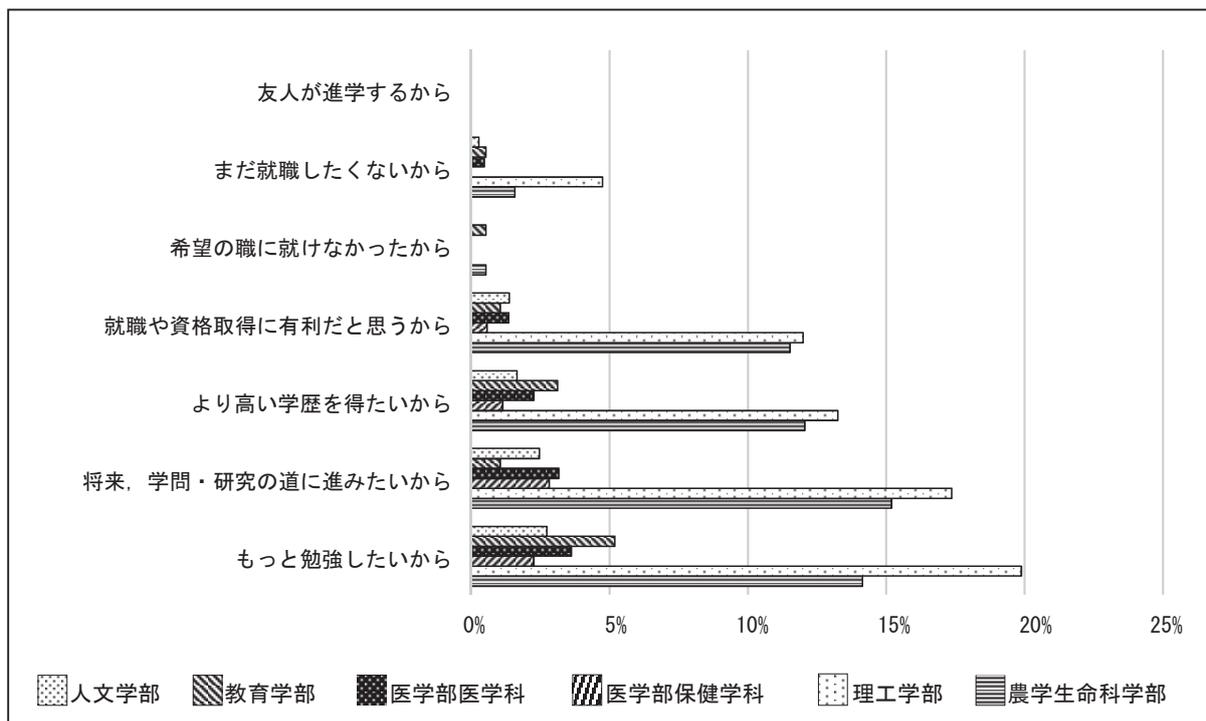


図4-2 大学院進学を選択した理由

### 4.3 第一に希望する職種

図4-3は、どのような職種に就くことを第一に希望しているかを学部別にまとめたものである。全体的な傾向は前回調査と大きく変わっておらず、民間企業 26.3%、公務員・公的機関 24.9%、教育職 11.6%、研究職 7.1%、専門職 27.6%、その他は家業を継ぐ、起業、フリーターとあわせて 2.3%とわずかであった。学部によって特色があり、医学部では専門職、教育学部では教育職希望が圧倒的に多い。人文学部では、民間企業と公務員・公的機関を希望する学生がそれぞれ 43.9%、43.1%とほぼ同数であり、両方で希望の9割を占める。これに対して、理工学部や農学生命科学部では研究職を希望する学生がそれぞれ 19.6%、14.7%と他学部比べて高くなっている。これは大学院進学希望者が多いことと関係すると思われる。

男女別に希望する職種を見てみると図4-4のような結果となった。希望職種の割合に男女差はほとんど見られない。例外は研究職で、研究職を希望する女子学生はこれを希望する男子学生の約半分となっている。同様の結果は前回調査時、前々回調査時にも見られたことから、この傾向は調査時の世相や国の経済状況とは関係がうすいと考えられる。一方、前回調査時に男女とも減少していた専門職を希望する学生の割合を見てみると、男子学生で7ポイント、女子学生で8.5ポイント増加しており、前々回の調査結果とほぼ同程度まで回復していた。代わりに男子では民間企業と教育職を希望する学生が、女子では教育職を希望する学生が減少している。これらは調査時の世相や経済状況を反映しているものと推察される。

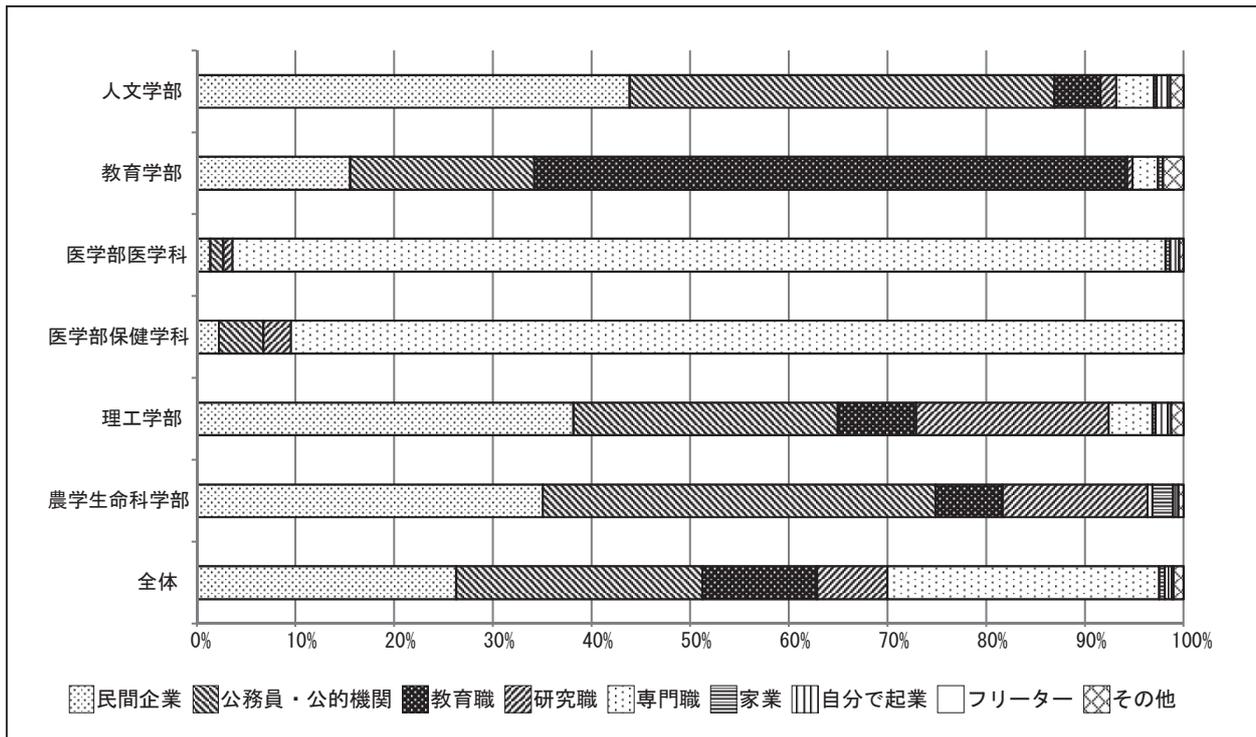


図4-3 第一に就職を希望する職種

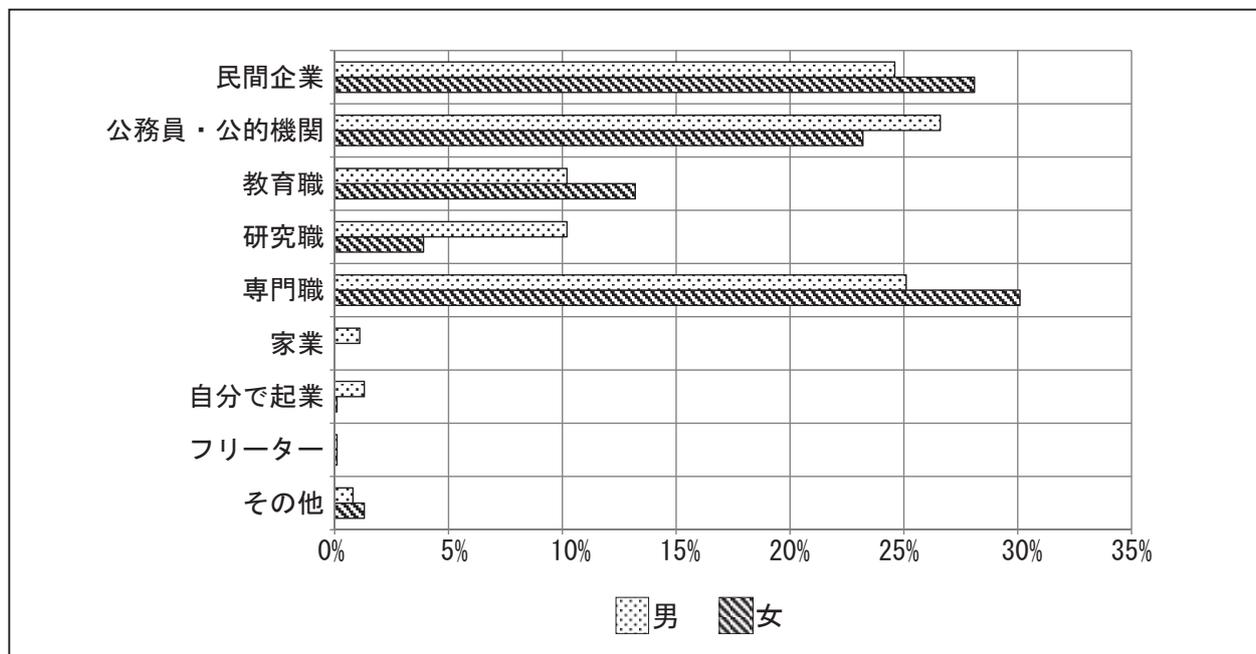


図4-4 男女別に見た希望職種

#### 4.4 大都市で就労することに関する意識及び、出身地へのUターン願望

東京や大阪といった大都会への就職意識については、そうした場所で働いてみたいと思う学生は「強くそう思う」「少しそう思う」を合わせて45.9%である。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせて全体の54.1%の学生が都会への就職に否定的な見解であり、ここでも地元志向がうかがえる結果となった。また、大都市圏での就職の後、いつかは出身地に帰りたと思っている学生の割合は、「強くそう思う」「少しそう思う」を合わせて81.1%と大きく、出身地への思い入れの強さがうかがえる結果である。

#### 4.5 職業選択上で重視することについて

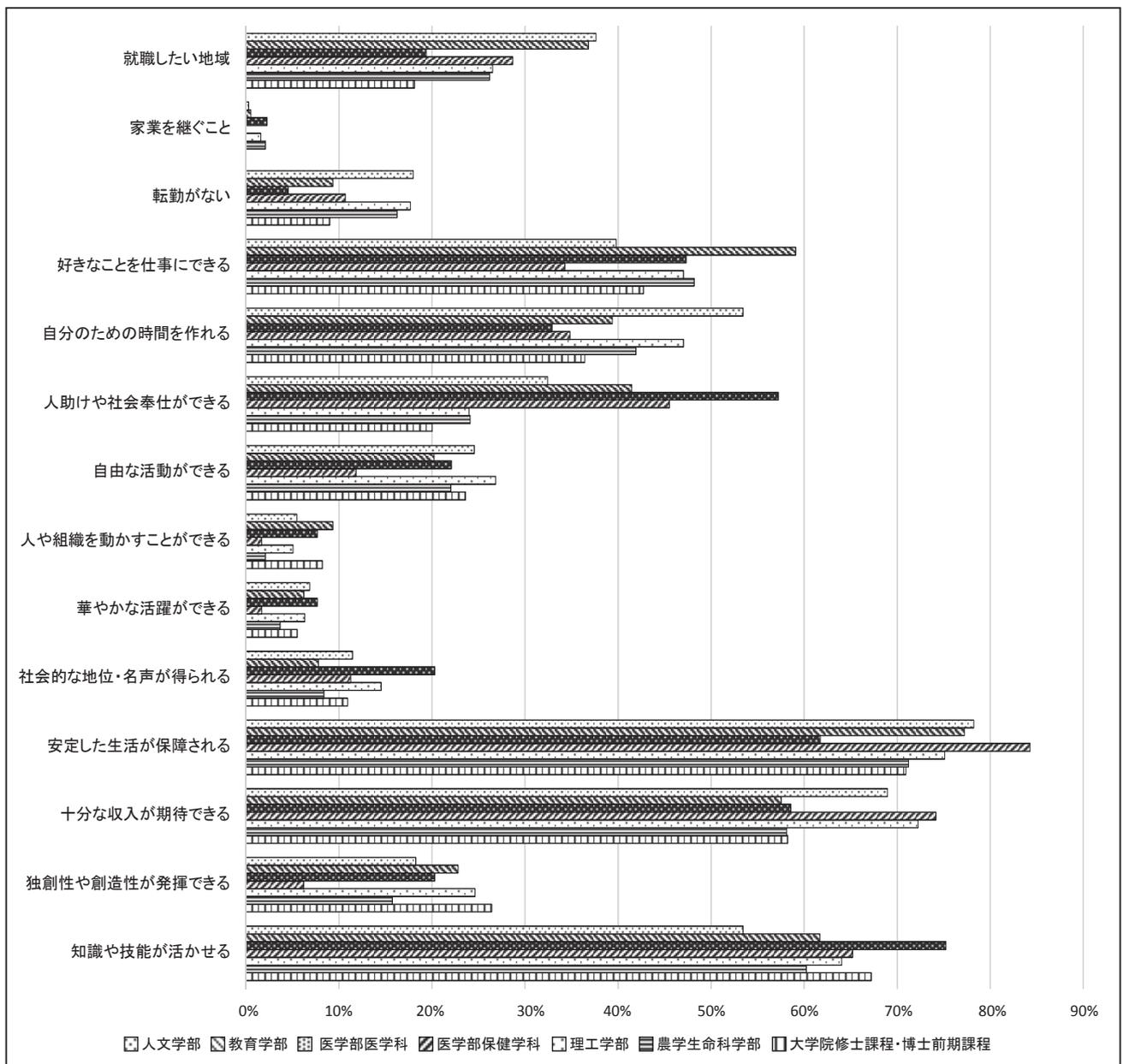


図4-5 職業選択で重視すること

特に回帰意識が強いのは教育学部で 87.5%，次いで保健学科の 82.2%である。就職時の地域重視学生が多い学科との相関性が明らかである。その一方で，就職時には地域性を重視しない傾向の医学部医学科においても，74.1%の学生が出身地に帰りたいという意識を持っており，就職後の移動を視野に入れて考えていることが明らかになった。

職業を選択する上で重視することは，図 4-5 が参考になる。近年の雇用情勢を反映し，医学部医学科以外は「安定した生活が保障される」を 1 番多くの学生が選択している。特に医学部保健学科においてはその傾向が強く反映されている。次に，「知識や技能が活かせる」，「十分な収入が期待できる」，「好きなことを仕事にできる」が多く選択されている。

#### 4.6 就職や進学についての教員や大学への要望について

就職あるいは進学についての教員や大学への要望については，図 4-6 が参考になる。「大学としてもっと積極的な対策を講じてほしい」が 31.1%，「大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい」が 28.2%，「教員にもっと人材育成に積極的であってほしい」が 19.1%，「教員

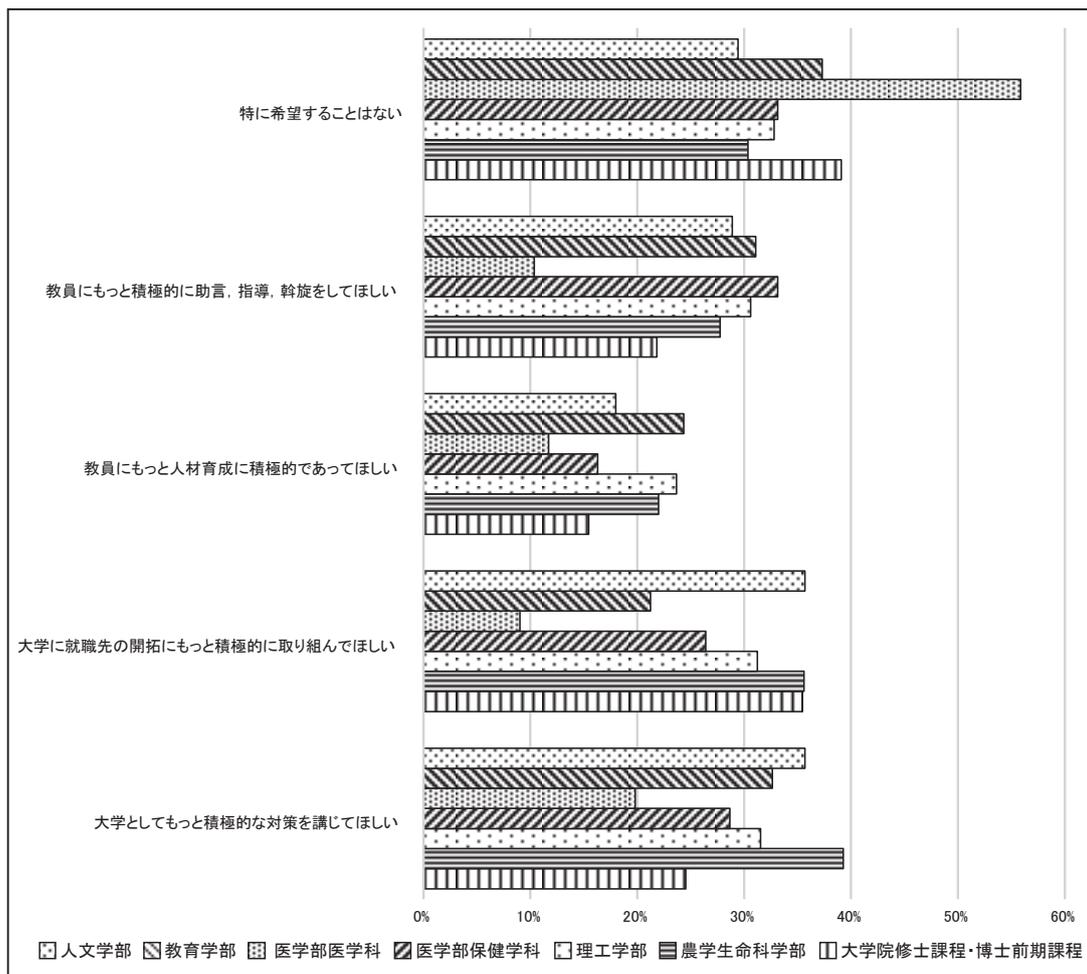


図 4-6 就職あるいは進学についての要望

にもっと積極的に助言、指導、斡旋をしてほしい」が26.7%であった。

一方で、「特に希望することはない」が36.0%であった。4年前の調査時における「特に希望することはない」学生が26.2%よりも大幅に増加していることが明らかになった。大学や教員が学生への就職支援に取り組みが浸透している結果であると考えられる。

#### 4.7 大学院生の進路への希望と考え方

大学院生のほとんどは男女ともに就職を希望している（男子学生79.1%、女子学生70.0%、全体76.7%）。民間企業や専門職、教育職を希望する学生の割合は学部学生とほぼ同じ（民間企業31.2%、専門職23.8%、教育職11.1%）であるが、公務員・公的機関を希望する学生（7.4%）と研究職を希望する学生（21.7%）の割合が逆転している。職業を選択する際に重視するものとしては「知識や技能が活かせる」ことが最も大きな割合を占め、次いで「安定した生活」、「十分な収入」となっている。学部学生の場合には、「安定した生活」と「十分な収入」に次いで「知識や技能が活かせる」ことが職業選択にあたっての重要事項として選択されていた。また、「就職したい地域」や「転勤がないこと」を選ぶ大学院生の割合は、それらを選んだ学部学生の割合の半分程度となっており、大学院で学んだ知識や技能を職業に活かす意識が高いことが伺われる。

就職や進学についての教員や大学への要望に関する調査結果は、「大学としてもっと積極的な対策を講じてほしい」(22.2%)、「大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい」(22.8%)、「教員にもっと人材育成に積極的であってほしい」(15.9%)、「教員にもっと積極的に助言、指導、斡旋をしてほしい」(18.5%)、「特に希望することはない」(38.6%)となった。学部学生と同様に「特に希望することはない」が最も多く、前回の調査結果に比べて4.6ポイント高くなっている。また、就職支援センターの利用に関しては40.2%の学生が「利用しない」を選んでおり、学部学生とは異なるスタンスで就職活動に臨んでいることが推察される。

(佐藤友暁・牛田千里)

## ■ 第五章 弘大生の学生生活と人間関係

学生がどのような大学生活を行ない、どのような人間関係を築いているのかは、学生生活の満足度にとって重要な意味を持つ。とくに、学生を取り巻くメディアや、グループ活動のあり方に大きな変化が生じつつある現在、彼・彼女らの生活・人間関係の実態を把握しておく必要がある。本章では、学生生活実態調査の結果に基づき、以下の6点を検討する。具体的には、「1. クラブ・サークル活動」、「2. 人間関係」、「3. 興味関心」、「4. 社会への関心とメディアの利用状況」、「5. ネットワークの利用」、「6. キャンパスにおける環境」を取り上げる。

### 5.1 クラブ・サークル活動

大学生活におけるクラブやサークル活動は重要な要素である。今回の調査によると、弘大生のクラブやサークルに所属している割合は78%であり、前回の76%より僅かに上昇した。男女差については、女性の方がやや多い傾向を示している。

クラブやサークルに所属している学生に対して「所属してよかった点」をまとめたグラフが図5-1である。「友人ができた」、「楽しく過ごしている」という理由が、男女ともに多く挙げられている。クラブやサークル活動が人間関係の形成に大きく寄与していることがうかがえる。所属してよかった点の大まかな傾向は前回調査結果と共通しているものの、今回の調査結果の特徴として、「積極性が出てきた」という理由を挙げた学生の割合が5ポイントほど増えていた。

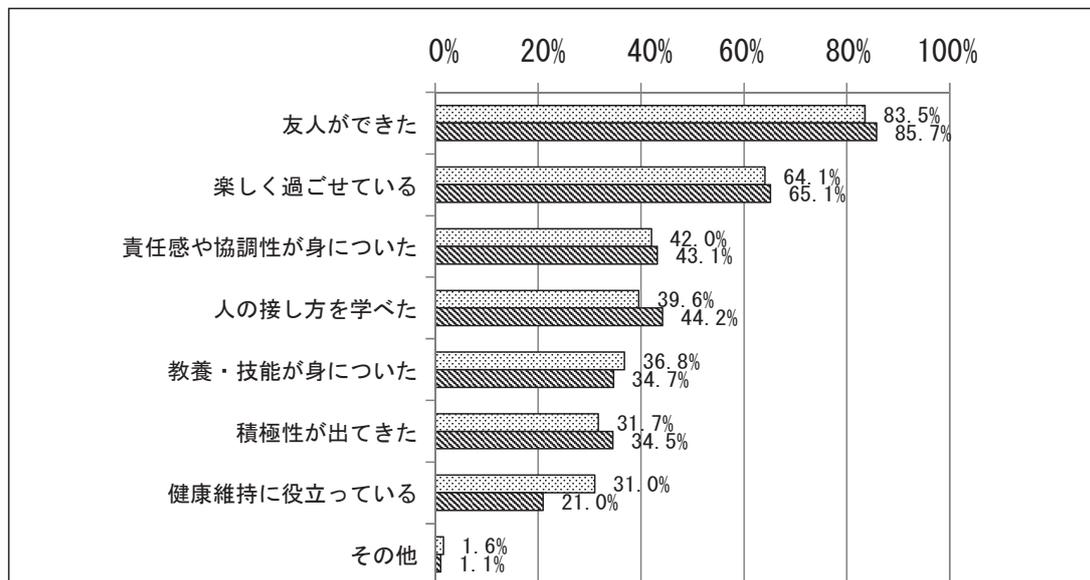


図5-1 クラブやサークルに入って特によかったと思うこと（上：男，下：女）

今回の調査では、新たに、「学外のサークル」活動についてもたずねた。学外のサークルに所属している学生の割合は6%と少ない。その中で、学外のサークルに所属してよかった点をたずねたところ、「友人ができた」(60%)、「楽しく過ごせた」(58%)に加え、「教養・技能が身についた」(53%)、「人との接し方を学べた」(47%)を挙げた学生が、比較的多かったことが特徴的である。学外サークルに所属している学生は、学内サークルとは異なる社会生活の経験を積んでいると考えられる。

## 5.2 人間関係

学内外の平均友人数は、図5-2の通りである<sup>1)</sup>。学内の友達よりも、学外の友人数が多く、とくに男子学部生の方がその差が大きい。前回調査時と比べると、学外の友人数が増えていることが特徴的である。男子学部生の学外の平均友人数は31.5人から34.2人へと増え、女子学部生でも29.3人から33.1人に増えている。また、学外の親しい友人数も、男子学部生では、7.3人から9.3人へと増えている。そのほかの大まかな傾向は、以前の調査とほぼ同様の結果であった。

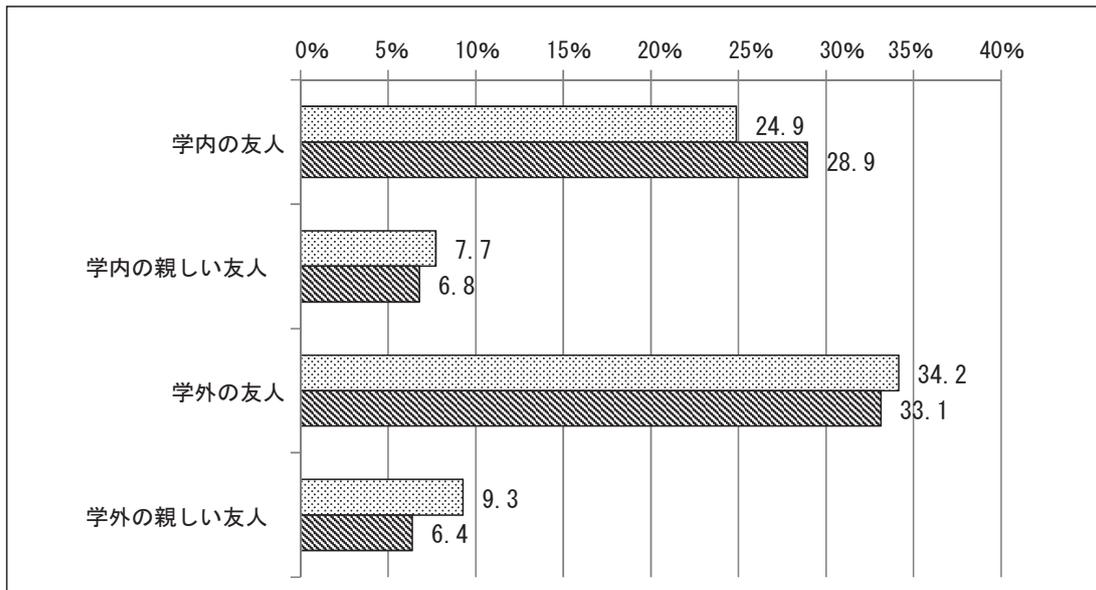


図5-2 平均の友人数（上：男，下：女）

学生生活においては、友人の多さだけではなく、付き合う相手への意識も重要である。大学生は、どのような対象を大切な相手だと考えているのだろうか。「大切にしている人間関係」を尋ねた結果が、図5-3である。「クラス・研究室・ゼミ」、「クラブやサークル」、「高校以来の友達」が多く選択されている。興味深い点は、女子学部生の方が、どの対象についても「大切にしている」と答えた割合が高いことである。また、前回調査結果と比べると、男子学部生は、それぞれの対象について、大切な人間関係として挙げる割合が減っている。たとえば、「クラス・研究室・ゼミ」について、前回調査時は、75.4%の男子学部生が大切にしている人間関係として挙げていたのに対し、今回の調査時では64.7%が選択しており、10ポイントほど減っている。「高校以来の友達」、「中学校以前からの友達」といった学外の友人を選ぶ割合も10ポイントほど減っている。一方、女子学部生では、こうした変化は見られなかった。

大学生の友人関係の大まかな特徴として、友人の数自体は増えている。しかし、男子学部生では、大切にしている人間関係として対象を選ぶ割合が減っていることが明らかとなった。友人関係の範囲が広がっている一方で、より親密な相手とみなされる対象が減っているとも考えられる。また、学外の人間関係が増えている背景として、たとえば、アルバイト先等の友人関係性が強まっている可能性が考えられる。大学生が学外でつきあう友人の属性については、今後詳しく見ていく必要がある。

<sup>1)</sup> 友人数のデータは、記入誤り等が想定されるケースがあるため、有意水準1%による異常値検知により外れ値処理したうえで分析に使用した。

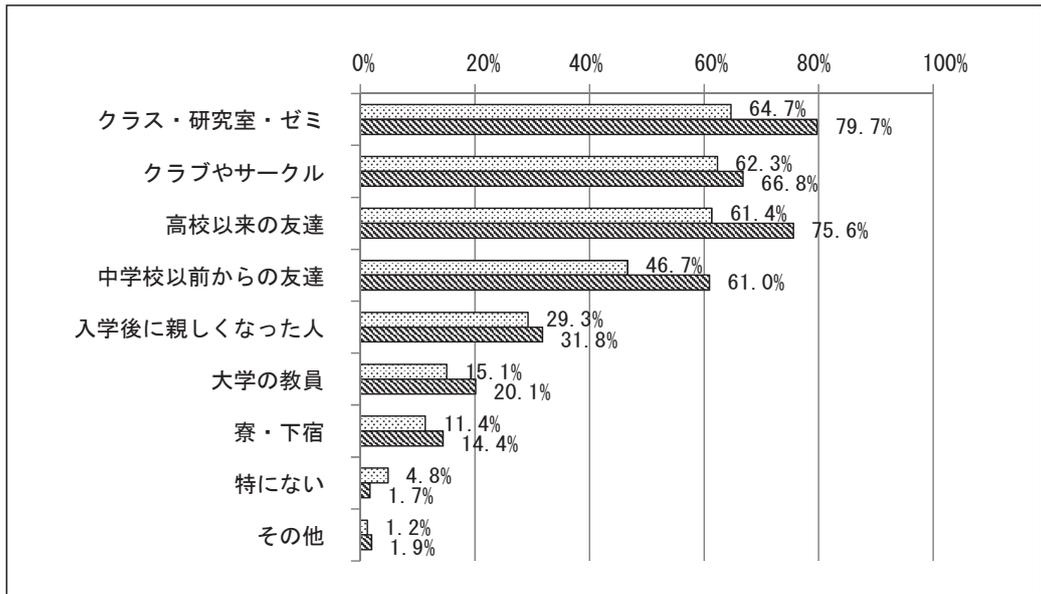


図5-3 大切にしている人間関係（上：男，下：女）

友人関係の状況については、「うまくいっている」、「だいたいうまくいっている」と答えた回答者が合わせて9割に達し、学部学生は概ね良好な友人関係を築いていると考えられる（図5-4）。前回調査と比較して興味深いのは、男女ともに、「うまくいっている」と答えた割合、ならびに、「（あまり・まったく）うまくいっていない」と答えた割合のそれぞれが増えている点である。中間的な回答が減り、友人関係の良好さと不調を訴える回答がそれぞれ増えたことは、学生生活のさまざまな事柄の中でも、友人関係に対して、より意識が向けられるようになり、そこでの（主観的な）成功・失敗が問題になりやすいことを表わしているのではないだろうか。

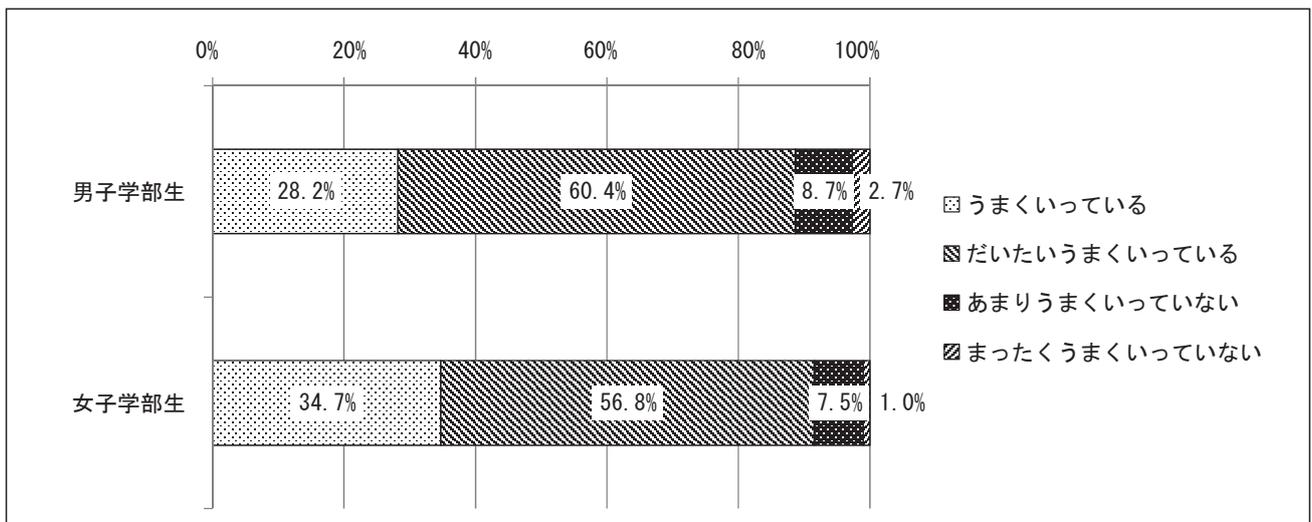


図5-4 友人関係の状況

留学生との関係を見てみると、「留学生と話す機会が（ほとんど・まったく）ない」とする回答が86%と多数を占めた。これは、男女ともに同様であり、前回調査ともほぼ同様であった。

大学院生における人間関係は、大学院の状況を反映した結果となっており、大きな問題はないと考えられる。友人数については、学内の友人数は少ないものの、学外の友人数が多い。また大切にしている人間関係には、大学教員を挙げる割合が高く、教員との関係性がより強くなっていることがうかがえる。

### 5.3 興味や個人的な関心

大学生は、どのような対象に興味関心を持っているのだろうか。今回の調査からは、「趣味・遊び」(73%)、「授業・勉強・研究」(61%)、「友人関係や恋愛」(51%)、「進路」(47%)の順に、興味関心が強く持たれていることが示された。性別による違いが表れた項目も多く、女子学部生がより関心を持っている対象は、友人関係や恋愛、音楽・文芸・芸術等であるのに対し、男子学部生は、スポーツや政治・社会問題により関心をもっていた。

興味深い点は、前回調査と比べて、「友人関係や恋愛」、「進路」への関心が大きく下がっていることである。友人関係や恋愛に関心を持つ学部学生の割合は64%から51%へと減っている。女子学部学生では10ポイント程度の減少であったが、男子学部学生では16ポイントもの減少であった。これは、男子学部学生の「大切にしている人間関係」が減っていた結果とも連動していると考えられる。進路への関心については、66%から48%へと、18ポイントも減っていた。前回調査時は、厳しい就職状況の影響から進路への関心が高まったと考えられる。今回の調査時点においては、学部卒学生の就職状況が比較的良好であり、こうした社会情勢が関心の低下につながったのではないかと考えられる。

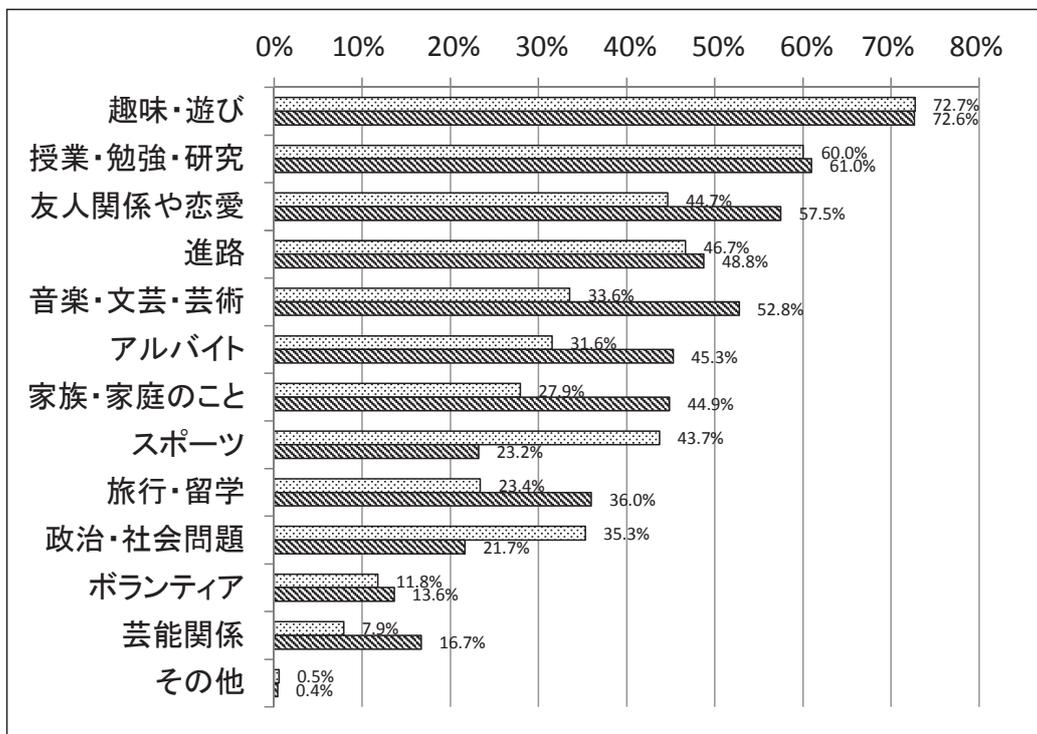


図5-5 興味・関心 (上：男, 下：女)

大学院生の興味関心については、大学院としての状況が反映された結果となっている。たとえば、友人関係や恋愛、アルバイトの項目を選ぶ割合は顕著に低い。ただし、前回時調査時と比較すると、「授業・勉強・研究」に関心を持つ大学院生の割合は 17 ポイントも減っており、61%の選択率であった。これは、学部学生の選択率とほぼ同じである。大学院生における勉学への関心の低下については、慎重に吟味していく必要があるだろう。

#### 5.4 社会への関心とメディアの利用状況

IT 技術そしてその利用形態であるメディアは大きく変わりつつある。一般社会で新聞、ラジオ、テレビの視聴に代わってインターネット、その中での SNS の利用が拡大しつつあると認識されてきているが、弘大生ではどうであろうか。

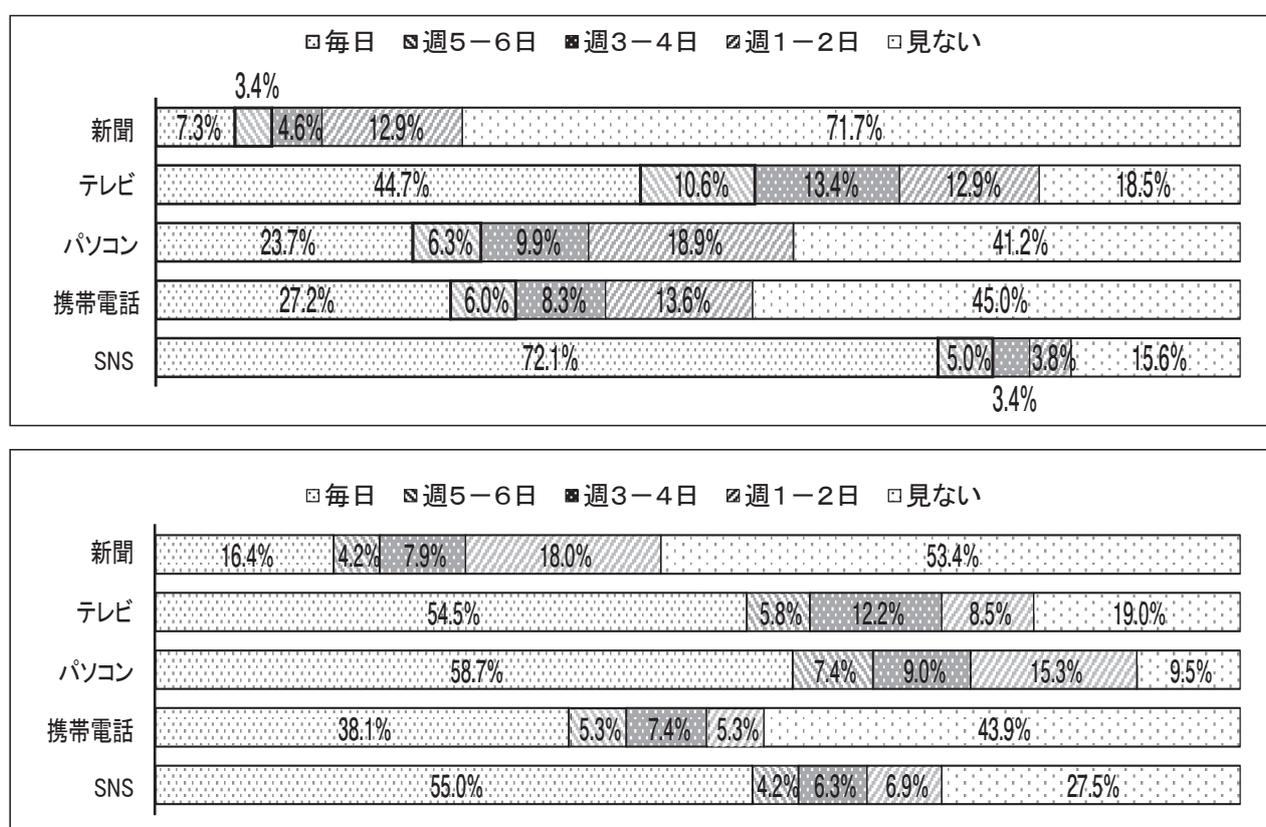


図 5-6 一週間におけるメディアの利用回数（上：学部生，下：大学院生）

前回 (2010 年) での調査では、学部生で新聞を読まないと回答した者が 50%を超えたが、今回は更に 70%を超え、新聞離れの傾向は一層顕著となった。一方、大学院生は 50%をわずかに超えるに留まった。新聞離れに変わって、学部生の 70%超が、SNS を毎日利用していると答えている (図 5-6)。

一方テレビは、毎日見ると答えた学生は、前回の 49.3%から僅かな減少 (44.7%) に留まったが、全く見ないと答えた学生は、12.7%から 18.5%とその分増えている。パソコン、携帯電話のメディア利用には、大きな変化は見られなかった。ただ、大学院生に比べて、パソコンの使用頻度は明らかに低かった。

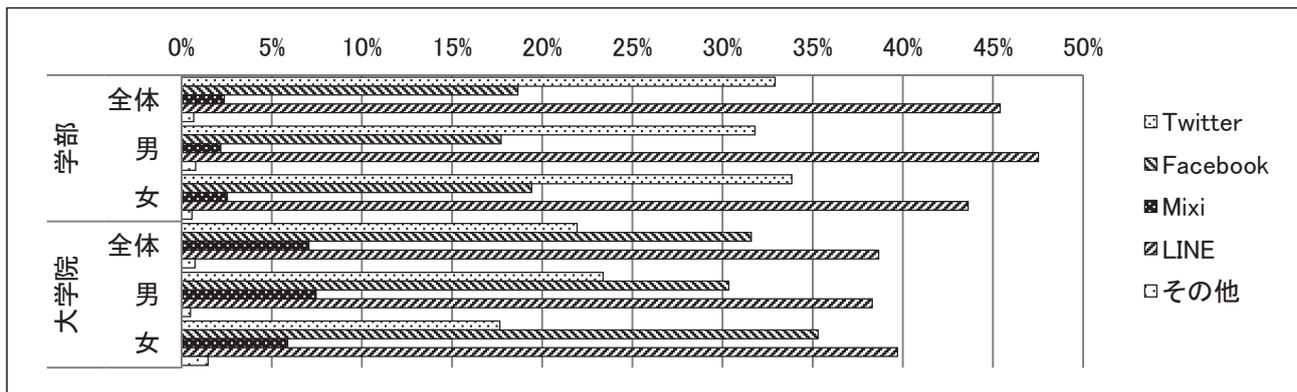


図 5-7 SNSの種類と利用度

また、SNSの種類と利用度を見ると、学部生、大学院生ともにLINEが最も多いが、二番目は学部生ではTwitter、大学院生ではFacebookと、違いが認められる(図5-7)。

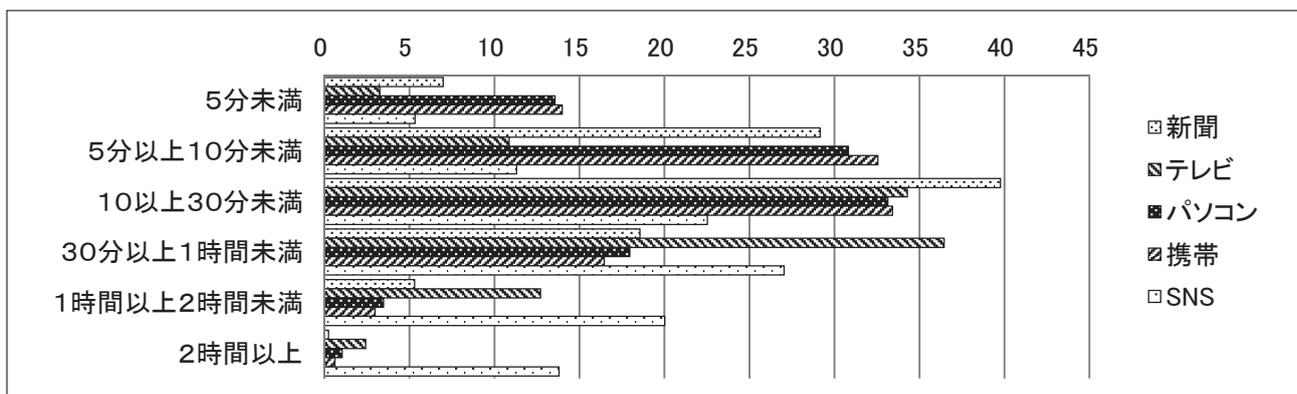


図 5-8 一日に見る時間(学部生)

また1日あたりの利用時間では、新聞では約80%の学生が30分未満であるのに対して、SNSでは80%以上の学生が30分以上と長い傾向にある。その傾向は大学院生より、学部生で顕著であった(図5-8)。

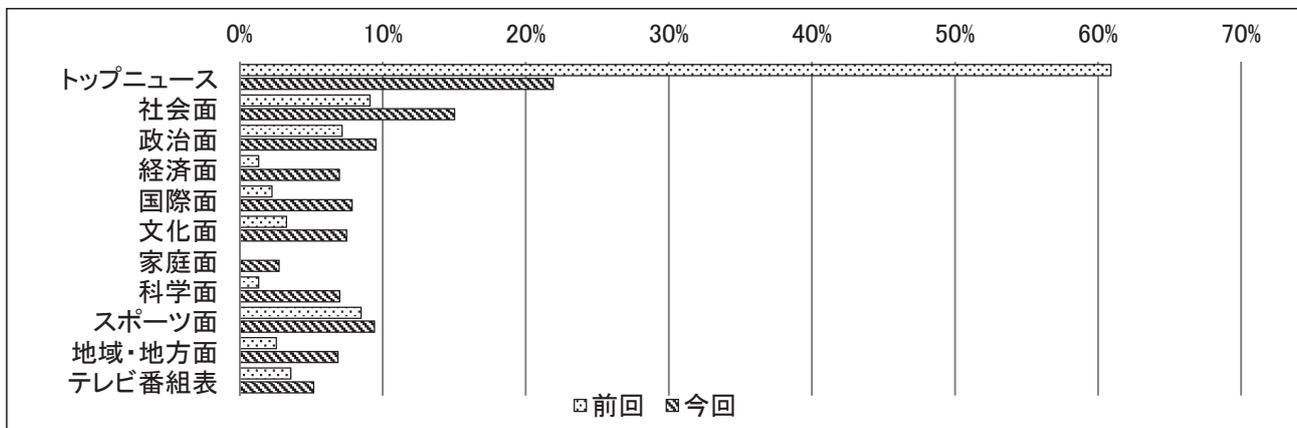


図 5-9 各メディアで見る・読む分野(学部生)

各メディアの関心あるジャンルでは、前はトップページが抜きん出て多かったが、今回は分散している。しかし、社会状況の変化を反映してか、社会、政治、経済、国際の各面をよく見る傾向にあった（図5-9）。

## 5.5 ネットワークの利用

前回の調査で、インターネット等のネットワーク利用が一般化している現状が明らかになったが、その傾向は4年後の現在、それがSNSへの集中という形に変化してきている（図5-10）。

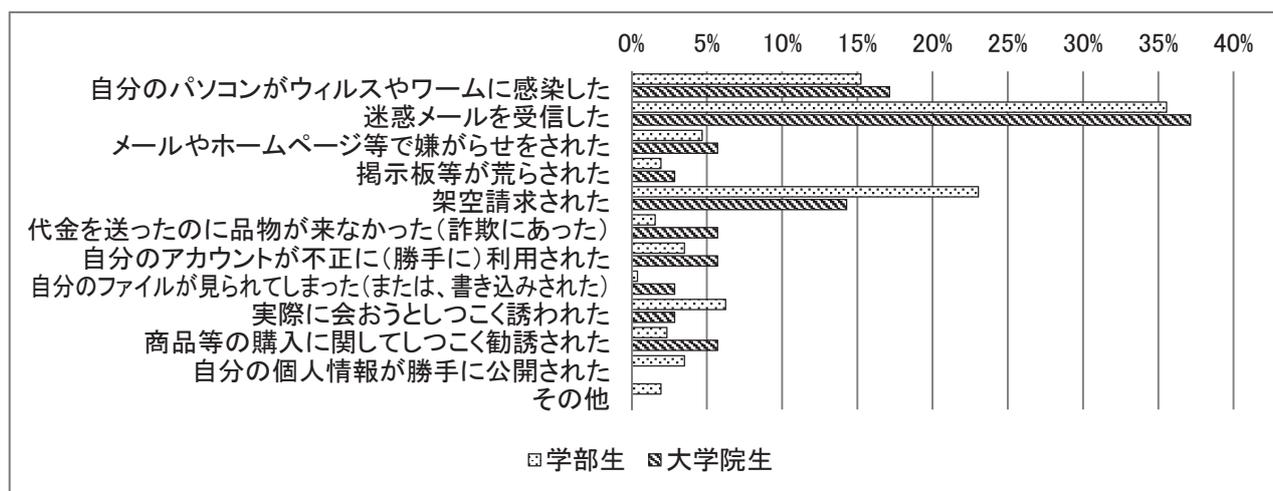


図5-10 インターネットでのトラブル

それを反映して、インターネットでのトラブルが増加することと予想される。学生が経験したトラブルは、迷惑メールが一番多いが、前回調査時よりその頻度が高くなっている。また架空請求されたケースも著明に増えているが、それは学部生の方でより顕著であった。

## 5.6 キャンパスにおける環境

### (1) 通学

本学のある弘前は、首都圏、関西圏など大都市圏と比して、公共交通機関の便は良くないため、大学近くに住み、徒歩や自転車で通学するのが一般的である。実際、学部生の90%、大学院生の70%が徒歩あるいは自転車である。大学院生は学部生に比べ、自家用車あるいは、公共交通機関の利用者が相対的に多くなっているが、そのことは通学に要する時間の長さとも相関するようである（図5-11、図5-12）。

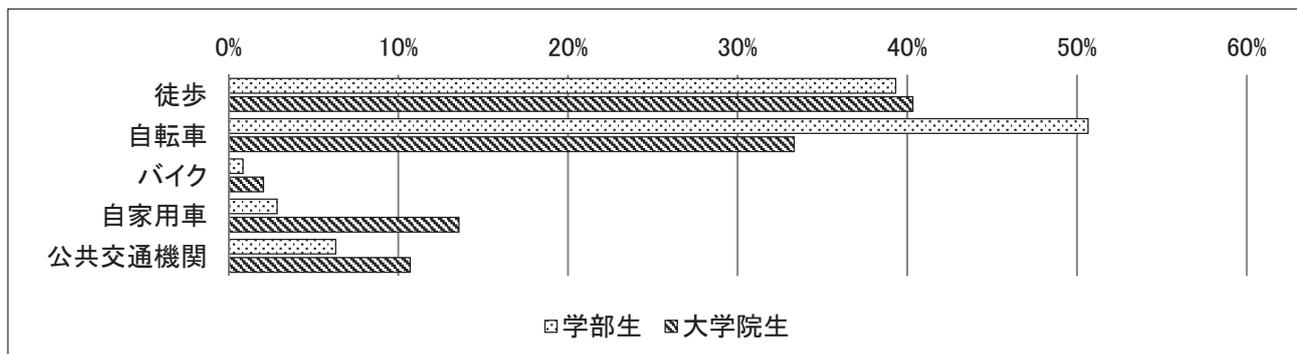


図 5-11 主な通学手段

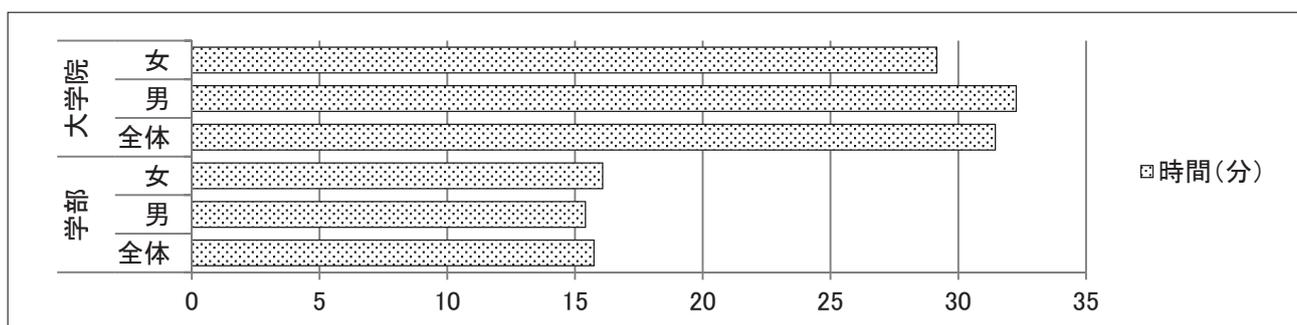


図 5-12 通学に要する時間

但し、12月から3月一杯までの積雪のある期間では、通学の手段、および要する時間は変化することが予想されるが、今回の調査の設問では、その点は触れていないので不明である。

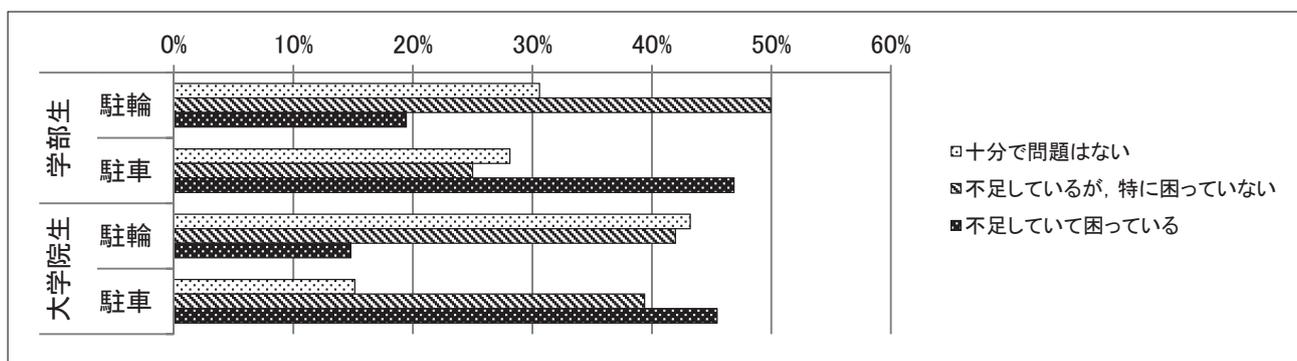


図 5-13 駐輪・駐車スペースについて

多くの学生が通学に自転車を使う現状では、自転車の駐輪スペースが十分かどうか、利便性の面で問題となろう。キャンパス改修に伴って、駐輪スペースの設置・増設が行われたためか、スペースは十分とは言えないものの、80%以上の学部生・大学院生ともに特に困っては居ないようである。一方、駐車スペースに関しては、半数近くの学生が、その不足を大きな問題と捉えているようである。特に自家用車で通学する者の多い大学院生の方に、不足と感じる気持ちが強いようである(図5-13)。

## 5.7 まとめ

以上の分析に基づき、学生生活と人間関係について、問題点や今後の展望についてまとめておきたい。

大学時代は、友人関係や恋愛関係を通じた自己形成の時期と重なり、どのような友人関係を築くかは、その後の社会生活にとっても重要な経験となりうる。今回の調査からは、弘前大学の学生は、概ね良好な友人関係を築いていると考えられる。しかし、男子学部生を中心に、大事にしている人間関係への認識、関心の対象としての友人への意識がやや低下しており、友人付き合いの意味が変化していることもうかがえた。学外でさまざまな活動や人付き合いの経験を広げることが期待されると同時に、大学生活の中で孤立しないようなサポートを大学側が提供していく必要があるだろう。

大学時代を社会人となるための準備期間と考えると、客観的に社会を見ることが出来る時期でもある。そういう意味でも、社会への関心、そのためのメディアの利用が高まることが期待される。その意味では、メディアの社会、政治、経済、国際の各面を、前回よりいずれもよく見る傾向が見られたのは、その期待に沿う変化と思われる。また利用するメディアが、新聞、ラジオ、テレビと言った、ある意味一方向性のものから、双方向性を持ち、自分から発信も出来るメディアであるSNSにシフトしている。SNSにはそういうメリット共に、トラブルに巻き込まれやすいというデメリットもある。それらを踏まえて、正しくより有効に使えるリテラシーの教育や普及活動も、大学が積極的に提供していく必要があると思われる。

弘前は自然豊かな地方都市である。その一方で、厳しい気象条件、利便性の必ずしも高くない公共交通機関の問題がある。そのため冬の降雪は学生生活に大きな影響を与える。自転車通学は危険であるため徒歩通学となる。残念ながら、今回の調査ではそれらの点についての設問がなく、実態を正確に把握できなかった。是非次回にはそれを組み入れることを希望する。

(担当：日比野愛子，古川賢一)

## 第六章 弘大生の健康関係

弘前大学の学部生と大学院生の健康について、基本的な生活習慣、心身の健康状態、悩みの3つの観点から述べる。

### 6.1 基本的な生活習慣

#### (1) 朝食

朝食習慣について1週間あたりの摂取状況を調査した。「毎日」と「週に5～6日」を合わせた割合は、学部全体ではおよそ7割、大学院ではそれより少ない6割であった。男女別にみると、男子学部生では66.7%、女子学部生は71.7%、また男子大学院生では54.0%、女子大学院生は76.0%であった。一方で、朝食を「とらない」学生も、学部の男子で平均10.8%、女子では5.6%みられ、また大学院では男子の20.9%、女子の8.0%が朝食をとらない傾向にあった。全体を通じて女子学生の方が、男子学生よりも朝食を摂取する日数が多かった。

学年別にみると、朝食の摂取頻度をもっとも高かったのは1年生で、学年が上がるにつれ頻度は低下し、4年生ではもっとも低かった(図6-1)。

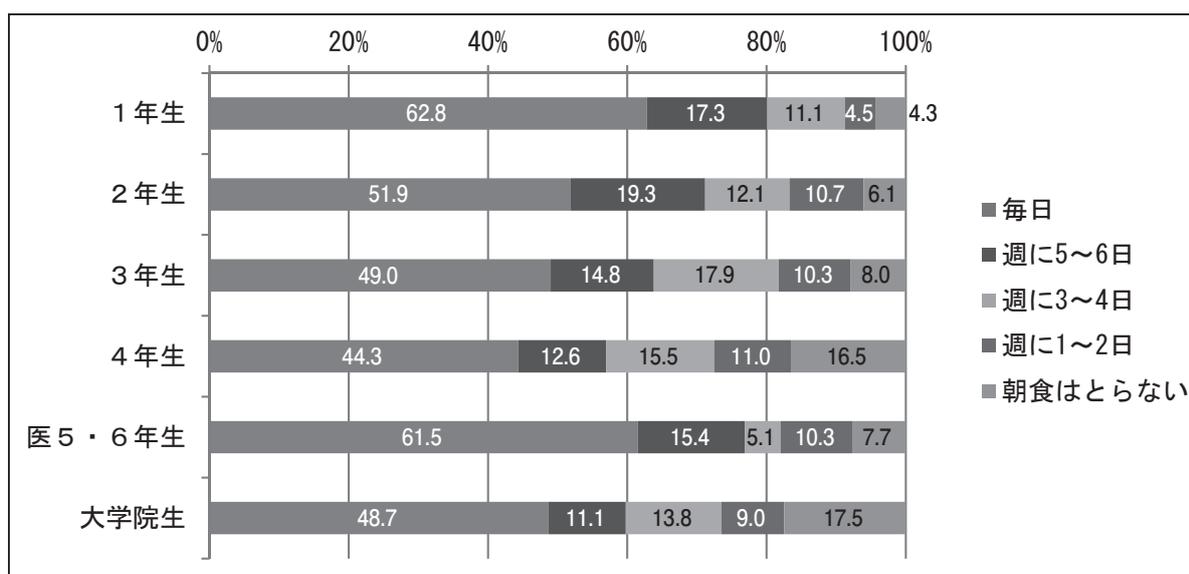


図6-1 一週間あたりの朝食の摂取状況

#### (2) 睡眠

ふだんの睡眠時間については「7～8時間」という学生が多かった(平均53.0%)。「9時間以上」はおよそ2.0%と少なく、女子大学院生では「6時間以下」が54.0%であった。

また睡眠の質については、全体の3割程度が、睡眠状況が「悪い」と回答していた。その理由としては「疲れがとれない」(44.7%)がもっとも多く、次いで「寝つきが悪い」(28.2%)、「昼夜逆転」(11.7%)、「途中覚醒」(10.9%)の順であった(図6-2)。

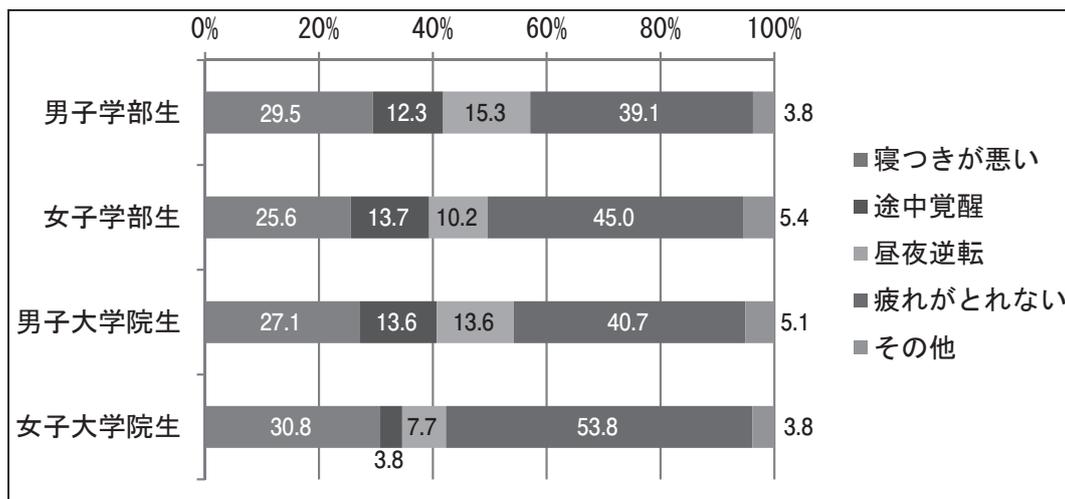


図6-2 睡眠の質が悪い理由（複数回答）

### (3) 喫煙

弘前大学では、平成18年12月12日からキャンパス内全面禁煙となった。本調査は全面禁煙となってから二度目の調査である。全体的な喫煙状況をみると、女子に比べて、男子の喫煙率が高く、とりわけ男子大学院生が15.8%と高かった。

喫煙者の1日あたりの喫煙本数は、男子学部生で7.0本、女子学部生で3.7本、また男子大学院生では9.8本となっており、前回調査時よりもやや減少傾向にあった（図6-3）。

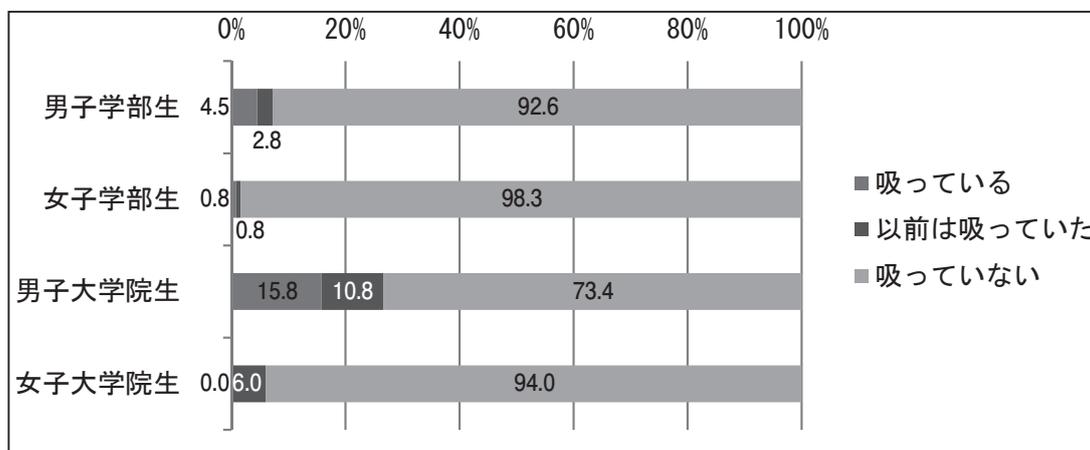


図6-3 喫煙習慣

「受動喫煙」（周囲にいる人が喫煙者の煙を吸ってしまうこと）の機会が1週間にどれくらいあるかについては、「毎日」と「3～6日」を合わせた割合は、男子学部生で24.0%ともっとも高く、次いで女子大学院生の18.0%、女子学部生の17.4%、そして男子大学院生の14.4%の順であった。受動喫煙の比率は前回の調査時とほぼ同じ水準であった。

#### (4) 飲酒

飲酒習慣について、1週間あたりどのくらいの頻度で酒を飲むか尋ねたところ、「週に1回以下」がもっとも多かった（平均48.8%）。一方、男子大学院生では「毎日」飲むが5%と高く、大学院生は、学部生に比べて飲酒の機会が多いことがうかがわれる（図6-4）。

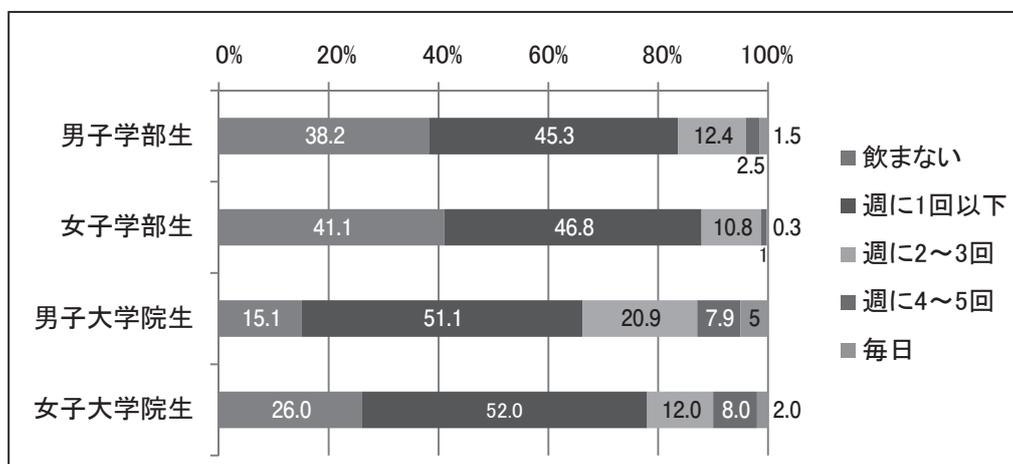


図6-4 飲酒の習慣

#### (5) 健康のために心がけていること

ふだん健康のために心がけていることを複数回答で尋ねたところ、学部・大学院を通じて、「なるべく歩く」（運動）、「栄養バランス」（食事）への関心が高く、男子は「スポーツ」、また女子では「規則正しい生活」が上位にあげられた（表6-1）。

表6-1 健康のために心がけていること（上位3つ）

男子学部生		女子学部生	
なるべく歩くなど体を動かすようにしている	42.1%	栄養のバランスを考え食事の内容に注意している	41.4%
スポーツをしている	40.9%	なるべく歩くなど体を動かすようにしている	40.3%
栄養のバランスを考え食事の内容に注意している	35.0%	規則正しい生活をするよう心がけている	30.3%
男子大学院生		女子大学院生	
なるべく歩くなど体を動かすようにしている	40.3%	なるべく歩くなど体を動かすようにしている	42.0%
スポーツをしている	36.0%	栄養のバランスを考え食事の内容に注意している	42.0%
栄養のバランスを考え食事の内容に注意している	30.2%	規則正しい生活をするよう心がけている	28.0%

### 6.2 心身の健康状態

#### (1) 定期健康診断の受診状況

平成26年度の定期健康診断を「受けなかった」学生は、全回答者の1割程度であった。学年別で受診率が一番高かったのは1年生で、学部では医学科を除き、学年が上がるにつれて受診率の低下がみられた（図6-5）。



図6-5 学年別の健康診断の受診状況

健康診断を受診しなかった理由については、学部では「忘れていた」，「授業があった」の割合が高く，大学院では同じく「忘れていた」のほか，「他の仕事や予定を優先した」の割合が高かった（図6-6）。

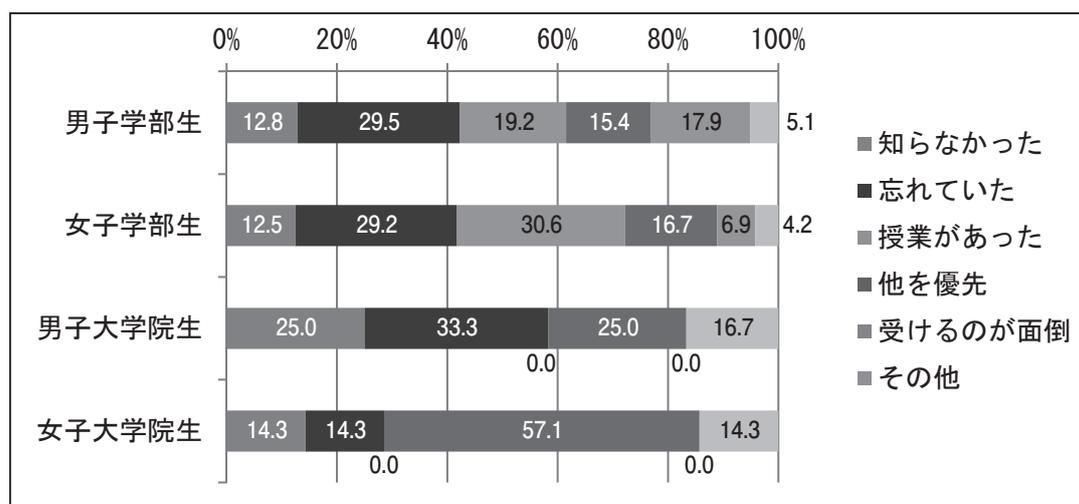


図6-6 健康診断を受けなかった理由

## (2) 現在の健康状態

現在の健康状態が「良好」である学生は，学部生で74.2%，大学院生では73.3%であった。一方で，病気ではないと思うが「調子が悪い」と答えた学生も全体の2割程度にみとめられた（図6-7）。

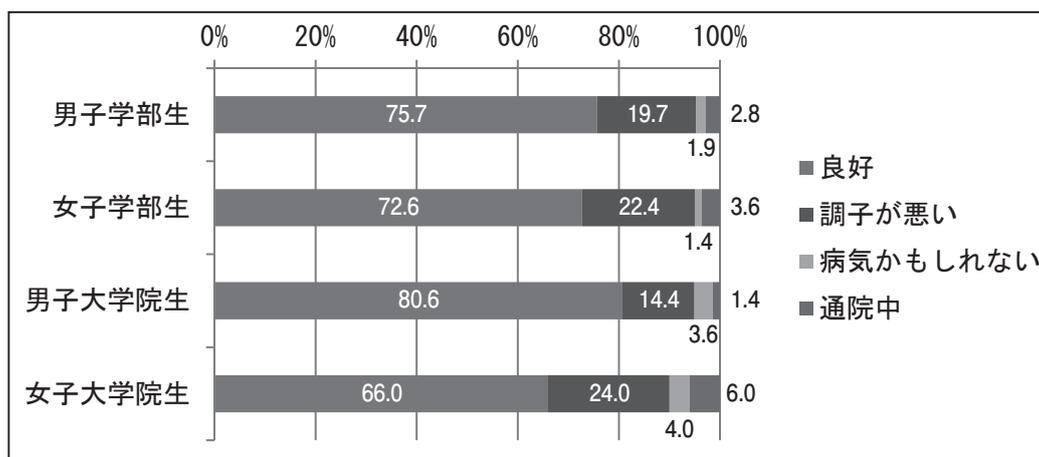


図6-7 現在の健康状態

心身の自覚症状の内訳を表6-2に示す（複数選択）。学部・大学院を通じて「疲れる」や「集中力の低下」の割合が高く、学部生では、男女ともに「無力感」の訴えが多かった。

表6-2 心身の自覚症状（上位3つ）

男子学部生		女子学部生	
疲れる	39.0%	疲れる	48.5%
集中力の低下	23.9%	集中力の低下	30.4%
無力感がある	20.9%	無力感がある	27.4%
男子大学院生		女子大学院生	
疲れる	30.9%	疲れる	54.0%
下痢しやすい	19.4%	集中力の低下	30.0%
集中力の低下	18.7%	便秘しやすい	24.0%

## 6.3 悩み

### (1) 悩みの内容

悩みについて尋ねたところ、「ない」と答えた学生は男子で24.0%、女子では16.1%であった。女子学生の方が、悩みをもちやすい傾向がうかがわれる。

学生たちの悩みの内容を表6-3に示す（複数選択）。学部生では男女ともに「進路や就職のこと」、「勉強や成績のこと」、「自分自身の性格のこと」の割合が高く、大学院生では「研究のこと」、「修士・博士論文」の悩みが上位を占めた。

表6-3 悩みの内容（上位3つ）

男子学部生		女子学部生	
進路や就職のこと	46.5%	進路や就職のこと	49.6%
勉強や成績のこと	39.7%	勉強や成績のこと	43.1%
自分自身の性格のこと	28.6%	自分自身の性格のこと	34.9%
男子大学院生		女子大学院生	
研究のこと	46.8%	研究のこと	50.0%
修士・博士論文のこと	43.9%	修士・博士論文のこと	40.0%
進路や就職のこと	32.4%	進路や就職のこと	32.0%

## (2) 悩みへの対処方法

悩みへの対処法については、男女ともに「自分自身で解決するよう努力する」の割合がもっとも高かった。また、女子は、男子に比べて「誰かに相談する」ことも比較的多かった（図6-8）。

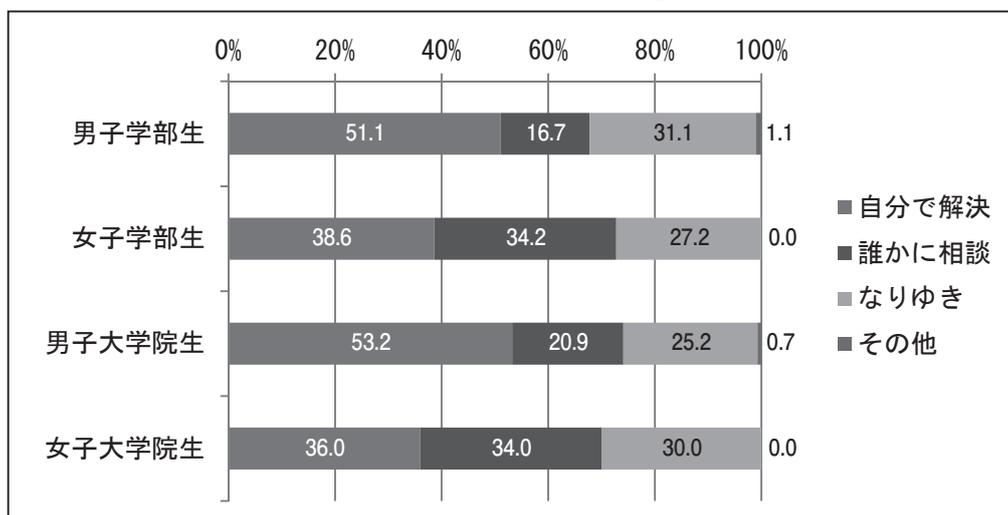


図6-8 悩みへの対処方法

具体的な相談相手を尋ねると、学部生では身近な「友人」がもっとも多く（男子で5割，女子で7割），次いで「家族」との回答が多かった。大学院生もほぼ同様の傾向を示したが，相談相手が「教員」と答えた割合も10%で，学部生に比べて高い傾向を示した。

## (3) 保健管理センターや学生課のなんでも相談窓口について

保健管理センターや学生課のなんでも相談窓口について知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」と答えた学生は全体の5割で，その経緯は「入学式の説明で知った」（37.6%）がもっとも多く，次いで「学生生活ガイド」（21.2%），「学部学科のオリエンテーション」（18.2%）の順であった。その他「先生や友達から聞いて」が1割，また「掲示板」「健康診断」などの回答も出された。

## (4) 大学をやめたい

大学をやめたいと思ったことがあるかについては，学部生では16.1%程度が「ある」と回答した。また大学院生では，男子の17.3%，女子の20.0%がやめたいと思ったことがあると回答している（図6-9）。

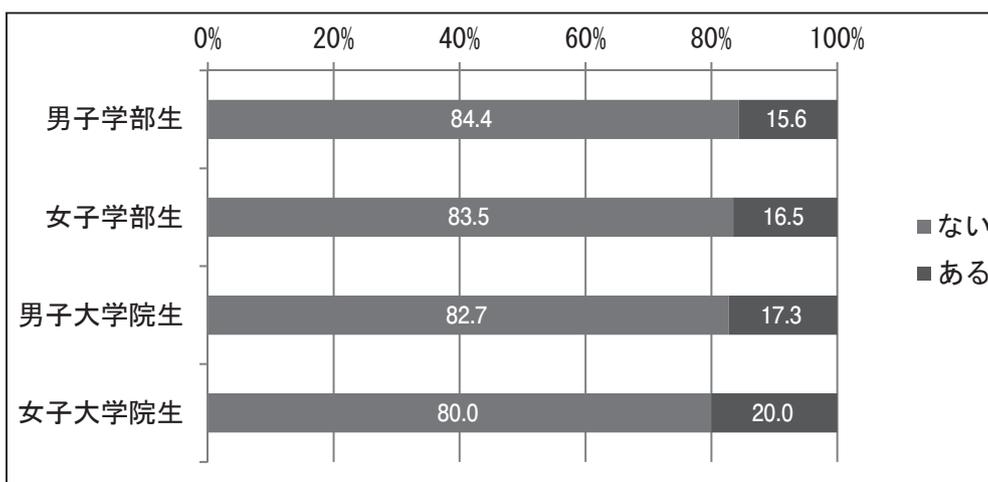


図6-9 大学をやめたいと思ったことがあるかどうか

大学をやめたいと思った理由の上位は、学部生の男子では、「授業がおもしろくない」，「学部学科が合わない」，「興味をなくした（目的喪失）」の順で高く，女子では「学部学科が合わない」，「自分の能力に合わない」，「興味をなくした（目的喪失）」，「授業がおもしろくない」の順に高かった。また大学院生の上位は，男子では「研究科，講座等が合わない」，「興味をなくした（目的喪失）」，「自分の能力に合わない」，「授業がおもしろくない」で高く，女子では「自分の能力に合わない」，「教員との関係」で高かった。

#### 6.4 まとめ

弘大生の生活習慣で，朝食をほぼ毎日摂っている割合は，学部生では7割，大学院生では6割で，前回4年前の調査時とほぼ同様の傾向を示した。朝食を摂る頻度は医学科を除き，学年が上がるにつれて低下したが，女子は男子に比べて朝食を摂る習慣があった。

平均の睡眠時間は7～8時間をもっとも多かった。およそ3割の学生が睡眠の質が悪いと報告しており，理由としては「疲れがとれない」の割合がもっとも高かった。昼夜逆転については，男子学生の方が，女子学生よりも多い傾向にあった。

喫煙率に関しては，女子よりも男子学生の方が高く，特に男子大学院生の喫煙本数が多かった。また受動喫煙に関しては，週に3日以上が17.7%でみとめられ，特に喫煙率の低い女子大学院生で受動喫煙率が高かった。さらに飲酒については，大学院生の方が学部生よりも飲酒習慣がみとめられた。

健康診断の受診率は学年が上がるごとに減少し，学部および男子大学院の約半数の学生が，忘れていたや，他の予定を優先したと回答し，健康管理面への意識はあまり高くないことがうかがわれる。

心身の健康については，7割以上の学生が良好と答えていたが，疲れやすい，集中力の低下，無力感などの自覚症状を訴える学生も少なくなかった。また，大学院生では，下痢や便秘などの胃腸症状も報告された。ほとんどの学部および大学院生がなんらかの悩みをもっており，その内容は，現在の勉学・研究に関することや，将来における進路や就職のことであった。対処法は，

自分で努力する割合がもっとも高かったが、相談する相手としては、身近な友人や家族が上位を占めた。

弘大生の健康は前回調査時とほぼ同様の傾向を示した。学生ひとりひとりの健康を守る心身両面にわたる健康支援が引き続き求められる。

(石川 玲・高橋恵子)

## ■ 第七章 弘大生の経済状況

学生および大学院生の勉強・研究を支える奨学金等の過不足状況を検討するためにも、家計支持者や学生自身の経済状況の客観的把握は不可欠である。このような観点から、本章では、経済状況に関する質問項目についてその概要を整理した。なお、経済項目については性別による差異よりも、学部（医学部医学科とその他の学部）、研究科（医学研究科とその他の研究科）、および居住形態による相違が大きいことから、本報告書ではこれらの側面を中心に結果を整理している。

### 【学部生についての結果】

#### 7.1 主たる家計支持者の経済状況

本学学生の主たる家計支持者の職業（表 7-1）は、民間企業が 46%，公務員・公的機関職員で 19%，教育・研究専門職で 15%である。

主たる家計支持者の年収（図 7-1）は、学部全体（計）で見ると、6割強の学生については 600 万円未満であり、その中でも 400 万円未満、あるいは 200 万円未満のウェイトが高く、経済的にはかなり厳しい状況におかれている学生が一定層確認できる。他方で 600 万円以上の所得層に入る学生は 3割強である。

学部別には、医学部医学科学生の家計支持者年収の高さが顕著であり、年収 1,000 万円を超える世帯だけでも 2割近くを占めている。これに対して、医学部保健学科については、約 2割の世帯が年収 200 万円未満という結果が得られている。

表 7-1 家計支持者の職業

家計支持者の職業	構成比(%)
民間企業	46.0
公務員・公的機関職員	19.2
教育・研究・専門職	15.4
農林漁業	3.3
自営業	9.3
パート・アルバイト	3.7
無職・失業中	2.1
その他	1.1
計	100.0 (1468)

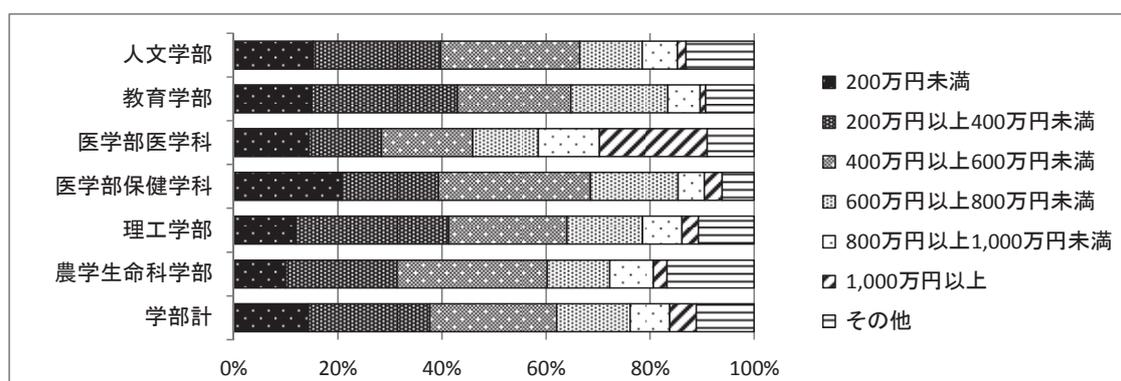


図 7-1 家計支持者の年収

#### 7.2 学生の生活費の状況

学生の生活費を収入・支出の細目を通して概観しよう。とくに生活費は、居住形態（実

家暮らし、一人暮らし)、奨学金受給(奨学金を受給している、または授業料免除を受けている)、アルバイトの有無により大きく異なるため、これらの要因でカテゴリー化して平均支出額を算出した<sup>1)</sup>。なお、医学部医学科については、実家暮らしのサンプルサイズが小さいためこれを除外し、さらに各収支項目の平均額の水準が大きく異なるため、別集計としている。

### (1) 授業料の支払いと奨学金の受給状況

授業料の出所(図7-2)は、主に親が支払っているケースが70%を占め、奨学金で賄っている学生が21%、授業料免除の学生は8%である。医学部医学科については、奨学金で賄っているケースが他と比べて高い水準(28%)にある。

奨学金の申請と受給状況(表7-2)をみれば、日本学生支援機構への申請率は学部平均で57%であり、とくに医学部保健学科で70%と高く、逆に医学部医学科でもっとも低く50%であった。日本学生支援機構の奨学金受給率についても同様の特徴が見られる。その他の奨学金への申請率は全体で10%程度であるが、医学部医学科は26%と高い値を示しており、同時に受給率についても医学部医学科が比較的高水準にある。

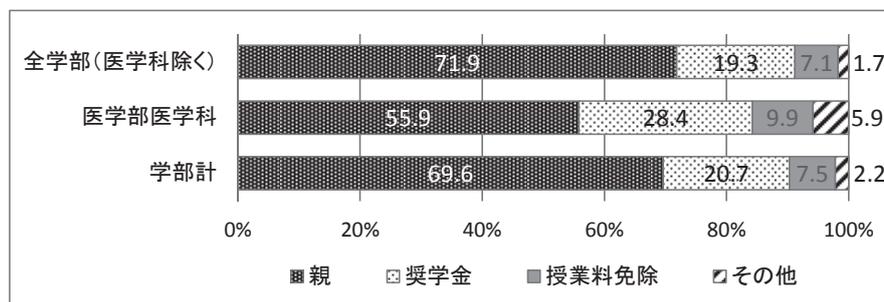


図7-2 授業料の出所

表7-2 奨学金・授業料免除の申請率および受給率(単位:%)

学部	日本学生支援機構		その他奨学金		授業料免除	
	申請率	受給率	申請率	受給率	申請率	受給率
全学部(医学科除く)	56.1	53.4	7.2	4.9	19.6	14.0
医学部医学科	49.5	43.2	25.7	27.5	14.0	15.8
医学部保健学科	70.2	62.9	9.0	6.7	16.9	10.7
学部計	56.7	52.9	10.1	8.5	18.6	14.0

<sup>1)</sup> 7.2 (2), (3), (4) の分析に用いたデータは、細目の合計と記入上の総計が大きく異なるなど、記入誤りが想定されるケースがあるため次のような処理を行っている。まず、支出・収入ともに細目の合計値と総計を用いて、マハラノビス距離を用いた異常値検知(有意水準5%)を行った。また支出細目の合計値と収入細目の合計値の差についても、同様の異常値検知により外れ値を特定した。その結果、全回答者数1,468名に対して支出・収入項目の分析に利用可能な学生数は987名となった。なお、全ての細目についてゼロを入力している学生、また合計で5,000円未満の学生については入力単位を誤ったケースが考えられるため、分析用データの987名には含まれていない。

## (2) 生活費：収入の動向

図7-3, 7-4, 7-5には, 医学部医学科以外の実家暮らしの学生またはアパート・下宿住まいの学生, および医学部医学科のアパート・下宿住まいの学生について, 奨学金の有無, アルバイトの有無別の収入分布を示している。

実家暮らしの学生(医学科以外)については(図7-3), 奨学金はなくアルバイトもしていない場合には, 5万円未満で生活している学生は約8割を占めるが, 奨学金やアルバイトの有無に応じて低収入層の学生は減少している。

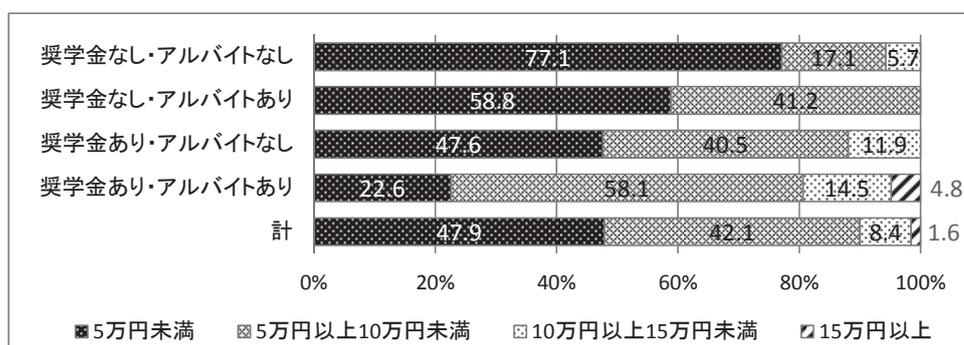


図7-3 全学部(医学科以外), 実家暮らし学生の平均収入

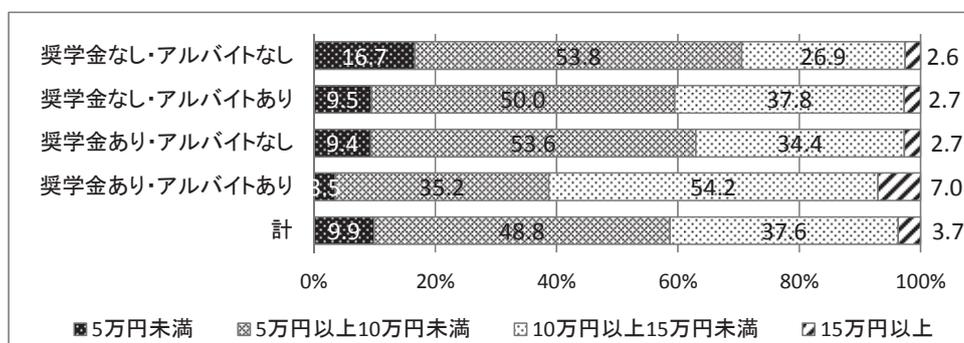


図7-4 全学部(医学科以外), アパート・下宿住まい学生の平均収入

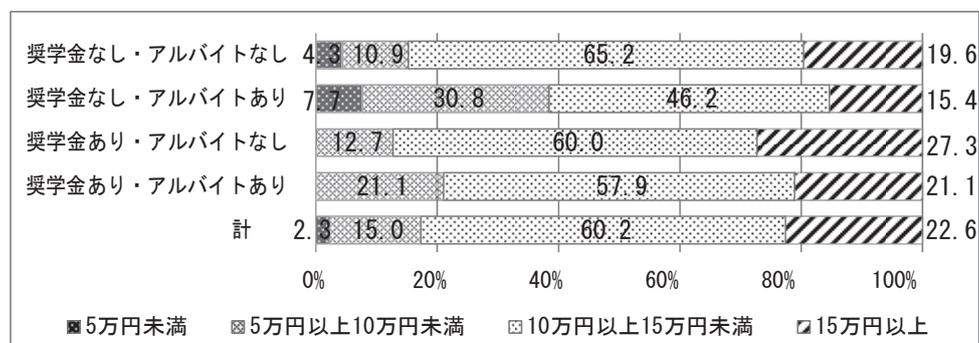


図7-5 医学部医学科, アパート・下宿住まい学生の平均収入

アパート・下宿住まいの場合（医学科以外，図7-4），奨学金やアルバイトの有無によりある程度の差はみられるが，8割以上が少なくとも5万円以上の収入がある。他方で，どの層にも月収5万円未満の学生がおり，住居費の支払いが不可欠なアパート・下宿住まいにおけるこれらの低収入層の学生については，生活の困窮が懸念される。

医学部医学科（アパート・下宿住まい，図7-5）の収入水準は他学部よりも高く，多くが5万円以上の収入を得ているが，奨学金を受給していない学生の中には，5万円未満の収入で生活を賅っているケースもみられる。

### (3) 生活費：支出の動向

実家暮らしの場合（医学科以外），全体計で食費に約8千円，娯楽費，貯金にそれぞれ約1万円強を支出している（表7-3）。とくにアルバイトをしている場合には，娯楽費と貯金が1万円を越えており，サークル活動や余暇を楽しむためにアルバイトによる収入の一部が充てられているものと考えられる。

表7-3 全学部（医学科以外），  
実家暮らし学生の平均支出  
（単位：千円）

奨学金 アルバイト	無し		有り		計
	無し	有り	無し	有り	
度数(人)	35	51	42	62	190
食費	8.8	6.6	6.9	8.1	7.6
住居費	3.3	0.7	2.2	1.5	1.9
光熱水費	1.2	1.2	1.5	0.7	1.1
娯楽費	7.6	12.9	9.8	12.9	10.8
勉学費	0.9	1.7	4.0	2.3	2.2
交通・通信	5.7	6.2	8.0	7.0	6.7
貯金	5.2	12.7	9.0	18.2	11.3
その他	0.8	1.4	3.2	2.7	2.0

表7-4 全学部（医学科以外），アパート・  
下宿住まい学生の平均支出  
（単位：千円）

奨学金 アルバイト	無し		有り		計	月5万円 未満
	無し	有り	無し	有り		
度数(人)	156	74	224	142	596	59
食費	16.6	16.2	16.7	19.4	17.2	13.6
住居費	33.2	34.4	34.9	34.5	34.3	23.1
光熱水費	7.7	8.2	8.3	7.9	8.0	5.6
娯楽費	7.3	9.5	7.1	9.4	8.3	6.0
勉学費	1.4	1.3	1.9	2.9	1.8	0.9
交通・通信	2.8	3.8	3.3	4.2	3.5	1.6
貯金	7.9	7.6	5.5	7.7	7.2	7.3
その他	1.4	2.0	1.3	2.2	1.7	2.3

表7-4によれば，アパート・下宿住まいの場合（医学科以外），当然のことながら，実家暮らしと比べて食費，住居費，光熱費がその多くを占めているが，奨学金の受給やアルバイトの有無による違いを見ると，細目の支出額にはそれほど大きな差はない。ただし，月収5万円未満の層に限定した場合，食費，住居費，娯楽費，勉学費が低く抑えられており，住居費は極めて低い水準にある。

表7-5 医学部医学科，アパート・  
下宿住まい学生の平均支出  
（単位：千円）

奨学金 アルバイト	無し		有り		計	月5万円 未満
	無し	有り	無し	有り		
度数(人)	46	13	55	19	133	6
食費	27.8	23.5	26.8	21.1	24.8	13.0
住居費	46.8	41.5	42.0	46.4	44.2	23.3
光熱水費	10.1	6.2	9.6	9.3	8.8	3.0
娯楽費	10.6	17.8	10.2	13.2	13.0	5.7
勉学費	6.5	4.1	8.1	7.4	6.5	0.7
交通・通信	6.4	4.5	7.4	7.7	6.5	7.0
貯金	4.2	1.9	8.7	7.6	5.6	0.8
その他	2.2	2.3	5.3	1.8	2.9	0.0

医学部医学科（アパート・下宿住まい）

について整理した表7-5によれば、他学部と比較して収入が高かったことから、支出についても高い水準にあることが分かる。なかでも、食費、住居費、娯楽費、勉学費は、それぞれ他学部よりも支出が多い。ただし、医学部医学科にも月収5万円以下の学生がおり、やはり食費、住居費、娯楽費、勉学費等、全ての項目で極めて低い水準にあり、学生生活への影響が心配される。

#### (4) 生活費：貯蓄と負債の動向

貯蓄している学生の比率は（表7-6）、全体で63%であるが、人文学部と教育学部で高く、医学部医学科と医学部保健学科で低い比率を示している。これに対して、負債のある学生は全体の30%であり、貸与奨学金による負債額（中央値）は約280万円となっている。医学部医学科については、奨学金による負債額（中央値）は他学部のおよそ2倍の500万円であり、医学部学生の経済的負担の大きさが顕著に表れている。

表7-6 貯蓄と負債（比率の単位：%，平均値と中央値の単位：万円）

統計量	人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	全学部計
貯蓄	貯蓄有りの比率	67.6	69.4	55.9	56.7	60.9	62.9
	平均値	27.6	21.3	59.6	25.3	28.3	32.4
	中央値	13.0	15.0	30.0	15.0	15.0	16.7
負債	負債有り比率 [奨学金貸与]	32.4	29.0	32.4	32.0	26.2	30
	平均値	238.4	245.4	539.2	215.6	258.7	292.3
	中央値	240.0	240.0	500.0	216.0	240.0	279.3
[その他の負債]	平均値	44.4	23.0	3.5	9.0	39.0	21.4

### 7.3 アルバイトの動向

アルバイトをしている学生の比率は（表7-7）、全体で37%であるが、とくに人文学部で43%、教育学部で48%と高い値を示している。アルバイトの頻度については、多く（約2割前後）が週1～3日であるが、人文学部と教育学部については週4～6日アルバイトしている学生も1割程度みられる。1日あたりのアルバイト時間は、全学平均で5時間程度であるが、理工学部は平均して1日約7時間と比較的長時間に及んでいる。

表7-7 アルバイトの有無，頻度，時間

学部	アルバイトの 比率(%)	アルバイトの頻度（分母は学部学生数，単位：%）				アルバイトの時 間(時間/日)
		週1～3日	週4～6日	毎日	不定期	
人文学部	42.8	23.4	10.9	0.0	8.4	5.0
教育学部	48.2	31.6	9.8	0.0	6.7	4.5
医学部医学科	24.3	17.6	1.4	0.5	5.0	3.0
医学部保健学科	39.3	30.3	3.4	1.1	4.5	4.4
理工学部	30.6	18.3	6.0	0.6	5.7	7.1
農学生命科学部	34.6	19.9	7.9	0.0	6.8	4.6
学部計	36.6	22.9	6.9	0.3	6.4	4.9

表 7-8 アルバイトの目的

学部	家庭の負担軽減のため	遊びやつきあいのため	自由に使えるお金を得るため	社会経験のため	将来の仕事を体験するため	経済的な自立を目指して	貯金のため	みんながしているから
人文学部	44.6	47.8	74.5	61.8	12.7	36.9	49.0	4.5
教育学部	47.3	54.8	67.7	62.4	18.3	47.3	48.4	5.4
医学部医学科	48.1	48.1	46.3	29.6	3.7	24.1	24.1	1.9
医学部保健学科	47.1	60.0	78.6	42.9	5.7	35.7	40.0	8.6
理工学部	38.1	51.5	69.1	48.5	14.4	30.9	48.5	3.1
農学生命科学部	39.4	48.5	65.2	57.6	12.1	33.3	50.0	3.0
学部計	43.9	51.4	68.9	53.3	12.1	35.8	45.3	4.5

アルバイトの目的は（表 7-8）、全学としては「自由に使えるお金が欲しい」「遊びやつきあいに金が必要」としている学生がかなりの数（それぞれ 7 割，5 割）に上るが、同時に「家庭の負担軽減」や「貯蓄をしたい」とする学生も 45%前後を占めている。人文学部，教育学部，農学生命科学部においては「社会経験のため」と回答する比率も高い。

#### 7.4 学生の居住形態

学生の居住形態としては（図 7-6）、全学部について約 70%がアパート・下宿に住んでおり、実家住まいは 24%，学生寮は 6%程度であった。学部による違いとしては、医学部医学科と農学生命科学部で実家住まいの比率が低く（10%台）、その代わりに医学部医学科ではアパート・下宿の比率が高く、農学生命科学部では学生寮の比率が他学部と比較して高い値を示している。なお、学部共通で、アパート・下宿住まいの学生のうち 95%が一人暮らしである。

アパート・下宿の部屋の広さについては（図 7-7）、12 畳未満（バス・トイレ付）に住んでいる学生が 82%で多数を占めるが、人文学部，教育学部，医学部保健学科，および理工学部においては 1 割を超える学生が 12 畳未満でバス・トイレなしの物件で生活をしている。

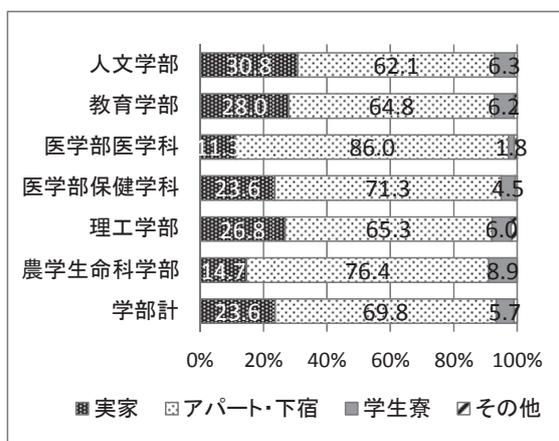


図 7-6 居住形態

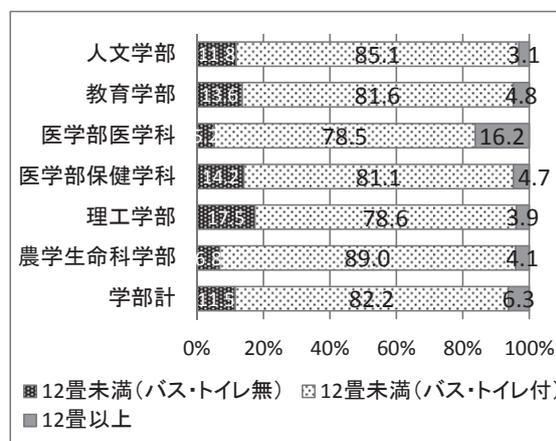


図 7-7 住居の広さ

## 7. 5 学生の所有物

学生の部屋（自宅）にあり、学生自身が使用している物（複数回答可）について、表7-9に整理している。勉学上の必需品であるパソコンは約92%と高い所有率を示しているが、プリンターの所有率は約77%であり、大学内のプリンター等の環境整備についての検討が不可欠である。

テレビの所有率は77%と前回調査から7%ほど増加しており、録画・再生機器の所有率は、ビデオからブルーレイ・HDDレコーダーに移行しつつある。また、前回調査において携帯・PHSの所有率は99%であったが、本年度

調査では21%へと減少し、その代わりスマートフォン所有率が82%となっており、学生の通信・通話機器はスマートフォンへと切り替わりつつある。さらに、オーディオ機器の所有率およびゲーム機は、前回調査の結果と比較してかなり減少しており、その背景にはスマートフォン、パソコン、またはタブレットが代用されている可能性が考えられる。

表7-9 学生の所有物（複数回答可，単位：%）

所有物	2010年度	2014年度	全学部(医 学科除く)	医学部医 学科
	学部計	学部計		
テレビ	70.9	77.2	78.1	73.9
ビデオ	23.2	9.1	8.4	10.8
ブルーレイ等	-	32.2	31.6	33.8
オーディオ機器	59.4	35.7	35.1	35.1
ゲーム機	51	43.3	44.3	28.8
冷蔵庫	62.9	79.1	79.0	84.2
洗濯機	55.3	72.8	72.0	82.0
エアコン等	38.6	61.0	59.0	75.7
固定電話	5.2	11.2	11.2	9.0
携帯・PHS	99	20.8	19.8	23.0
スマートフォン	-	82.4	83.8	79.7
パソコン	94.4	92.4	92.7	90.1
タブレット	-	10.6	6.8	32.0
プリンター等	-	76.6	77.3	77.9
自転車	90.9	83.9	85.5	78.8
バイク・原付	3.4	2.0	1.9	1.8
自動車	11.7	15.1	11.3	36.9

## 7. 6 まとめ

弘大生の生計費については、アパート・下宿で生活している学生が全体の8割を占めており、授業料や生活費を捻出するために、奨学金の受給の有無や金額の多寡に応じて、不足分はお小遣い・仕送り、アルバイトで賄うという収入パターンが形成されているように思われる。また、アパート・下宿暮らしでも一月5万円未満の収入で生活している学生が1割弱おり、その支出は食事、住居費、娯楽費、勉学費等、すべての項目で低く抑えられていることから、学生生活や勉学への影響が懸念される。

本学ではアパート・下宿の一人暮らし学生が多いことに加え、主たる家計支持者の経済状況は必ずしも余裕がある世帯ばかりではなく、また奨学金も貸与であるため学生には将来の重しと映る現状において、専らアルバイトで賄おうとする学生の姿もアンケートには見え隠れしている。勉学との両立がうまくいくとは限らず、経済面での学生の動向に今後も留意しつつ、きめ細かな相談、サポート体制についても配慮すべきであろう。

## 【大学院生についての結果】

### 7.7 主たる家計支持者の経済状況

大学院生の主たる家計支持者の職業（表7-10）は、民間企業が26%、公務員・公的機関職員が14%、教育・研究・専門職が39%である。

主たる家計支持者の年収（図7-8）は、医学研究科を除く全研究科では、4割強が400万円未満の世帯であり、中でも200万円未満の経済的に厳しい状況におかれている世帯が2割弱もあることが確認できる。医学研究科は、年収1,000万円以上の世帯が3割近くを占めているが、年収400万円未満の世帯も2割弱あり、研究科内での世帯収入の格差が目立つ。

表7-10 家計支持者の職業

家計支持者の職業	構成比(%)
民間企業	25.9
公務員・公的機関職員	13.8
教育・研究・専門職	38.6
農林漁業	3.7
自営業	9.5
パート・アルバイト	3.7
無職・失業中	3.2
その他	1.6
計	100.00 (189)

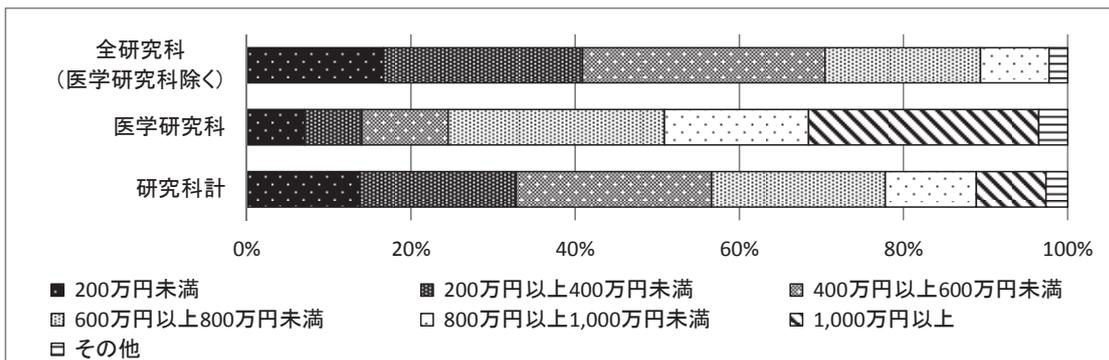


図7-8 家計支持者の年収

### 7.8 学生の生活費の状況

大学院生に関しても、居住形態（実家暮らし、アパート・下宿住まい）、仕事（アルバイト含む）の有無により、収入・支出が大きく異なることが予想されるため、これらカテゴリーに分けて結果を算出した。なお、医学研究科については、実家暮らしのサンプルサイズが小さいためこれを除外している<sup>2)</sup>。

#### (1) 授業料の支払いと奨学金の受給状況

授業料（図7-9）は、医学研究科以外において、主に親が支払っているケースが5割、奨学金や授業料免除で賄っているケースはそれぞれ2割弱あり、1割強については大学院

<sup>2)</sup> 7.8 (2), (3), (4) については、7.2 (2), (3), (4) の分析に用いた方法と同様の処理方法<sup>(1)</sup>を参照)を施したところ、全回答者数189名に対して支出・収入項目の分析に利用可能な学生数は122名であった。

生本人が支払っている。医学研究科については、現職に就いている大学院生が多いことから9割近くは本人が支払っている。

奨学金の受給状況（表7-11）をみれば、医学研究科以外では、日本学生支援機構からの奨学金受給率は52%であり、大学院生の2人に1人は奨学金により生活費を賄っている。ただし、医学研究科については社会人が多いことから、奨学金等の受給率は他研究科と比べて極めて低い。

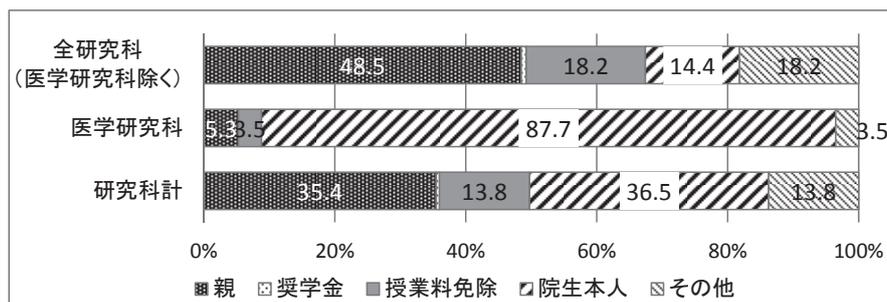


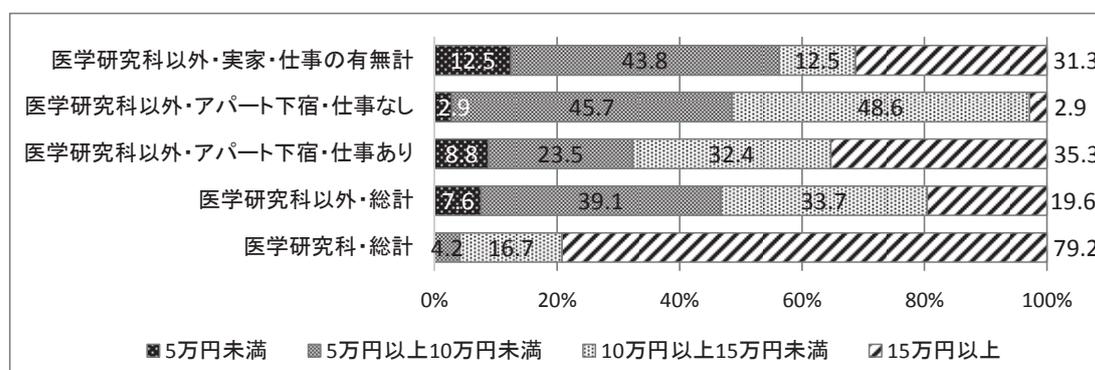
図7-9 授業料の出所

表7-11 奨学金・授業料免除の申請率および受給率（単位：%）

研究科	日本学生支援機構		その他奨学金		授業料免除	
	申請率	受給率	申請率	受給率	申請率	受給率
全研究科 (医学研究科除く)	68.2	52.3	16.7	7.6	47.0	34.1
医学研究科	33.3	3.5	21.1	3.5	8.8	8.8
研究科計	57.7	37.6	18.0	6.3	35.4	26.5

## (2) 生活費：収入の動向

図7-10には、大学院生の収入総額の分布を、研究科・居住形態・仕事の有無別に示している。実家暮らしの場合（医学研究科以外），5～10万円の収入がある学生は4割を占め、社会人も含まれていることから月15万円以上の収入がある大学院生も3割程度を占めている。



(注) サンプルサイズの小さいグループについては、結果を掲載していない。

図7-10 大学院生の収入総額

アパート・下宿住まいで仕事（アルバイト含む）をしている場合、10万円以下で生活している学生は全体の3割程度であるが、仕事をしていない場合には5割を占める。医学研究科については、社会人が多いことから8割近くが月15万円以上の収入を得ている。ここで、注視しておくべきは、医学研究科以外で5万円未満の収入で生活を賄っている学生が1割弱いることであり、このような学生については、生活が困窮していないか懸念される。

### (3) 生活費：支出の動向

表7-12には、収入総額に用いた基準と同じカテゴリで、費目別平均支出を示している。まず、実家暮らしの学生の支出（医学研究科以外）は、交通・通信費および貯金への支出が比較的多い。アパート・下宿住まいの学生（医学部医学科以外）では、仕事による収入がある学生に比べて、仕事による収入がない学生は、全ての費目において支出は低く抑えられている。とくに仕事による収入がない学生の一月あたり貯金額（6千円）は、仕事による収入がある学生の3分の1程度に抑えられている。医学研究科については、社会人が多いためか、すべての支出で高い水準にある。

なお、生活の困窮が懸念される月収5万円未満の学生（医学研究科以外）については、食事や娯楽費は総計による結果と大差ないが、勉学費と貯蓄は極めて低い水準にあり、とくに貯蓄は学会発表時の旅費や就職活動等のために不可欠と考えられることから、勉学・研究活動への支障が懸念される。

表7-12 大学院生の平均支出（単位：千円）

研究科	医学研究科以外				医学研究科	
	実家計	アパート・下宿		総計	(参考)月収5万円未満	総計
仕事		無し	有り			
度数(人)	11	35	34	92	7	24
食費	16.5	21.0	25.3	22.1	21.4	41.6
住居費	0.0	36.9	39.7	30.9	14.4	42.8
光熱水費	1.7	8.4	11.0	8.3	3.6	10.2
娯楽費	7.6	10.5	11.1	10.7	7.7	19.5
勉学費	6.5	2.7	8.1	5.6	1.6	12.2
交通・通信費	13.8	4.5	9.8	9.2	9.1	18.7
貯金	15.5	5.8	19.1	13.0	0.7	36.4
その他	2.0	1.0	6.5	5.6	6.7	8.5

(注) サンプルサイズの小さいグループは、結果を掲載していないため、各区分の度数の合計は総計の度数と一致していない。

### (4) 生活費：貯蓄と負債の動向

医学研究科以外の大学院生の貯蓄の動向（表7-13）については、65%の院生が貯蓄しており、貯蓄額（中央値）は16万円ほどである。これに対して、負債のある学生は17%ほどおり、貸与奨学金による負債額（中央値）は約200万円である。医学研究科の大学院生は、

現職で働いている学生も多いことから、80%が貯蓄しており貯蓄額（中央値）も 500 万円に達している。しかしながら、19%の大学院生が負債を抱えており、貸与奨学金の負債額（中央値）は 430 万円と高い水準にある。

表7-13 貯蓄と負債（比率の単位: %，平均値と中央値の単位: 万円）

統計量		全研究科(医学 研究科除く)	医学研究科	研究科計
貯蓄	貯蓄有りの比率	65.2	80.7	69.8
	平均値	49	626	233
	中央値	16	500	30
負債有りの比率		16.7	19.3	17.5
[奨学金貸与]				
負債	平均値	245	430	271
	中央値	200	430	250
	[その他の負債]			
平均値		254	1,003	475

## 7. 9 仕事の動向

仕事の有無，頻度，時間（表7-14）について概観しよう。医学研究科以外の学生で，仕事（アルバイトを含む）をしている学生は 53%に達している。その頻度は，半数近くが週1～3日，3分の1近くが週4～6日ほど仕事をしており，一日の平均仕事時間は6時間程度となっている。医学研究科では 90%近くが仕事をしており，多くが週4～6日または毎日働き，一日あたり9時間半近く仕事をしている。

表7-14 仕事の有無，頻度，時間

学 部	仕事の比率 (%)	仕事の頻度（分母は学生数，単位:%）				仕事の時間 (時間/日)
		週1～3日	週4～6日	毎日	不定期	
全研究科 (医学研究科除く)	53.0	24.2	15.2	6.8	6.8	5.9
医学研究科	89.5	5.3	28.1	56.1	10.5	9.4
研究科計	64.0	18.5	19.0	21.7	4.8	7.2

表7-15 仕事の目的

学 部	家庭の 負担軽 減のため	遊びやつ きあいの ため	自由に使 えるお金 を得るため	社会経験 のため	経済的な 自立を目 指して	貯金のた め	研究費・ 学会費等 のため	その他
全研究科 (医学研究科除く)	27.3	14.4	18.2	12.9	10.6	13.6	8.3	6.1
医学研究科	49.1	7.0	14.0	0.0	14.0	17.5	12.3	17.5
研究科計	33.9	12.2	16.9	9.0	11.6	14.8	9.5	9.5

仕事（アルバイト含む）の目的（表7-15）としては，研究科計では「家庭の負担軽減のため」とする学生が多く，また「自由に使えるお金を得るため」としている学生も 17%ほどを占めている。医学研究科以外では「社会経験のため」に仕事をしている比率が 10%を

超えている。また医学研究科では「その他」の比率が 18%に達しており、その多くが社会人として現職で働いている。なお、研究科計において、約 1 割の大学院生が「研究費・学会費等のため」に仕事をしており、このような研究費等の過不足状況を踏まえて、研究サポート体制の強化が必要と思われる。

## 7. 10 学生の居住形態

学生の居住形態(図 7-11)は、医学研究科以外では 20%の学生が実家住まいであり、70%がアパート・下宿、学生寮は 5%程度であった。住んでいる部屋としては(図 7-12)、学生の多くがバス・トイレ付に住んでいるが、4%の学生がバス・トイレ無しの部屋で生活をしている。医学研究科の学生は、他研究科よりも「その他」の比率が高く、その多くが「貸家」と回答している。さらに部屋の広さも、12 畳以上に住んでいる学生が 70%以上を占めている。

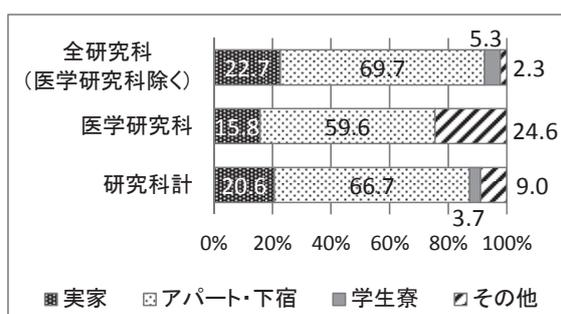


図 7-11 居住形態

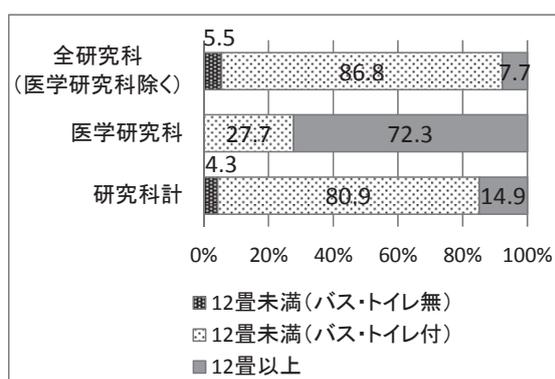


図 7-12 住居の広さ

## 7. 11 大学院生の所有物

大学院生の所有物について、まず勉強上の必需品であるパソコンは、研究科計で約 82%と前回調査よりも低い値を示している。これは、タブレットの所有率が 20%あることから、パソコンは大学に設置しているものを使用し、個人用としては携帯に便利なタブレットの使用が広まりつつあるものと考えられ、特に医学研究科でその傾向が顕著に表れている。ただし、プリンター等の所有率は 52%であることから、やはり大学内のプリンター等の環境整備は不可欠である。

テレビの所有率は 75%と前回調査から減少しており、録画・再生機器の所有率は、ビデオからブルーレイ・HDDレコーダーに移行しつつある。また、前回調査において携帯・PHSの所有率は98%であったが、本年度調査では27%へと減少し、その代わりにスマートフォン所有率が72%となっており、学部生と同様に大学院生の通信・通話機器についてもスマートフォンへと切り替わりつつある。

## 7. 12 まとめ

本学大学院生の経済状況については、まず、半数近くの大学院生が奨学金または仕事（アルバイト）により授業料を賄っており、貸与奨学金の負債を負いながら、または仕事と勉学の両立を図りながらも、将来への投資と捉えて大学院での勉学・研究に専念している様子が垣間見られる。また、仕事をしている学生も半数に上り、その1割は研究活動のために仕事をしていることから、研究費の過不足状況については今後も留意する必要がある。

さらに、アパート・下宿住まいの場合には、奨学金の受給状況や仕事の有無により収入の水準は異なるが、1割弱の学生が極めて少ない収入で生活しており、その支出内訳は勉学費や貯蓄が低く抑えられていることから、研究活動に影響がないか懸念される。このような実態を踏まえて、大学院生の経済的負担を軽減し、勉強・研究に専念するためのサポート体制の充実が望まれる。

(栗原由紀子・工藤弘文)

表7-16 大学院生の所有物（複数回答可，単位:%）

所持品	2010年度	2014年度	全研究科 (医学研究 科除く)	医学 研究科
	研究科計	研究科計		
テレビ	82	74.6	74.2	75.4
ビデオ	47.2	6.9	5.3	10.5
ブルーレイ等	-	34.9	29.5	47.4
オーディオ機器	63.4	75.7	77.3	71.9
ゲーム機	53.4	40.7	46.2	28.1
冷蔵庫	77	82.5	84.8	77.2
洗濯機	72	75.7	77.3	71.9
エアコン等	43.5	65.1	62.1	71.9
固定電話	20.5	13.2	10.6	19.3
携帯・PHS	98.1	27.0	28.0	24.6
スマートフォン	-	72.0	72.7	70.2
パソコン	95	81.5	84.1	75.4
タブレット	-	20.1	15.2	31.6
プリンター等	-	51.9	51.5	52.6
自転車	73.3	63.5	71.2	45.6
バイク・原付	7.5	6.9	6.8	7.0
自動車	44.1	39.7	28.0	66.7

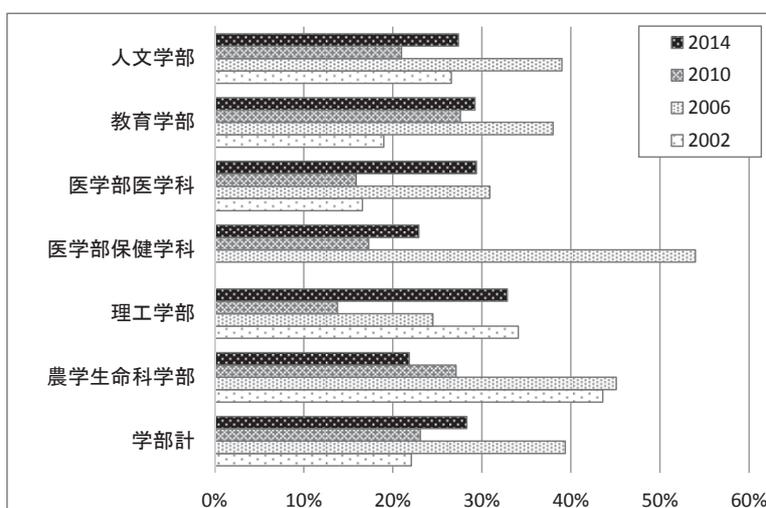
## 付録 1 経年変化に関する結果

## 付録1 経年変化に関する結果

本学学生の生活や意識の変化を捉えるために、2002年から2014年までに実施された4期分の調査結果を用いて、12年間にわたる経年変化に関する結果を整理した。なお、1994年および1998年調査については、質問項目や選択肢が異なり、また附属表の集計形式も異なることから、これらの調査年度の結果は除外している。

### 【学部生】 (1) 学部科別回収率の推移

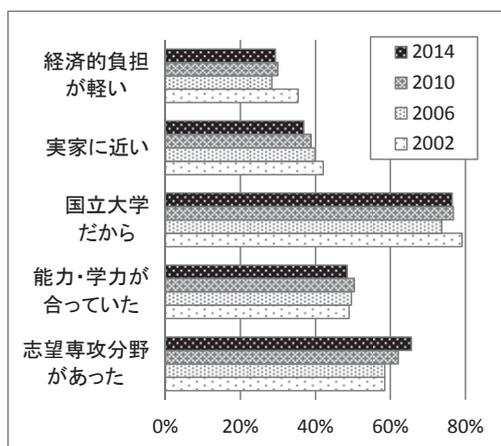
2006年度調査の回収率は約4割ほどであったが、2010年から3割を下回り、本年（2014年度）は、Webベースの調査に切り替えたためか、若干の回復傾向が見られる。



(注) 2002年調査結果の医学部保健学科と医学部医学科は、プールして医学部医学科の結果として表章されている。

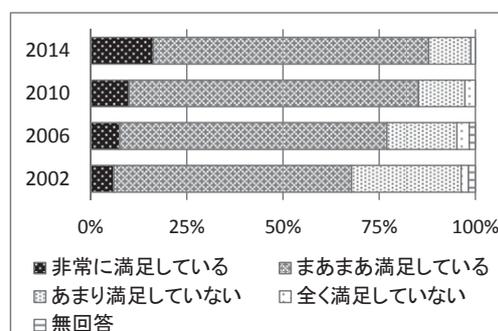
### (2) 弘前大学への志望理由（複数回答可）

志望する専攻分野があったことを志望理由とする回答比率が上昇している。



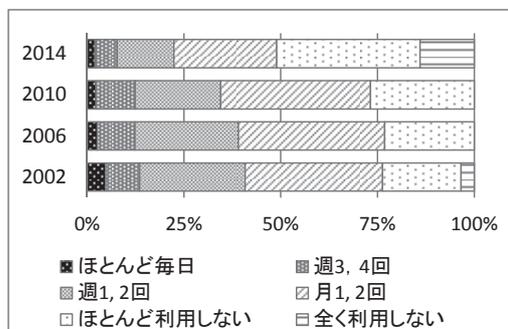
### (3) 授業の満足度

学生の授業満足度（非常に満足、まあまあ満足）は、年々上昇してきており、2014年度には、合わせて約85%に達している。



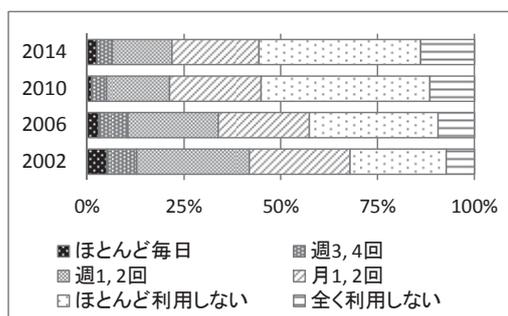
#### (4) 図書館の利用頻度

図書館の利用頻度は、2002年から減少傾向にある。なお、2014年度の利用頻度の低下は、図書館の改修工事のためと考えられる。



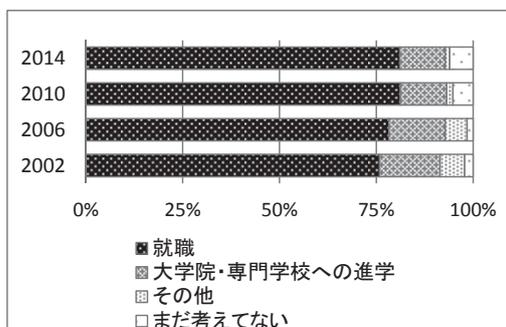
#### (6) パソコン室の利用頻度

パソコン室をほとんど利用しない、または全く利用しない比率が高まり、合わせて50%を超えている。



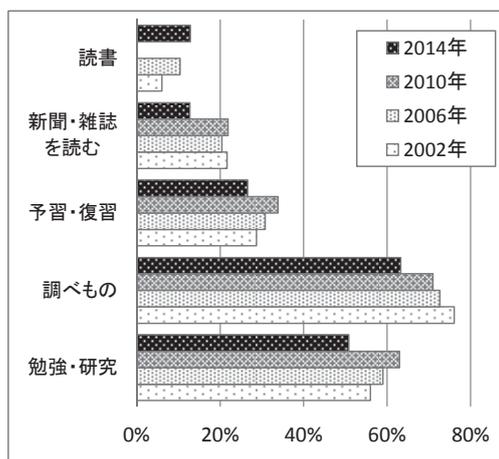
#### (8) 卒業後の希望進路

就職志望はわずかに増加傾向にあり、大学院や専門学校などへの進学を希望する比率が低下傾向にある。



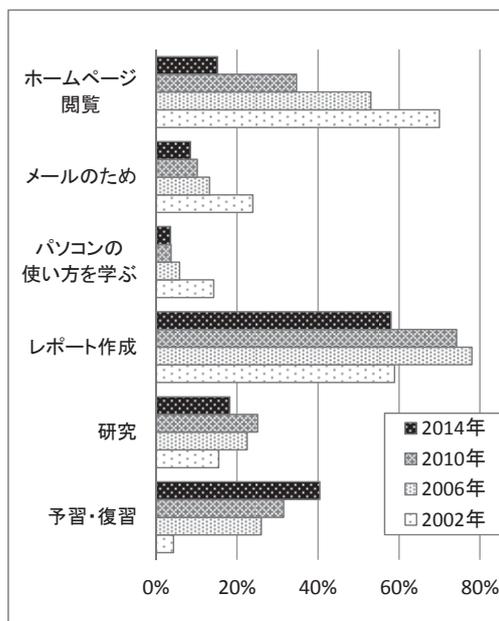
#### (5) 図書館の利用目的 (複数回答可)

図書館の改修工事があった2014年度を除くと、予習・復習および勉強・研究のための図書館利用比率が上昇し、調べもののために利用する比率は低下傾向にある。



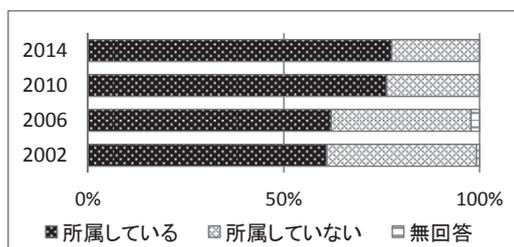
#### (7) パソコン室の利用目的 (複数回答可)

ホームページ閲覧やメール目的でのパソコン室の利用は減少し、予習・復習目的での利用が増加している。



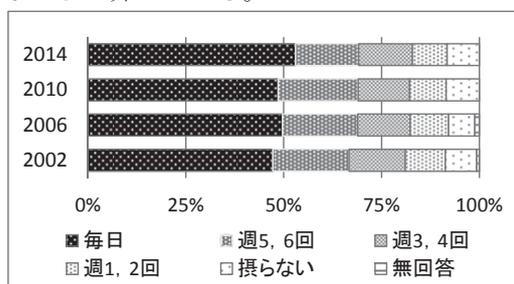
(9) クラブ・サークルへの所属

所属している比率は上昇傾向にある。



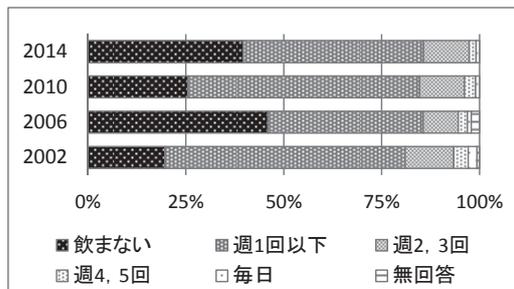
(11) 朝食を摂るか

朝食を毎日摂っている比率が、わずかながら上昇している。



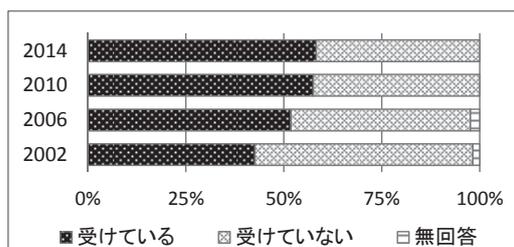
(12) 飲酒の頻度

飲まない、または週1回以下の比率は上昇傾向にある。



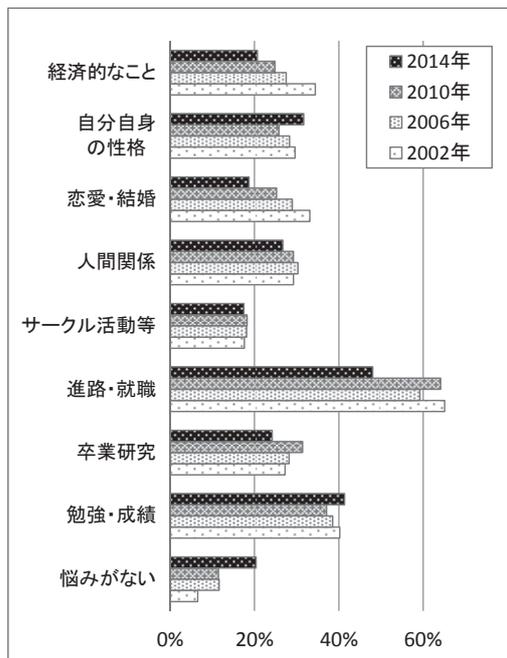
(14) 奨学金の受給状況

奨学金の受給比率は増加傾向にある。



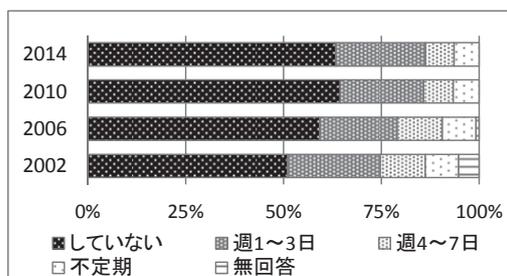
(10) 現在の悩み (複数回答可)

経済、恋愛、就職関係の悩みが減少し、「悩みがない」と回答する比率が上昇している。



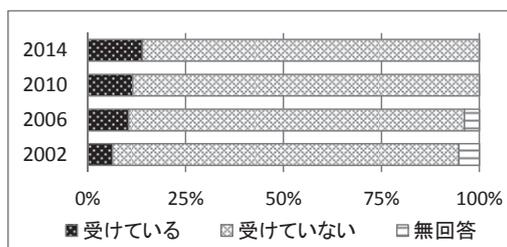
(13) アルバイトの頻度

アルバイトをしていない学生比率は上昇傾向にあり、逆に週4～7日の比率は低下しつつある。



(15) 授業料免除の受給状況

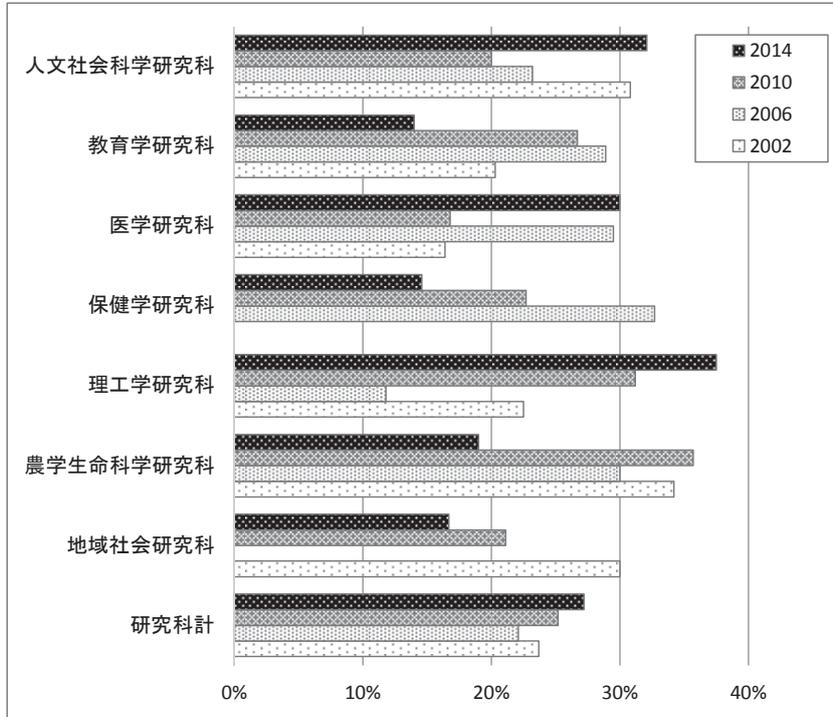
授業料免除者は増加傾向にある。



【大学院生】

(16) 研究科別回収率の推移

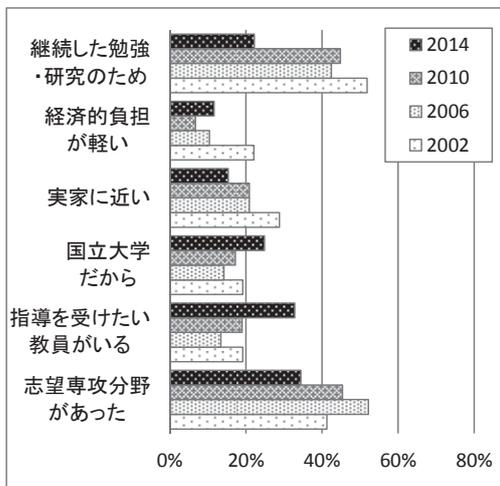
研究科計では2002年度調査の回収率は2割強であったが、全体としては、2014年にかけて微増で推移している。



(注) 保健学研究科は2005年に設置されたため、2002年度の調査結果はない。

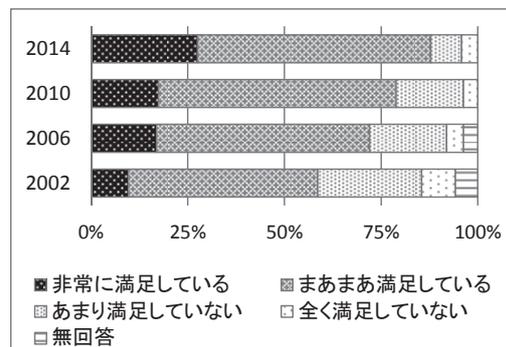
(17) 弘前大学への志望理由 (複数回答可)

指導を受けたい教員がいることを大学院の志望理由に挙げる学生の比率が上昇傾向にある。



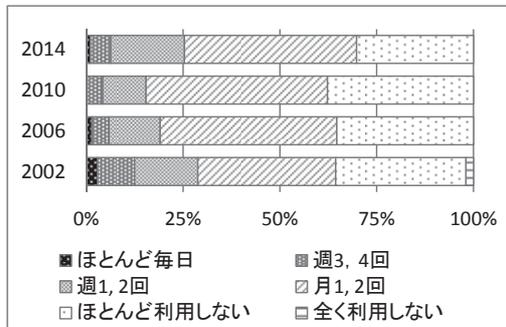
(18) 授業の満足度

満足していると回答する比率が上昇傾向にある。



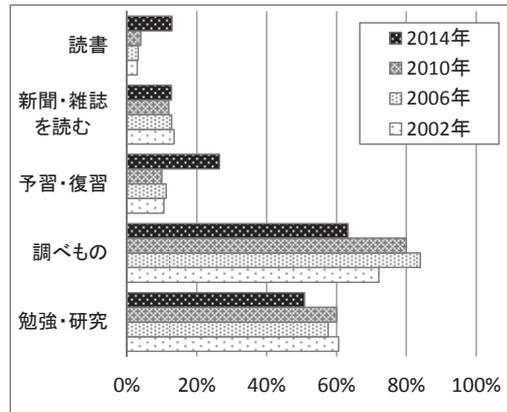
(19) 図書館の利用頻度

2010年までの傾向として利用頻度は低下気味である。なお、2014年度は図書館の改修工事があったにもかかわらず、利用頻度が高まっている。



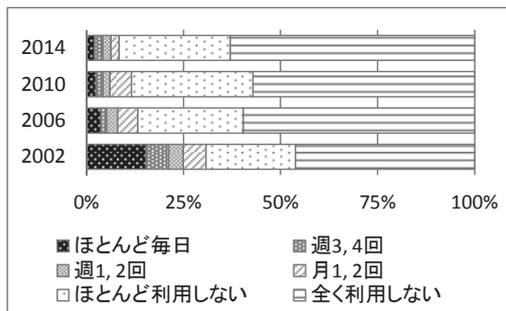
(20) 図書館の利用目的 (複数回答可)

2014年度には図書館の改修工事があったが、読書や予習復習を目的として図書館を利用する比率が高まっている。



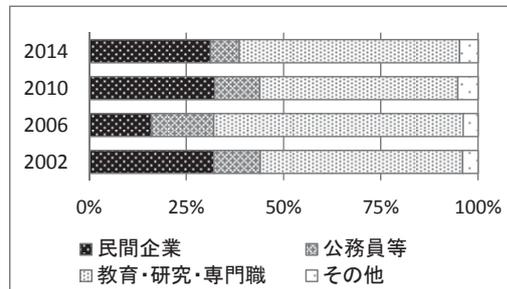
(21) パソコン室の利用頻度

ほとんど利用しない、および全く利用しない比率が増加傾向にある。



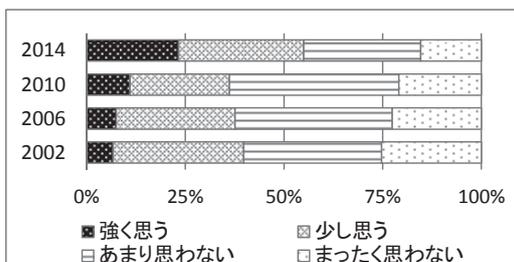
(22) 職業第一希望

2006年度に、教育・研究・専門職を第一希望とする学生が急増したが、2014年度は5割強という水準である。



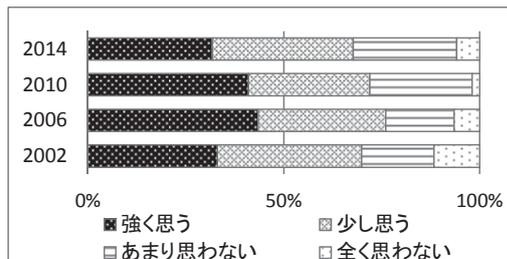
(23) 大都市で働いてみたいと思うか

強く思うと回答する比率が上昇、まったく思わないと回答する比率は低下傾向にある。



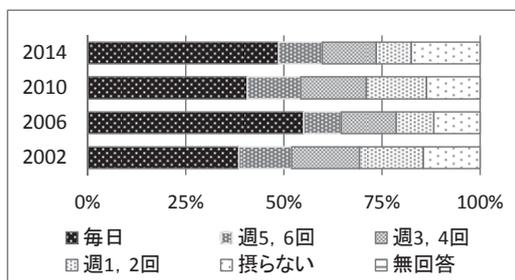
(24) いつかは出身地に戻りたいと思うか

強く思うと回答する比率が低下、あまり思わないと回答する比率が上昇傾向にある。



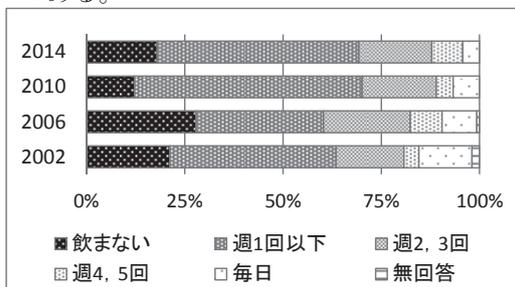
(25) 朝食を摂るか

朝食を摂らない比率は増加気味である。



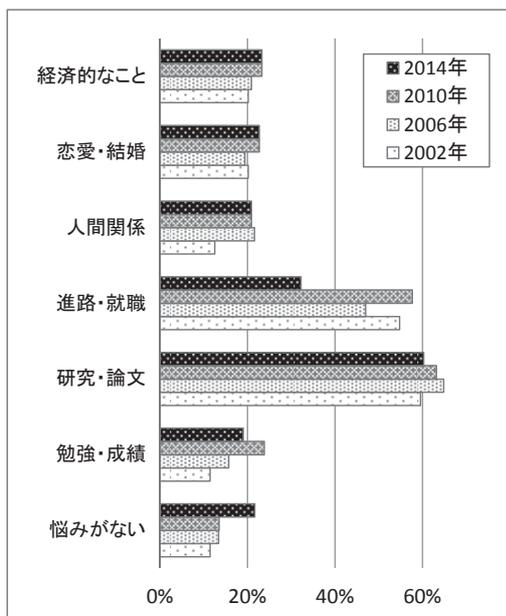
(26) 飲酒の頻度

毎日飲酒するという回答比率は低下しつつある。



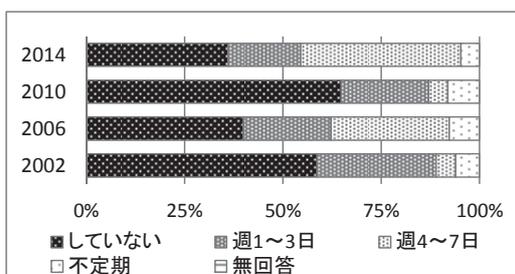
(27) 現在の悩み (複数回答可)

進路・就職についての悩みが2014年度に大きく減少している。経済的なこと、恋愛・結婚、人間関係についての悩みは、傾向的には不変、もしくは微増というところである。



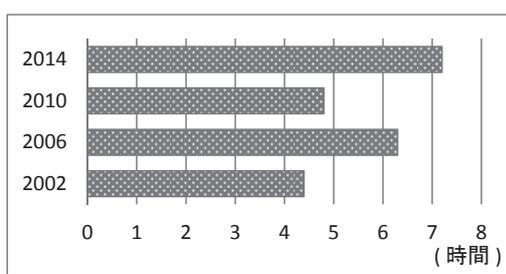
(28) 仕事 (アルバイト) の頻度

週4~7日の比率が2014年度に増加した。



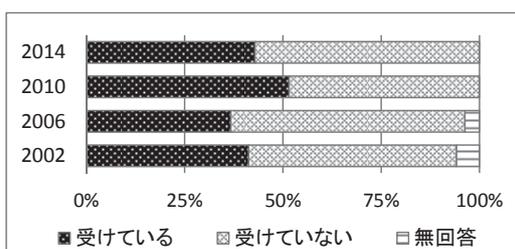
(29) 仕事 (アルバイト) の時間

仕事時間は2014年度に増加している。



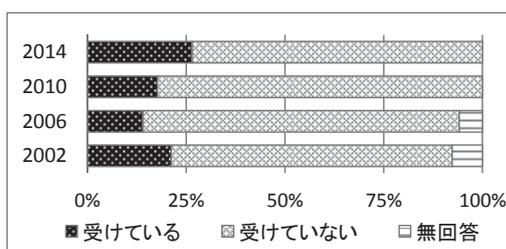
(30) 奨学金を受けているか

2014年度の奨学金の受給率は、前回調査時より減少している。



(31) 授業料免除を受けているか

授業料免除を受けている比率は、上昇傾向にある。



(栗原由紀子・工藤弘文)

## 付録2 Web ベース調査による回答状況

## 付録2 Webベース調査による回答状況

本調査から、調査票ベースの調査をWebベースの調査に切り替えたことから、回答時間や回答を完了せずに終了したケース（未完了者）の特徴について捕捉可能になった。これらの情報から調査設計上の問題点を整理しておきたい。

まず表Aより、回答率（完了者率）は学部計で27%であるが、それ以外に回答を途中でやめたままの未完了者の比率が11%であった。いわば潜在的な調査協力者の4人に1人が回答途中で脱落したことになる。逆に未完了者が全て完了できていれば、学部計で4割近くの回答率に達することになり、より多くの学生の声を集めることができる。なお、大学院計についても、同様の傾向が見られるが、サンプルサイズが小さいため研究科別の内訳は掲載していない。

表A 回答完了者と未完了者の傾向

学部	通知文 配付部数	完了者数 (人)	完了者率(%)	未完了者数 (人)	未完了率(%)
人文学部	1296	367	28.3	26	6.6
教育学部	883	193	21.9	21	9.8
医学部医学科	675	222	32.9	44	16.5
医学部保健学科	776	178	22.9	13	6.8
理工学部	1078	317	29.4	24	7.0
農学生命科学部	653	191	29.2	17	8.2
学部計	5361	1468	27.4	145	11.2
大学院計	695	189	27.2	29	11.2

(注) 学部が不明の未完了者は19名であり、学部の未完了合計人数は164名である。

学部生のうち、全問回答者の回答時間の分布から(図B)、回答者の多く(約45%)は、15分～20分ほどかけて回答しており、また20分～30分ほど時間を費やしている回答者も全体の30%を占めている。生活、学業、進路、健康など、本学学生の多様な側面を捉えるために設問数が77問と極めて多くなっており、当然、これにより回答時間が長くなっている。

図Cには、未完了者について設問番号別の未完了者の比率を整理している。まず、アクセスして1問も回答しないケースが未完了者の約10%を占めていることがわかる。次に、学業まで回答して未完了となっているケースが全体の約30%強、進路までが約50%、生活または健康までが約70%前後となっており、やはり設問数が増加する(回答が長時間になる)につれ未完了に至る比率が高くなる傾向が見て取れる。なかでも、進路、生活および経済に関する項目に移り変わる各設問で、急激に未完了率が増加している。十分な回答者数を確保し、サンプルバイアスの問題を回避するには、このような回答負担の特性に配慮しながら、最適な設問数を設定し、設問内容の取捨選択や改良の工夫が必要であろう。

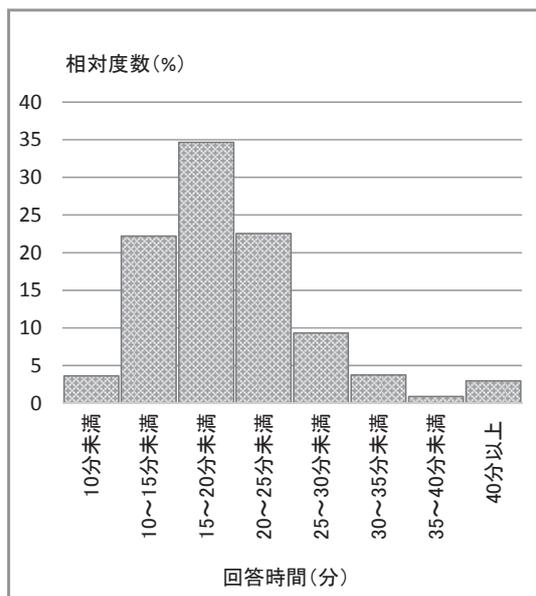


図 B-1 回答時間の分布 (学部計)

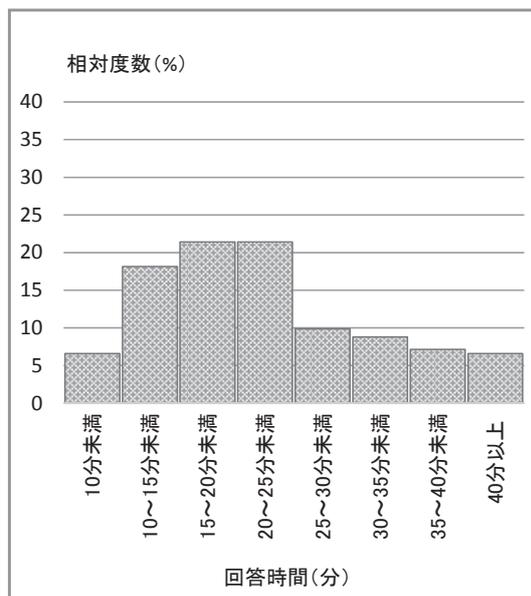
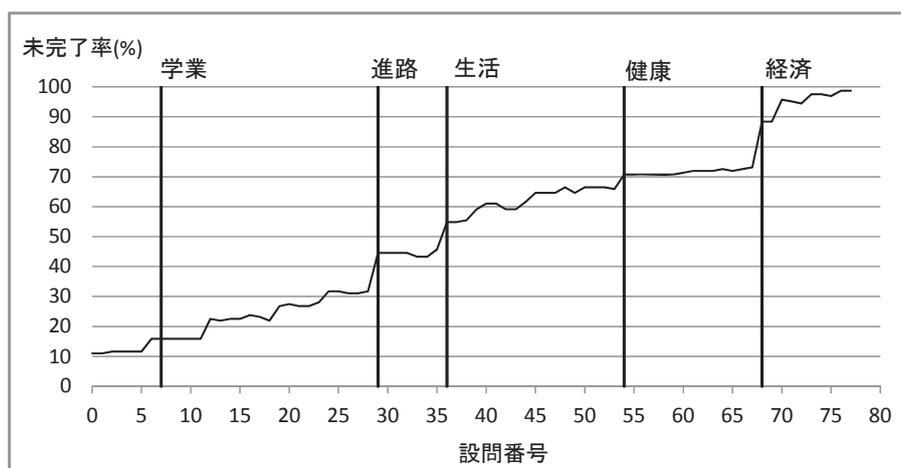


図 B-2 回答時間の分布 (大学院計)



(注) 平均回答時間は学業終了まで4.6分、進路終了まで6.5分、生活終了まで9.9分、健康終了まで24.7分であった。

図 C 設問番号に対する未完了率の推移 (学部計)

(栗原由紀子・工藤弘文)

## 付録3 調査票

## 弘前大学 第7回学生生活実態調査

平成26年10月（学部学生用）

1. このアンケートは、4年に一度、全学的に実施されるもので、大学の教育改善の基礎資料となります。お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひとも率直に答えていただくよう、お願いいたします。
2. この質問は、10分程度で回答が終わるもので、ふだんの生活や考えに最も近いと思われる選択肢の番号にチェックしていただくものがほとんどです。
3. 回答は統計的に処理され、全体の傾向をつかむために用いられます。  
あなたの答えが個人として分析されることは絶対にありません。お答えにより、なんらかの不利益が生じることもありません。
4. 10月15日（金）までにご回答くださるようお願いいたします。

# 第7回弘前大学学生生活実態調査

学生生活実態調査専門委員会

○はじめに、あなた自身の所属などについてお尋ねします。

問1 性別 1. 男 2. 女

問2 年齢 ( ) 歳

問3 所属学部科

1. 人文学部
2. 教育学部
3. 医学部医学科
4. 医学部保健学科
5. 理工学部
6. 農学生命科学部

問4 学年

1. 1年
2. 2年
3. 3年
4. 4年
5. (医・医)5年
6. (医・医)6年

問5 受験様式

1. 前期日程
2. 後期日程
3. 推薦(センター試験有)
4. 推薦(センター試験無)
5. AO
6. 社会人
7. 私費外国人留学生
8. 学士編入
9. 3年次編入

問6 実家の所在地

1. 北海道
2. 青森県
3. 岩手県
4. 秋田県
5. 宮城県
6. 山形県
7. 福島県
8. 関東
9. 甲信越
10. 北陸
11. 東海
12. 近畿
13. 中国
14. 四国
15. 九州
16. 沖縄
17. 海外

○次に、学業についてお聞きします。

問7 大学進学を志望した理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 学問・研究をするため    | 2. 専門的な知識や技術を修得するため  |
| 3. 教養を身につけるため    | 4. 社会人としての素養を身につけるため |
| 5. 資格をとるため       | 6. 学歴を得るため           |
| 7. 自由な学生生活を楽しむため | 8. スポーツや文化活動をするため    |
| 9. 友人を作るため       | 10. 親など周囲の人に勧められたため  |
| 11. まだ就職しなかったため  | 12. その他（ ）           |

問8 弘前大学は第一志望の大学でしたか。

1. はい      2. いいえ

問9 弘前大学を選んだ理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 自分の志望する専攻分野があったから | 2. 大学の特色・学風に惹かれたから  |
| 3. 自分の能力・学力に合っていたから  | 4. 大学の施設・設備がよかったから  |
| 5. 優れた教員がいると思ったから    | 6. 国立大学（国立大学法人）だから  |
| 7. 実家に近かったから         | 8. 将来就職に有利だと思ったから   |
| 9. 授業料などの経済的負担が軽いから  | 10. 親など周囲の人に勧められたから |
| 11. 進路指導の先生に勧められたから  | 12. 弘前の土地柄に惹かれたから   |
| 13. 親もとを離れたかったから     | 14. 生活環境がよいから       |
| 15. 学生支援が充実しているから    | 16. センター試験の結果から     |
| 17. その他（ ）           |                     |

問10 高校で履修した数学、理科、社会、情報の科目（またはそれに最も近い科目）について、あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |             |             |             |         |
|-------------|-------------|-------------|---------|
| 1. 数学Ⅰ（数学A） | 2. 数学Ⅱ（数学B） | 3. 数学Ⅲ（数学C） | 4. 工業数理 |
| 5. 物理       | 6. 化学       | 7. 生物       | 8. 地学   |
| 9. 総合理科     | 10. 日本史     | 11. 世界史     | 12. 地理  |
| 13. 現代社会    | 14. 倫理      | 15. 政治・経済   | 16. 情報A |
| 17. 情報B     | 18. 情報C     |             |         |

問11 今年度の前期は全体としてどのくらい授業に出席しましたか。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. すべて出席している   | 2. ほとんど出席している  |
| 3. 半分くらい出席している | 4. ほとんど出席していない |
| 5. まったく出席していない |                |

問12 授業を欠席する主な理由は、次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |              |                |             |
|--------------|----------------|-------------|
| 1. 欠席はしていない  | 2. 病気・けが       | 3. 遊び       |
| 4. 寝坊        | 5. サークル活動      | 6. アルバイト    |
| 7. 自分の関心事の追求 | 8. 勉強の意欲がわからない | 9. 授業がつまらない |
| 10. ただ何となく   | 11. その他（ ）     |             |

問13 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

1. 非常に満足している
2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない
4. まったく満足していない

問14 授業に不満や不安を感じる理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 授業が全体として難しすぎる
2. 授業がやさしすぎる
3. 授業内容に興味、関心がもてない
4. 受講したい科目が少ない
5. 将来役に立たない科目が多い
6. 受講者が多すぎる
7. 必須科目が多すぎる
8. 単位取得や科目選択が制限されている
9. 施設・設備が不十分である
10. 学び方がわからない
11. その他 ( )

問15 大学で履修した(している)科目の中で、難しくついていけないと感じるものがありますか。

1. ない
2. ある → ( ) 科目くらい

SQ. 【あると答えた方に】どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 基礎となる参考書を示してほしい
2. 基礎から分かりやすく説明してほしい
3. 例題や演習を増やしてほしい
4. 社会での必要性を示してほしい
5. 勉強の仕方を教えてほしい
6. 基礎科目を増やしてほしい
7. 質問に答えてくれるオフィスアワーを増やしてほしい
8. その他 ( )

問16 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問17 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいですか。  
( ) 時間 ( ) 分

問18 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

1. ほとんど毎日
2. 週に3, 4回
3. 週に1, 2回
4. 月に1, 2回
5. ほとんど利用しない
6. まったく利用しない

問19 大学の図書館をどのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自分の勉強・研究のため
2. 調べものをするため
3. 授業の予習・復習のため
4. 新聞や雑誌を読むため
5. 読書を楽しむため
6. パソコンを利用するため
7. 資料を依頼するため
8. その他 ( )

問20 大学の図書館の利用について、困ったことは何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい
2. 土・日曜日を含め、24時間利用できない
3. 本の数と種類が少ない
4. 新聞や雑誌の種類が少ない
5. 資料の取り寄せにお金がかかる
6. その他（ ）

問21 総合情報処理センターや学部のパソコン室をどのくらい利用していますか

1. ほとんど毎日
2. 週に3, 4回
3. 週に1, 2回
4. 月に1, 2回
5. ほとんど利用しない
6. まったく利用しない

問22 総合情報処理センターや学部のパソコン室及び無線LANの利用について、困っていることは何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 困ったことはない
2. 利用できるパソコンの数が少ない
3. 使った紙などが散乱していて汚い
4. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい
5. 土・日曜日を含め、24時間利用できない
6. ソフトの種類が少ない
7. 自分で持ち込んだパソコンが利用できない
8. その他（ ）

問23 あなたは本学のパソコンをどのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 授業の予習・復習のため
2. 研究のため
3. レポート作成のため
4. パソコンの使い方を学ぶため
5. メールのやりとり
6. ホームページを見るため
7. ゲームをするため
8. チャット利用のため
9. 本学の情報を確かめるため
10. 電子ジャーナルを見るため
11. その他（ ）

問24 自宅で使用できるパソコンを持っていますか。

1. はい
2. いいえ

SQ1【はいと答えた方に】どのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 授業の予習・復習のため
2. 研究のため
3. レポート作成のため
4. パソコンの使い方を学ぶため
5. メールのやりとり
6. ホームページを見るため
7. ゲームをするため
8. チャット利用のため
9. プログラム開発を行うため
10. 自分用のホームページを作成するため
11. 音楽ソフト等をダウンロードするため
12. 大学の情報を確かめるため
13. 電子ジャーナルを見るため
14. その他（ ）

SQ2【はいと答えた方に】インターネットに接続していますか。

1. はい
2. いいえ

問25 授業や研究のために1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか。

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. まったく利用しない  | 2. 15分未満      | 3. 15分以上30分未満 |
| 4. 30分以上1時間未満 | 5. 1時間以上2時間未満 | 6. 2時間以上3時間未満 |
| 7. 3時間以上5時間未満 | 8. 5時間以上      |               |

問26 授業や研究以外で1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか  
(携帯電話からの利用も含む)。

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. まったく利用しない  | 2. 15分未満      | 3. 15分以上30分未満 |
| 4. 30分以上1時間未満 | 5. 1時間以上2時間未満 | 6. 2時間以上3時間未満 |
| 7. 3時間以上5時間未満 | 8. 5時間以上      |               |

問27 学生用掲示板(ネット掲示板を含む)を利用して、どのような案内をよく利用しますか。  
あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |            |         |            |
|------------|---------|------------|
| 1. まったく見ない | 2. 休講通知 | 3. 呼び出しの確認 |
| 4. 単位取得の確認 | 5. 講演案内 | 6. 求人案内    |
| 7. 奨学金案内   | 8. 留学案内 | 9. その他( )  |

問28 海外留学等についてお聞きします。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 考えていない | 2. 留学してみたい |
|-----------|------------|

SQ【留学してみたい方に】その理由は何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 外国人と友達になりたい   | 2. 外国語で自由に話したい |
| 3. 海外で生活・就職してみたい | 4. その他( )      |

○あなたの進路に関することについてお聞きします。

問 29 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 就職            | 2. 本学の大学院へ進学      |
| 3. 国内の他大学の大学院へ進学 | 4. 海外の大学または大学院へ進学 |
| 5. 専門学校へ進学       | 6. まだ考えていない       |
| 7. その他 ( )       |                   |

SQ 【大学院進学と答えた方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. もっと勉強したいから    | 2. 将来、学問・研究の道に進みたいから |
| 3. より高い学歴を得たいから  | 4. 就職や資格取得に有利だと思うから  |
| 5. 希望の職に就けなかったから | 6. まだ就職したくないから       |
| 7. 友人が進学するから     | 8. その他 ( )           |

問 30 将来の職業の第一希望は次のうちのどれですか。

- |              |                              |          |
|--------------|------------------------------|----------|
| 1. 民間企業      | 2. 公務員・公的機関                  | 3. 教育職   |
| 4. 研究職       | 5. 専門職（医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など） |          |
| 6. 家業を継ぐ・手伝う | 7. 自分で起業する                   | 8. フリーター |
| 9. その他 ( )   |                              |          |

問 31 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

- |         |         |            |             |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|

問 32 大都市などに働きに出たとして、いつかは出身地に帰りたいと思いますか。

- |         |         |            |             |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|

問 33 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 知識や技能が活かせる     | 2. 独創性や創造性が発揮できる |
| 3. 十分な収入が期待できる    | 4. 安定した生活が保障される  |
| 5. 社会的な地位・名声が得られる | 6. 華やかな活躍ができる    |
| 7. 人や組織を動かすことができる | 8. 自由な活動ができる     |
| 9. 人助けや社会奉仕ができる   | 10. 自分のための時間を作れる |
| 11.好きなことを仕事にできる   | 12. 転勤がない        |
| 13. 家業を継ぐこと       | 14. 就職したい地域      |
| 15. その他 ( )       |                  |

問 34 就職または進学について、教員や大学に希望することは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 大学としてもっと積極的な対策を講じてほしい
2. 大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい
3. 教員にもっと人材育成に積極的であってほしい
4. 教員にもっと積極的に助言、指導、斡旋をしてほしい
5. 特に希望することはない
6. その他（                      ）

問 35 学生就職支援センターを利用しますか。

1. 利用した                      2. 今後利用したい                      3. 利用しない
4. 存在を知らなかった                      5. 場所を知らなかった

○現在の人間関係や学生生活についてお聞きします。

問36 あなたは現在学内のクラブやサークルに所属していますか。

1. 所属している
2. 所属していない

SQ1【所属している方に】クラブやサークルに入って特によかったと思うのはどんなことですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 教養・技能が身についた
2. 友人ができた
3. 健康維持に役立っている
4. 人との接し方を学べた
5. 積極性が出てきた
6. 責任感や協調性が身についた
7. 楽しく過ごせている
8. その他（ ）

SQ2【所属している方に】施設や大学の支援に満足していますか。

1. はい
2. いいえ→満足していない理由をお知らせください（ ）

問37 あなたは現在、学外のクラブやサークルに所属していますか？

1. 所属している
2. 所属していない

SQ 【所属している方に】クラブやサークルに入って特によかったと思うのはどんなことですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 教養・技能が身についた
2. 友人ができた
3. 健康維持に役立っている
4. 人との接し方を学べた
5. 積極性が出てきた
6. 責任感や協調性が身についた
7. 楽しく過ごせている
8. その他（ ）

問38 あなたには現在、友達と呼べる人は何人くらいいますか。学内と学外それぞれについて教えてください。

- |                      |        |              |
|----------------------|--------|--------------|
| (1) 学内の友達            | 1. いない | 2. いる（ ）人くらい |
| (2) 学内の友達で特に親しいと言える人 | 1. いない | 2. いる（ ）人くらい |
| (3) 学外の友達            | 1. いない | 2. いる（ ）人くらい |
| (4) 学外の友達で特に親しいと言える人 | 1. いない | 2. いる（ ）人くらい |

問39 あなたが大切にしている人間関係は次のうちのどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 同じクラス・研究室・ゼミの仲間や先輩・後輩
2. クラブやサークルの仲間や先輩・後輩
3. 寮や下宿など住居を同じくする仲間や先輩・後輩
4. 1～3以外で、入学後に親しくなった友達や先輩・後輩
5. 指導教員をはじめとする大学の教員
6. 高校以来の友達
7. 中学校以前からの友達
8. その他（ ）
9. 特にない

問40 学内で留学生と話すことがどのくらいありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. まったくない

問41 現在、あなたの友人関係は全体としてうまくいっていると思いますか。

1. うまくいっている
2. だいたいうまくいっている
3. あまりうまくいっていない
4. まったくうまくいっていない

問42 あなた自身が興味や関心を持っていることはなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 政治・社会問題
2. 授業・勉強・研究
3. 友人関係や恋愛
4. 家族・家庭のこと
5. 趣味・遊び
6. スポーツ
7. 進路
8. アルバイト
9. 芸能関係
10. 音楽・文芸・芸術
11. ボランティア
12. 旅行・留学
13. その他（ ）

問43 平日の授業の空き時間を過ごすのは主にどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 研究室や実習・実験室
2. 空き教室
3. クラブ・サークルの部室
4. 生協の店舗（書店・食堂等）
5. 図書館
6. 大学会館
7. キャンパスの庭（ベンチ等）
8. 学生ホール
9. 学外
10. その他（ ）

問44 新聞（一般紙）についてお聞きします。

新聞をどのくらい読みますか。

1. 毎日読む
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. 新聞は読まない

SQ【読むと答えた方に】一日にどのくらいの時間を新聞を読むのに使いますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問45 テレビのニュースについてお聞きします。

ニュースをどのくらいの頻度で見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ【見ると答えた方に】一日にどのくらいの時間、テレビのニュースを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問46 パソコンのニュースサイトについてお聞きします。

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ【見ると答えた方に】一日にどのくらいの時間、ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問47 携帯電話のニュースサイトについてお聞きします。

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ【見ると答えた方に】一日にどのくらいの時間、ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問48 問44から問47で新聞・ニュースを読む（見る）と答えた方に質問します。

関心を持って見る部分はどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. トップニュース
2. 社会面
3. 政治面
4. 経済面
5. 国際面
6. 文化面
7. 家庭面
8. 科学面
9. スポーツ面
10. 地域・地方面
11. テレビ番組表

問49 SNS（Twitter、Facebook、Mixi、LINE など）についてお聞きします。

SNSをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. SNSは見ない

SQ1【見ると答えた方に】一日にどのくらいSNSを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

SQ2【見ると答えた方に】参加しているものは、以下のどれですか？

あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. Twitter
2. Facebook
3. Mixi
4. LINE
5. その他 ( )

SQ3【見ると答えた方に】 SNS に参加していて、トラブルに遭遇したことはありませんか。

1. ある
2. ない

SQ4【見ると答えた方に】 SQ3 でトラブルに遭遇したことがあると答えた方にお聞きします。どのようなトラブルですか？

1. 人間関係
2. 金銭面
3. その他 ( )

SQ5【見ると答えた方に】 そのトラブルをどのように解決しましたか？

( )

問50 読書についてお聞きします。授業課題の本以外に、一月におよそ何冊の本を読みますか。

1. 本は読まない
2. 1冊以下
3. 1冊程度
4. 2ないし3冊
5. 4冊以上

問51 インターネット利用でトラブルにあったことがありますか。

1. はい
2. いいえ

SQ【はいと答えた方に】 どのようなトラブルですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自分のパソコンがウィルスやワームに感染した
2. 迷惑メールを受信した
3. メールやホームページ等で嫌がらせをされた
4. 掲示板等が荒らされた
5. 架空請求された
6. 代金を送ったのに品物が来なかった(詐欺にあった)
7. 自分のアカウントが不正に(勝手に)利用された
8. 自分のファイルが見られてしまった(または、書き込みされた)
9. 実際に会おうとしつこく誘われた
10. 商品等の購入に関してしつこく勧誘された
11. 自分の個人情報が勝手に公開された
12. その他 ( )

問52 通学時間は片道で何分くらいですか。 約 ( ) 分

問53 主な通学方法はなんですか。利用するものすべてをチェックしてください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自家用車
5. 公共交通機関

SQ1【自転車で大学まで来る方に】自転車の利用についてお聞きします。

(1) 自転車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐輪スペース      2. 構内の路上      3. 構外

(2) 駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない      2. 不足しているが、特に困っていない  
3. 不足していて困っている

(3) 自転車にツーロック（2重施錠）をしていますか。

1. はい      2. いいえ

SQ2【自家用車で大学まで来る方に】自家用車の利用についてお聞きします。

(1) 自家用車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐車場      2. 構外の有料駐車場      3. その他

(2) 駐車スペースについて、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない      2. 不足しているが、特に困っていない  
3. 不足していて困っている

○あなたの健康についてお聞きします。

問54 ふだん1週間に何日朝食をとっていますか。

1. 毎日 2. 5～6日 3. 3～4日 4. 1～2日 5. 朝食はとらない

問55 ふだんの睡眠についてお聞きします。

(1) 睡眠時間はどれくらいですか。

1. 6時間以下 2. 7～8時間 3. 9時間以上

(2) 睡眠状況はいかがですか。

1. よい 2. わるい

SQ【わるいと答えた方に】その理由はどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 寝つきが悪い 2. 途中で目が覚める 3. 昼夜逆転している  
4. 疲れがとれない 5. その他( )

問56 たばこを吸っていますか。

1. 吸っている 1日( )本ぐらい  
2. 以前は吸っていたが、今は吸っていない  
3. 吸っていない

問57 受動喫煙（喫煙をする者の周囲の人間が、その煙を吸ってしまうこと）の機会は1週間にどれくらいありますか。

1. 毎日 2. 3～6日 3. 1～2日 4. ほとんどない 5. まったくない

問58 どのぐらいの頻度でお酒（アルコール類）を飲みますか。

1. 飲まない 2. 週に1回以下 3. 週に2～3回  
4. 週に4～5回 5. 毎日

問59 ふだん健康のために心がけていることはありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. スポーツをしている 2. なるべく歩くなど身体を動かすようにしている  
3. 自然・健康食品をとるように心がけている  
4. 栄養のバランスを考え食事の内容に注意している  
5. 栄養剤、栄養飲料をとっている 6. 規則正しい生活をするよう心がけている  
7. 健康診断を年に一回以上受けている 8. 体調をチェックする  
9. 特に心がけていることはない

問60 あなたは今年度（平成26年度）の定期健康診断を受けましたか。

1. 指定された検査項目を全部受けた  
2. 指定された検査項目の一部を受けた  
3. まったく受けなかった

SQ【まったく受けなかった方に】その理由はなんですか。

1. 知らなかった
2. 忘れていた
3. 授業があった
4. 他の予定を優先した
5. 受けるのが面倒
6. その他（ ）

問61 現在のあなたの健康状態はどうか。

1. 良好
2. 病気ではないと思うが調子が悪い
3. 受診してはいないが病気だと思う
4. 病気やけがで通院治療中である

問62 体や心について、よく感じる自覚症状がありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自覚症状はない
2. 疲れる
3. 食欲がない
4. よく眠れない
5. 頭痛がする
6. 胃腸の調子が悪い
7. よく熱が出る
8. 便秘しやすい
9. 下痢しやすい
10. イライラする
11. 集中力の低下
12. 無力感がある
13. 憂鬱になる
14. その他（ ）

問63 現在、悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 悩みはない
2. 勉強や成績のこと
3. 卒業研究や論文のこと
4. 進路や就職のこと
5. クラブ・サークル活動のこと
6. 人間関係のこと
7. 恋愛や結婚のこと
8. 自分自身の性格のこと
9. 健康上のこと
10. 性（セックス）に関して
11. 経済的なこと
12. 家庭環境や家族のこと
13. その他（ ）

問64 くだん悩みにどのように対処することが多いですか。

1. 自分自身で解決できるように努力することが多い
2. 誰かに相談することが多い
3. 特に何もせず、なりゆきにまかせることが多い
4. その他（ ）

問65 悩みについて相談するのは主に誰ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 悩みがあっても相談しない
2. 相談する人がいない
3. 友人
4. 先輩
5. 家族
6. 親戚
7. 教員
8. 事務職員
9. 保健管理センター
10. 学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）
11. その他（ ）

問66 保健管理センターや学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）について知っていますか。

1. 知っている
2. 知らなかった

SQ【知っている」と答えた方に】どのようにして知りましたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 入学式の説明で
2. 学部学科のオリエンテーションで
3. 学生生活ガイドで
4. ホケカン健康手帳で
5. 友達から聞いて
6. 先生から
7. その他（                      ）

問67 あなたは大学をやめたいと思ったことがありますか。

1. ない
2. ある

SQ【ある」と答えた方に】そう思った理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 学部、学科が合わない
2. 自分の能力に合わない
3. 授業がおもしろくない
4. 進路変更
5. 遊びたい
6. 経済的理由
7. 家庭の事情
8. 日常生活（暮らし）の問題
9. 恋愛・結婚問題
10. 就職に不利
11. 興味をなくした（目的喪失）
12. 他にやりたいことを見つけた
13. 学生同士の人間関係
14. 教員との関係
15. 単位を取れなかった（留年した）から
16. その他（                      ）

○最後に経済的状況についてお聞きします。

以下の質問は、学部生のみなさんの経済状況を把握し、授業料免除や奨学金などの本学における経済的支援制度の充実と改善につなげることを目的としています。また、このウェブ調査から得られた回答は秘匿されています。本調査の趣旨をご理解のうえ、是非ご協力をお願いします。

問68 あなたの家庭の、主たる家計支持者の職業は、次のうちどれに当たりますか。

1. 民間企業（教育・研究・専門職を除く）
2. 公務員・公的機関職員（教育・研究・専門職を除く）
3. 教育職    4. 研究職    5. 専門職（医師，看護師，会計士，税理士，弁護士など）
6. 農林漁業    7. 自営業（自宅で）    8. 自営業（自宅以外）
9. パート・アルバイト    10. 無職・失業中    11. その他（            ）

問69 主たる家計支持者の年収は、だいたいどのくらいですか。

1. 100万円未満                      2. 100万円～200万円未満
3. 200万円～400万円未満    4. 400万円～600万円未満
5. 600万円～800万円未満    6. 800万円～1,000万円未満
7. 1,000万円以上

問70 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して記入してください。ゼロの場合には、数字「0」を入力してください。

なお、支出計と収入計については、各内訳の合計と金額が一致するように入力してください。

支出計（            ）円

- 内訳：食費……           （            ）円
- 住居費……           （            ）円
- 光熱水費……           （            ）円
- 娯楽費……           （            ）円
- 研究・勉学費……（            ）円
- 衣料費……           （            ）円
- 交通費……           （            ）円
- 通信費……           （            ）円
- 医療費……           （            ）円
- 貯金……           （            ）円
- その他……           （            ）円

収入計（            ）円

- 内訳：実家から………（            ）円
- 奨学金………           （            ）円
- アルバイト……           （            ）円
- その他………           （            ）円

問71 現在、あなた自身の預貯金がありますか。

1. ある →約（            ）円                      2. ない

問72 現在、あなた自身のクレジットまたはローンの残額がありますか。

1. ない            2. 5万円未満            3. 5～10万円未満
4. 10～20万円未満            5. 20万円以上

問73 現在、アルバイトをしていますか。

1. している
2. していない

SQ1【アルバイトをしている方に】週に何日、アルバイトをしていますか。

1. 1～3日
2. 4～6日
3. 毎日
4. 不定期

SQ2【アルバイトをしている方に】一日当たりのアルバイトの時間は、大体決まっていますか。

1. 決まっている → 約( )時間
2. 決まっていない

SQ3【アルバイトをしている方に】アルバイトの主な目的は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 家庭の経済的負担を軽減するため
2. 遊びやつきあいにお金が必要
3. 自由に使えるお金が欲しいから
4. 社会経験のため
5. 将来の仕事を経験してみたいから
6. 経済的に少しでも自立したいから
7. 貯金をしたいから
8. みんながしているから
9. その他( )

問74 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰(どこ)から出ていますか。

1. 親
2. 親戚
3. 奨学金
4. アルバイト
5. 授業料は免除されている
6. その他( )

問75 奨学金や授業料免除についてお聞きします。

(1) これまで、奨学金を申し込んだことがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構に申し込んだことがある
2. その他の奨学金に申し込んだことがある
3. 申し込んだことがない

(2) 現在、奨学金を受けていますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構からの奨学金を受けている
2. その他の奨学金を受けている
3. 奨学金を受けていない

(3) 今年度、授業料免除を申し込みましたか ……1. はい 2. いいえ

(4) 今年度、授業料免除を受けていますか ……1. はい 2. いいえ

問76 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

1. 実家 2. 下宿 3. アパート 4. 学生寮 5. その他 ( )

SQ1【下宿またはアパート暮らしの方に】住居の広さはどのくらいですか。

1. 6畳以下 (バス・トイレなし)  
2. 6畳以下 (バス・トイレ付)  
3. 6畳～12畳 (バス・トイレなし)  
4. 6畳～12畳 (バス・トイレ付)  
5. 12畳以上  
6. その他 ( )

SQ2【下宿またはアパート暮らしの方に】現在、同居している人はいますか

1. いない 2. 家族・親戚 3. 友人・知人など家族以外の人

SQ3【下宿またはアパート暮らしの方に】あなたが学生寮に住まない主な理由は次のうちどれですか。

1. 集団生活がいや 2. 部屋が古く狭い 3. 設備が悪い  
4. 相部屋である 5. 規則等に縛られる  
6. 自分の時間が持てない 7. その他 ( )

SQ4【学生寮に住んでいる方に】学生寮に住む主な理由は次のうちどれですか。

1. 経済的理由 2. 集団生活が楽しめる 3. 友人・知人が得られる  
4. 食事が出る 5. 先輩・知人に勧められて  
6. 親・家族に勧められて 7. その他 ( )

問77 あなたの家(部屋)にあって、あなた自身が使用している物すべてをチェックしてください。

1. テレビ 2. ビデオ 3. ブルーレイ・HDDレコーダー 4. オーディオ機器  
5. ゲーム機 6. 冷蔵庫 7. 洗濯機 8. クーラー・エアコン  
9. 加入電話(固定電話) 10. 携帯・PHS 11. スマートフォン  
12. パソコン 13. タブレット 14. プリンター(複合型も含む)  
15. 自転車 16. バイク(原付含む) 17. 自動車

大学へのご意見，ご要望，ご批判などありましたら，この欄に自由にお書きください。

ご協力，誠にありがとうございました。

## 弘前大学 第7回学生生活実態調査

平成26年10月（大学院生用）

1. このアンケートは、4年に一度、全学的に実施されるもので、大学の教育改善の基礎資料となります。お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひとも率直に答えていただくよう、お願いいたします。
2. この質問は、10分程度で回答が終わるもので、ふだんの生活や考えに最も近いと思われる選択肢の番号にチェックしていただくものがほとんどです。
3. 回答は統計的に処理され、全体の傾向をつかむために用いられます。  
あなたの答えが個人として分析されることは絶対にありません。お答えにより、なんらかの不利益が生じることもありません。
4. 10月15日（金）までにご回答くださるようお願いいたします。

# 第7回弘前大学学生生活実態調査

学生生活実態調査専門委員会

○はじめに、あなた自身の所属などについてお尋ねします。

問1 性別 1. 男 2. 女

問2 年齢 ( ) 歳

問3 所属研究科

修士課程・博士前期課程

1. 人文社会科学研究科 2. 教育学研究科 3. 保健学研究科  
4. 理工学研究科 5. 農学生命科学研究科

博士課程・博士後期課程・後期3年博士課程

1. 医学研究科 2. 保健学研究科 3. 理工学研究科 4. 地域社会研究科

問4 学年

修士課程・博士前期課程

1. 1年 2. 2年

医学研究科博士課程

1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年

博士後期課程・後期3年博士課程

1. 1年 2. 2年 3. 3年

問5 出身大学

1. 弘前大学 2. 他大学（日本） 3. 他大学（海外）  
4. 短期大学 5. 専門学校

問6 大学または短期大学・専門学校を卒業してから大学院入学までの年数 ( ) 年

問7 実家の所在地

1. 北海道 2. 青森県 3. 岩手県 4. 秋田県 5. 宮城県  
6. 山形県 7. 福島県 8. 関東 9. 甲信越  
10. 北陸 11. 東海 12. 近畿 13. 中国 14. 四国  
15. 九州 16. 沖縄 17. 海外

○次に、学業についてお聞きします。

問8 弘前大学大学院は第一志望の大学院でしたか。

1. はい 2. いいえ

問9 大学院に進学した理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. もっと勉強したいから 2. より専門的な知識や技術を修得したいから  
3. 将来、学問・研究の道に進みたいから 4. 就職や資格取得に有利だと思うから  
5. より高い学歴を得たいから  
6. 現職教員としての自分の授業を改善・向上させたいから  
7. まだ自由な学生生活を楽しまないから  
8. まだスポーツや文化活動を続けたいから 9. 友人が進学するから  
10. 親など周囲の人に勧められたから 11. まだ就職しなかったから  
12. 希望する職に就けなかったから 13. その他（ ）

問10 弘前大学大学院を選んだ理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自分の志望する専攻分野があったから 2. 大学の特色・学風に惹かれたから  
3. 自分の能力・学力に合っていたから 4. 大学の施設・設備がよかったから  
5. 指導を受けたい教員がいたから 6. 国立大学（国立大学法人）だから  
7. 実家に近かったから 8. 将来就職に有利だと思ったから  
9. 授業料などの経済的負担が軽いから 10. 親など周囲の人に勧められたから  
11. 指導教員の勧めがあったから 12. 良い評判を聞いたから  
13. 継続した勉強や研究ができるから 14. 学生支援が充実しているから  
15. 実践と研究の両面を進めることができるから  
16. その他（ ）

問11 他大学の大学院を受験しましたか。

1. した 2. しなかった

SQ【他大学大学院を受験した方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自分の志望する専攻分野があったから 2. 大学の特色・学風に惹かれたから  
3. 自分の能力・学力に合っていたから 4. 大学の施設・設備がよかったから  
5. 指導を受けたい教員がいたから 6. 国立大学（国立人学法人）だから  
7. 実家に近かったから 8. 将来就職に有利だと思ったから  
9. 授業料などの経済的負担が軽いから 10. 親など周囲の人に勧められたから  
11. 指導教員の勧めがあったから 12. 良い評判を聞いたから  
13. 継続した勉強や研究ができるから 14. 学生支援が充実しているから  
15. 1つの大学院だけの入試では不安であったから  
16. その他（ ）

問12 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

1. 非常に満足している
2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない
4. まったく満足していない

問13 授業に不満や不安を感じる理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 授業が難しすぎる
2. 授業がやさしすぎる
3. 授業内容に興味・関心が持てない
4. 受講したい科目が少ない
5. 将来役に立たない科目が多い
6. 受講者が多すぎる
7. 必須科目が多すぎる
8. 単位取得や科目選択が制限されている
9. 施設・設備が不十分である
10. 教員の教え方になじめない
11. 教員の授業に対する熱意や工夫が足りない
12. 資料の収集方法がわからない
13. 実験等のやり方に不安がある
14. その他 ( )

問14 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問15 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいですか。  
( )時間 ( )分

問16 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

1. ほとんど毎日
2. 週に3、4回
3. 週に1、2回
4. 月に1、2回
5. ほとんど利用しない
6. まったく利用しない

問17 大学の図書館をどのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自分の勉強・研究のため
2. 調べものをするため
3. 授業の予習・復習のため
4. 新聞や雑誌を読むため
5. 読書を楽しむため
6. パソコンを利用するため
7. 資料を依頼するため
8. その他 ( )

問18 大学の図書館の利用について、困ったことは何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい
2. 土・日曜日を含め、24時間利用できない
3. 本の数と種類が少ない
4. 新聞や雑誌の種類が少ない
5. 資料の取り寄せにお金がかかる
6. その他 ( )

問19 総合情報処理センターや学部のパソコン室をどのくらい利用していますか。

1. ほとんど毎日
2. 週に3、4回
3. 週に1、2回
4. 月に1、2回
5. ほとんど利用しない
6. まったく利用しない

問20 総合情報処理センターや学部のパソコン室及び無線LANの利用について、困っていることをお聞きします。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 困ったことはない
2. 利用できるパソコンの数が少ない
3. 使った紙などが散乱していて汚い
4. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい
5. 土曜・日曜日を含め、24時間利用できない
6. ソフトの種類が少ない
7. 自分の持ち込んだパソコンが利用できない
8. その他( )

問21 あなたは本学のパソコンをどのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 授業の予習・復習のため
2. 研究のため
3. レポート作成のため
4. 先行研究の検索のため
5. パソコンの使い方を学ぶため
6. メールのやりとり
7. ホームページを見るため
8. ゲームをするため
9. チャット利用のため
10. 本学の案内(シラバスや大学等)を確かめるため
11. その他( )

問22 自宅で使用できるパソコンを持っていますか。

1. はい
2. いいえ

SQ1 【はいと答えた方に】どのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 授業の予習・復習のため
2. 研究のため
3. レポート作成のため
4. パソコンの使い方を学ぶため
5. メールのやりとり
6. ホームページを見るため
7. ゲームをするため
8. チャット利用のため
9. プログラム開発を行うため
10. 自分用のホームページを作成するため
11. 音楽ソフト等をダウンロードするため
12. 自宅から大学の情報をホームページなどで取得するため
13. その他( )

SQ2 【はいと答えた方に】インターネットに接続していますか。

1. はい
2. いいえ

問23 授業や研究のために1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか。

1. まったく利用しない
2. 15分未満
3. 15分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 2時間以上3時間未満
7. 3時間以上5時間未満
8. 5時間以上

問24 授業や研究以外で1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか(携帯電話からの利用も含む)。

1. まったく利用しない
2. 15分未満
3. 15分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 2時間以上3時間未満
7. 3時間以上5時間未満
8. 5時間以上

問25 学生用掲示板(ネット掲示板を含む)を利用して、どのような案内をよく利用しますか。  
あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |            |         |            |
|------------|---------|------------|
| 1. まったく見ない | 2. 休講通知 | 3. 呼び出しの確認 |
| 4. 単位取得の確認 | 5. 講演案内 | 6. 求人案内    |
| 7. 奨学金案内   | 8. 留学案内 | 9. その他( )  |

問26 海外留学等についてお聞きします。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 考えていない | 2. 留学してみたい |
|-----------|------------|

SQ【留学してみたい方】に、その理由は何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 外国人と友達になりたい   | 2. 外国語で自由に話したい |
| 3. 海外で生活・就職してみたい | 4. その他( )      |

○あなたの進路に関することについてお聞きします。

問 27 あなたは修了後の進路についてどのように考えていますか。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 就職         | 2. 本学の博士課程へ進学    |
| 3. 岩手連合大学院へ進学 | 4. 国内の他大学の大学院へ進学 |
| 5. 海外の大学院へ進学  | 6. 専門学校へ進学       |
| 7. まだ考えていない   | 8. その他 ( )       |

問 28 将来の職業の第一希望は次のうちのどれですか。

- |              |                              |          |
|--------------|------------------------------|----------|
| 1. 民間企業      | 2. 公務員・公的機関                  | 3. 教育職   |
| 4. 研究職       | 5. 専門職(医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など) |          |
| 6. 家業を継ぐ・手伝う | 7. 自分で起業する                   | 8. フリーター |
| 9. その他 ( )   |                              |          |

問 29 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

- |         |         |            |             |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|

問 30 大都市などに働きに出たとして、いつかは出身地に帰りたいと思いますか。

- |         |         |            |             |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|

問 31 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 知識や技能が活かせる     | 2. 独創性や創造性が発揮できる |
| 3. 十分な収入が期待できる    | 4. 安定した生活が保障される  |
| 5. 社会的な地位・名声が得られる | 6. 華やかな活躍ができる    |
| 7. 人や組織を動かすことができる | 8. 自由な活動ができる     |
| 9. 人助けや社会奉仕ができる   | 10. 自分のための時間を作れる |
| 11. 好きなことを仕事にできる  | 12. 転勤がない        |
| 13. 家業を継ぐこと       | 14. 就職したい地域      |
| 15. その他 ( )       |                  |

問 32 就職または進学について、教員や大学に希望することは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 大学としてもっと積極的な対策を講じてほしい     |
| 2. 大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい |
| 3. 教員にもっと人材育成に積極的であってほしい     |
| 4. 教員にもっと積極的に助言、指導、斡旋をしてほしい  |
| 5. 特に希望することはない               |
| 6. その他 ( )                   |

問 33 学生就職支援センターを利用しますか。

- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 利用した      | 2. 今後利用したい   | 3. 利用しない |
| 4. 存在を知らなかった | 5. 場所を知らなかった |          |

○現在の人間関係や学生生活についてお聞きします。

問34 あなたには現在、友達と呼べる人は何人くらいいますか。学内と学外それぞれについて  
教えてください。

- (1) 学内の友達……………1. いない      2. いる ( ) 人くらい  
(2) 学内の友達で特に親しいと言える人…1. いない      2. いる ( ) 人くらい  
(3) 学外の友達……………1. いない      2. いる ( ) 人くらい  
(4) 学外の友達で特に親しいと言える人…1. いない      2. いる ( ) 人くらい

問35 あなたが大切にしている人間関係は次のうちのどれです。あてはまるものすべてをチェ  
ックしてください。

1. 同じクラス・研究室・ゼミの仲間や先輩・後輩
2. クラブやサークルの仲間や先輩・後輩
3. 寮や下宿など住居を同じくする仲間や先輩・後輩
4. 1～3以外で、入学後に親しくなった友達や先輩・後輩
5. 指導教員をはじめとする大学の教員
6. 高校以来の友達
7. 中学校以前からの友達
8. その他 (                      )
9. 特にない

問36 学内で留学生と話すことがどのくらいありますか。

1. よくある    2. ときどきある    3. ほとんどない    4. まったくない

問37 現在、あなたの友人関係は全体としてうまくいっていると思いますか。

1. うまくいっている                      2. だいたいうまくいっている  
3. あまりうまくいっていない          4. まったくうまくいっていない

問38 あなた自身が興味や関心を持っていることはなんですか。あてはまるものすべてをチェ  
ックしてください。

- |                                  |             |            |
|----------------------------------|-------------|------------|
| 1. 政治・社会問題                       | 2. 授業・勉強・研究 | 3. 友人関係や恋愛 |
| 4. 家族・家庭のこと                      | 5. 趣味・遊び    | 6. スポーツ    |
| 7. 進路                            | 8. アルバイト    | 9. 芸能関係    |
| 10. 音楽・文芸・芸術                     | 11. ボランティア  | 12. 旅行・留学  |
| 13. その他 (                      ) |             |            |

問39 平日の授業の空き時間を過ごすのは主にどこですか。あてはまるものすべてをチェ  
ックしてください。

- |                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| 1. 研究室や実習・実験室     | 2. 空き教室                          |
| 3. クラブ・サークルの部室    | 4. 生協の店舗 (書店・食堂等)                |
| 5. 図書館            | 6. 大学会館                          |
| 7. キャンパスの庭 (ベンチ等) | 8. 学生ホール                         |
| 9. 学外             | 10. その他 (                      ) |

問40 新聞（一般紙）についてお聞きします。

新聞をどのくらい読みますか。

1. 毎日読む
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. 新聞は読まない

SQ【読むと答えた方に】一日にどのくらいの時間を新聞を読むのに使いますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問41 テレビのニュースについてお聞きします。

ニュースをどのくらいの頻度で見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ【見ると答えた方に】一日にどのくらいの時間、テレビのニュースを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問42 パソコンのニュースサイトについてお聞きします。

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ【見ると答えた方に】一日にどのくらいの時間、ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問43 携帯電話のニュースサイトについてお聞きします。

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ【見ると答えた方に】一日にどのくらいの時間、ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上 10分未満
3. 10分以上 30分未満
4. 30分以上 1時間未満
5. 1時間以上 2時間未満
6. 2時間以上

問44 問40から問43で新聞・ニュースを読む（見る）と答えた方に質問します。

関心を持って見る部分はどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. トップニュース
2. 社会面
3. 政治面
4. 経済面
5. 国際面
6. 文化面
7. 家庭面
8. 科学面
9. スポーツ面
10. 地域・地方面
11. テレビ番組表

問45 SNS (Twitter、Facebook、Mixi、LINE など) についてお聞きします。

SNS をどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. SNS は見ない

SQ1【見ると答えた方に】一日にどのくらいSNSを見ていますか。

1. 5分未満
2. 5分以上10分未満
3. 10分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 2時間以上

SQ2【見ると答えた方に】参加しているものは、以下のどれですか？

あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. Twitter
2. Facebook
3. Mixi
4. LINE
5. その他 ( )

SQ3【見ると答えた方に】SNS に参加していて、トラブルに遭遇したことはありませんか。

1. ある
2. ない

SQ4【見ると答えた方に】SQ3 でトラブルに遭遇したことがあると答えた方にお聞きします。どのようなトラブルですか？

1. 人間関係
2. 金銭面
3. その他 ( )

SQ5【見ると答えた方に】そのトラブルをどのように解決しましたか？

( )

問46 読書についてお聞きします。授業課題の本以外に、一月におよそ何冊の本を読みますか。

1. 本は読まない
2. 1冊以下
3. 1冊程度
4. 2ないし3冊
5. 4冊以上

問47 インターネット利用でトラブルにあったことがありますか。

1. はい
2. いいえ

SQ【はいと答えた方に】どのようなトラブルですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自分のパソコンがウィルスやワームに感染した
2. 迷惑メールを受信した
3. メールやホームページ等で嫌がらせをされた
4. 掲示板等が荒らされた
5. 架空請求された
6. 代金を送ったのに品物が来なかった(詐欺にあった)
7. 自分のアカウントが不正に(勝手に)利用された
8. 自分のファイルが見られてしまった(または、書き込みされた)
9. 実際に会おうとしつこく誘われた
10. 商品等の購入に関してしつこく勧誘された
11. 自分の個人情報勝手に公開された
12. その他 ( )

問48 通学時間は片道で何分くらいですか。 約（ ）分

問49 主な通学方法はなんですか。利用するものすべてをチェックしてください。

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. 公共交通機関

SQ1【自転車で大学まで来る方に】自転車の利用についてお聞きします。

(1) 自転車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐輪スペース 2. 構内の路上 3. 構外

(2) 駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない 2. 不足しているが、特に困っていない  
3. 不足していて困っている

(3) 自転車にツーロック（2重施錠）をしていますか。

1. はい 2. いいえ

SQ2【自家用車で大学まで来る方に】自家用車の利用についてお聞きします。

(1) 自家用車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐車場 2. 構外の有料駐車場 3. その他

(2) 駐車スペースについて、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない 2. 不足しているが、特に困っていない  
3. 不足していて困っている

○あなたの健康についてお聞きします。

問50 ふだん1週間に何日朝食をとっていますか。

1. 毎日 2. 5～6日 3. 3～4日 4. 1～2日 5. 朝食はとらない

問51 ふだんの睡眠についてお聞きします。

(1) 睡眠時間はどれくらいですか。

1. 6時間以下 2. 7～8時間 3. 9時間以上

(2) 睡眠状況はいかがですか。

1. よい 2. わるい

SQ【わるいと答えた方に】その理由はどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 寝つきが悪い 2. 途中で目が覚める 3. 昼夜逆転している  
4. 疲れがとれない 5. その他( )

問52 たばこを吸っていますか。

1. 吸っている 1日( )本ぐらい  
2. 以前は吸っていたが、今は吸っていない  
3. 吸っていない

問53 受動喫煙（喫煙をする者の周囲の人間が、その煙を吸ってしまうこと）の機会は1週間にどれくらいありますか。

1. 毎日 2. 3～6日 3. 1～2日 4. ほとんどない 5. まったくない

問54 どのぐらいの頻度でお酒（アルコール類）を飲みますか。

1. 飲まない 2. 週に1回以下 3. 週に2～3回  
4. 週に4～5回 5. 毎日

問55 ふだん健康のために心がけていることはありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. スポーツをしている 2. なるべく歩くなど身体を動かすようにしている  
3. 自然・健康食品をとるように心がけている  
4. 栄養のバランスを考え食事の内容に注意している  
5. 栄養剤、栄養飲料をとっている 6. 規則正しい生活をするよう心がけている  
7. 健康診断を年に一回以上受けている 8. 体調をチェックする  
9. 特に心がけていることはない

問56 あなたは今年度（平成26年度）の定期健康診断を受けましたか。

1. 指定された検査項目を全部受けた  
2. 指定された検査項目の一部を受けた  
3. まったく受けなかった

SQ【まったく受けなかった方に】その理由はなんですか。

1. 知らなかった
2. 忘れていた
3. 授業があった
4. 他の予定や仕事を優先した
5. 受けるのが面倒
6. その他（ ）

問57 現在のあなたの健康状態はどうか。

1. 良好
2. 病気ではないと思うが調子が悪い
3. 受診してはいないが病気だと思う
4. 病気やけがで通院治療中である

問58 体や心について、よく感じる自覚症状がありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自覚症状はない
2. 疲れる
3. 食欲がない
4. よく眠れない
5. 頭痛がする
6. 胃腸の調子が悪い
7. よく熱が出る
8. 便秘しやすい
9. 下痢しやすい
10. イライラする
11. 集中力の低下
12. 無力感がある
13. 憂鬱になる
14. その他（ ）

問59 現在、悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 悩みはない
2. 勉強や成績のこと
3. 修士・博士論文のこと
4. 研究のこと
5. 進路や就職のこと
6. クラブ・サークル活動のこと
7. 人間関係のこと
8. 恋愛や結婚のこと
9. 自分自身の性格のこと
10. 健康上のこと
11. 性（セックス）に関して
12. 経済的なこと
13. 家庭環境や家族のこと
14. 仕事のこと
15. その他（ ）

問60 ふだん悩みにどのように対処することが多いですか。

1. 自分自身で解決できるように努力することが多い
2. 誰かに相談することが多い
3. 特に何もせず、なりゆきにまかせることが多い
4. その他（ ）

問61 悩みについて相談するのは主に誰ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 悩みがあっても相談しない
2. 相談する人がいない
3. 友人
4. 先輩
5. 家族
6. 親戚
7. 教員
8. 事務職員
9. 保健管理センター
10. 学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）
11. 職場の上司
12. 職場の同僚
13. その他（ ）

問62 保健管理センターや学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）について知っていますか。

1. 知っている
2. 知らなかった

SQ【知っていると答えた方に】どのようにして知りましたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 入学式の説明で
2. 学部学科のオリエンテーションで
3. 学生生活ガイドで
4. ホケカン健康手帳で
5. 友達から聞いて
6. 先生から
7. その他（                      ）

問63 あなたは大学院をやめたいと思ったことがありますか。

1. ない
2. ある

SQ【あると答えた方に】そう思った理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 研究科、講座等が合わない
2. 自分の能力に合わない
3. 授業がおもしろくない
4. 進路変更
5. 遊びたい
6. 経済的理由
7. 家庭の事情
8. 日常生活（暮らし）の問題
9. 恋愛・結婚問題
10. 就職に不利
11. 興味をなくした（目的喪失）
12. 他にやりたいことを見つけた
13. 学生同士の間人間関係
14. 教員との関係
15. 仕事の事情
16. 単位を取れなかった（留年した）から
17. その他（                      ）

○最後に経済的状況についてお聞きします。

以下の質問は、大学院生のみなさんの経済状況を把握し、授業料免除や奨学金などの本学における経済的支援制度の充実と改善につなげることを目的としています。また、このウェブ調査から得られた回答は秘匿されています。本調査の趣旨をご理解のうえ、是非ご協力をお願いします。

問64 あなたの家庭の、主たる家計支持者の職業は、次のうちどれに当たりますか。

1. 民間企業（教育・研究・専門職を除く）
2. 公務員・公的機関職員（教育・研究・専門職を除く）
3. 教育職 4. 研究職
5. 専門職（医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など）
6. 農林漁業 7. 自営業（自宅で） 8. 自営業（自宅以外）
9. パート・アルバイト 10. 無職・失業中 11. その他（ ）

問65 主たる家計支持者の年収は、だいたいどのくらいですか。

1. 100万円未満 2. 100万円～200万円未満
3. 200万円～400万円未満 4. 400万円～600万円未満
5. 600万円～800万円未満 6. 800万円～1,000万円未満
7. 1,000万円以上

問66 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して記入してください。ゼロの場合には、数字「0」を入力してください。なお、支出計と収入計については、各内訳の合計と金額が一致するように入力してください。

\* 「仕事（アルバイトを含む）」とは、正規の職員・従業員、派遣・契約社員、嘱託、アルバイト・パートなど、就業形態に関わらず収入をとまなう全ての仕事を指します。

支出計（ ）円	収入計（ ）円
内訳：食費……（ ）円	内訳：実家から……（ ）円
住居費……（ ）円	奨学金……（ ）円
光熱水費……（ ）円	仕事（アルバイトを含む）*……（ ）円
娯楽費……（ ）円	その他……（ ）円
研究・勉学費……（ ）円	
衣料費……（ ）円	
交通費……（ ）円	
通信費……（ ）円	
医療費……（ ）円	
貯金……（ ）円	
その他……（ ）円	

問67 現在、あなた自身の預貯金はありますか。

1. ある →約（ ）円
2. ない

問68 現在、あなた自身のクレジットまたはローンの残額はありますか。

1. ない 2. 5万円未満 3. 5～10万円未満
4. 10～20万円未満 5. 20万円以上

問69 現在、仕事（アルバイトを含む）をしていますか。

1. している
2. していない

SQ1【仕事（アルバイトを含む）をしている方に】週に何日、仕事をしていますか。

1. 1～3日
2. 4～6日
3. 毎日
4. 不定期

SQ2【仕事（アルバイトを含む）をしている方に】一日当たりの仕事時間は、大体決まっていますか。

1. 決まっている → 約（ ）時間
2. 決まっていない

SQ3【仕事（アルバイトを含む）をしている方に】主な目的は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 家庭の経済的負担を軽減するため
2. 遊びやつきあいにお金が必要
3. 自由に使えるお金が欲しいから
4. 社会経験のため
5. 将来の仕事を経験してみたいから
6. 経済的に少しでも自立したいから
7. 貯金をしたいから
8. 研究費・学会参加費（旅費を含む）のため
9. その他（ ）

問70 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰（どこ）から出ていますか。

1. 親
2. 親戚
3. 奨学金
4. あなた自身の仕事（アルバイトを含む）
5. 授業料は免除されている
6. その他（ ）

問71 奨学金や授業料免除についてお聞きします。

(1) これまで、奨学金を申し込んだことがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構に申し込んだことがある
2. その他の奨学金に申し込んだことがある
3. 申し込んだことがない

(2) 現在、奨学金を受けていますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構からの奨学金を受けている
2. その他の奨学金を受けている
3. 奨学金を受けていない

(3) 今年度、授業料免除を申し込みましたか ……1. はい 2. いいえ

(4) 今年度、授業料免除を受けていますか ……1. はい 2. いいえ

問72 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

1. 実家 2. 下宿 3. アパート 4. 学生寮 5. その他 ( )

SQ1【下宿またはアパート暮らしの方に】住居の広さはどのくらいですか。

1. 6畳以下 (バス・トイレなし)  
2. 6畳以下 (バス・トイレ付)  
3. 6畳～12畳 (バス・トイレなし)  
4. 6畳～12畳 (バス・トイレ付)  
5. 12畳以上  
6. その他 ( )

SQ2【下宿またはアパート暮らしの方に】現在、同居している人はいますか

1. いない 2. 家族・親戚 3. 友人・知人など家族以外の人

問73 あなたの家(部屋)にあって、あなた自身が使用している物すべてをチェックしてください。

1. テレビ 2. ビデオ 3. ブルーレイ・HDDレコーダー 4. オーディオ機器  
5. ゲーム機 6. 冷蔵庫 7. 洗濯機 8. クーラー・エアコン  
9. 加入電話(固定電話) 10. 携帯・PHS 11. スマートフォン  
12. パソコン 13. タブレット 14. プリンター(複合型も含む)  
15. 自転車 16. バイク(原付含む) 17. 自動車

大学へのご意見，ご要望，ご批判などありましたら，この欄に自由にお書きください。

ご協力，誠にありがとうございました。

## 付録4 単純集計表

## 附属統計表（学部学生男女比率）

### 問1 性別

男		女		合計
748	51.0%	720	49.0%	1468

### 問2 年齢

項目	男	女	合計
平均	20.9	20.5	20.5
人数	744	720	1464

### 問3 所属学部科

項目	男	女	合計
人文学部	19.7	30.6	25.0
教育学部	8.8	17.6	13.1
医学部医学科	17.8	12.4	15.1
医学部保健学科	6.8	17.6	12.1
理工学部	32.6	10.1	21.6
農学生命科学部	14.3	11.7	13.0

### 問4 学年

項目	男	女	合計
1年	25.8	31.8	28.7
2年	28.9	18.2	23.6
3年	21.0	26.9	23.9
4年	21.1	21.0	21.0
5年	0.9	0.7	0.8
6年	2.3	1.4	1.8

### 問5 受験様式

項目	男	女	合計
前期日程	62.2	56.9	59.6
後期日程	16.8	14.9	15.9
推薦(センター試験有)	2.4	5.6	4
推薦(センター試験無)	6.8	12.1	9.5
推薦(不明)	1.1	2.4	1.6
AO	5.1	5.4	5.2
社会人	0	0.6	0.3
私費外国人留学生	1.3	0	0.7
学士編入	4	1	2.5
3年次編入	0.3	1.1	0.7

### 問6 実家の所在地

項目	男	女	合計
北海道	28.3	19.3	23.9
青森県	36.8	47.1	41.8
岩手県	7.0	8.9	7.9
秋田県	4.5	6.0	5.2
宮城県	2.0	3.9	2.9
山形県	1.3	2.4	1.8
福島県	1.1	1.1	1.1
関東	10.7	7.2	9.0

甲信越	1.9	1.1	1.5
北陸	0.7	0.1	0.4
東海	2.4	2.2	2.3
近畿	0.8	0.4	0.6
中国	0.4	0.3	0.3
四国	0.3	0.0	0.1
九州	0.5	0.0	0.3
沖縄	0.0	0.0	0.0
海外	1.3	0.0	0.7

### 問7 大学進学を志望した理由

項目	男	女	合計
学問・研究	51.2	51.5	51.4
専門的な知識や技術の習得	62.6	68.6	65.5
教養を身につける	41.0	43.1	42.0
社会人としての素養	28.9	31.4	30.1
資格をとる	33.7	46.8	40.1
学歴を得る	46.1	52.6	49.3
学生生活を楽しむ	25.1	28.9	27.0
スポーツや文化活動をする	13.4	10.8	12.1
友人を作る	16.4	16.1	16.3
親など周囲の人に勧められた	13.2	18.8	15.9
まだ就職したくない	13.2	16.1	14.6
その他	1.5	0.7	1.1

### 問8 弘前大学は第一志望の大学か

項目	男	女	合計
はい	46.3	55.6	50.8
いいえ	53.7	44.4	49.2

### 問9 弘前大学を選んだ理由

項目	男	女	合計
志望専攻分野があった	60.8	70.6	65.6
特色・学風に惹かれた	7.9	10.0	8.9
能力・学力があっていた	48.1	48.8	48.4
施設・設備がよい	4.9	4.9	4.9
優れた教員がいる	4.3	6.3	5.2
国立大学だから	72.5	80.6	76.4
実家に近い	33.4	40.4	36.9
就職に有利	8.7	10.7	9.7
経済的負担が軽い	29.1	29.6	29.4
親や周囲の人に勧められた	11.0	15.0	12.9
進路指導の先生に勧められた	11.9	16.9	14.4
弘前の土地柄に惹かれた	7.4	6.5	6.9
親もとを離れたかった	9.6	11.0	10.3
生活環境がよい	6.1	5.3	5.7
学生支援が充実	1.5	1.4	1.4
センター試験の結果	40.1	33.8	37.0
その他	1.9	1.5	1.7

問10 高校で履修した数学、理科、社会、情報の科目

項目	男	女	合計
数学Ⅰ(数学A)	98.0	98.9	98.4
数学Ⅱ(数学B)	97.2	97.2	97.2
数学Ⅲ(数学C)	68.0	48.1	58.2
工業数理	0.5	0.1	0.3
物理	62.0	31.1	46.9
化学	80.9	68.2	74.7
生物	49.7	70.4	59.9
地学	8.8	10.1	9.5
総合理科	36.4	47.1	41.6
日本史	38.9	47.2	43.0
世界史	64.8	67.4	66.1
地理	53.6	46.5	50.1
現代社会	55.5	64.7	60.0
倫理	34.6	39.3	36.9
政治・経済	40.2	43.1	41.6
情報A	56.7	65.1	60.8
情報B	6.4	5.4	5.9
情報C	9.4	5.3	7.4

問11 授業出席状況

項目	男	女	合計
すべて出席	48.4	51.3	49.8
ほとんど出席	47.2	47.2	47.2
半分くらい出席	2.1	1.1	1.6
ほとんど出席していない	1.3	0.4	0.9
まったく出席していない	0.9	0.0	0.5

問12 授業欠席理由

項目	男	女	合計
欠席なし	39.6	39.9	39.7
病気・けが	20.3	27.1	23.6
遊び	1.5	0.8	1.2
寝坊	30.6	26.1	28.4
サークル活動	3.6	3.3	3.5
アルバイト	0.9	0.3	0.6
関心事の追求	5.1	2.9	4.0
勉強意欲がわからない	5.5	2.9	4.2
授業がつまらない	7.4	3.5	5.4
ただ何となく	5.1	3.2	4.2
その他	7.1	9.2	8.1

問13 授業の内容に満足しているか

項目	男	女	合計
非常に満足	17.5	15.1	16.3
まあまあ満足	66.4	76.7	71.5
あまり満足していない	14.2	7.8	11.0
全く満足していない	1.9	0.4	1.2

問14 授業に満足できない理由

項目	男	女	合計
難しすぎる	18.7	14.2	16.5
やさしすぎる	6.4	3.3	4.9
興味関心がない	32.8	37.2	34.9
受講したい科目が少ない	17.6	24.7	21.1
役に立たない科目が多い	9.5	8.3	8.9
受講者が多すぎる	13.5	15.6	14.5
必須科目が多すぎる	12.7	11.5	12.1
単位取得や科目選択の制限	22.5	27.2	24.8
施設・設備が不十分	11.6	11.0	11.3
学び方がわからない	11.8	11.5	11.6
その他	7.5	7.5	7.5

問15 難しすぎる科目はあるか

項目	男	女	合計
ない	55.5	54.7	55.1
ある	44.5	45.3	44.9

問15 難しすぎる科目数

項目	男	女	合計
平均	2.8	2.5	2.7
人数	330	323	653

問15 難しすぎる科目への希望

項目	男	女	合計
基礎参考書を示す	9.4	8.8	9.1
基礎から説明	30.3	33.8	32.0
例題や演習を増やす	19.4	12.6	16.1
社会での必要性を示す	2.3	4.3	3.3
勉強の仕方を教える	14.2	18.2	16.1
基礎科目を増やす	3.7	4.2	4.0
オフィスアワーを増やす	1.2	1.8	1.5
その他	2.5	1.4	2.0

問16 教員と話をするか

項目	男	女	合計
よくある	7.4	9.3	8.3
ときどきある	25.1	30.7	27.9
あまりない	39.6	34.6	37.1
まったくない	27.9	25.4	26.7

問17 ふだんの学習研究時間(時間)

項目	男	女	合計
平均	1.6	1.6	1.6
人数	748	720	1468

問18 図書館の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	2.9	1.1	2.0
週に3、4回	6.1	5.1	5.7
週に1、2回	14.0	15.4	14.7
月に1、2回	23.7	29.6	26.6
ほとんど利用しない	35.0	39.0	37.0
全く利用しない	18.2	9.7	14.0

問19 図書館の利用目的

項目	男	女	合計
勉強・研究	50.3	51.4	50.8
調べもの	56.6	70.3	63.3
予習・復習	22.9	30.4	26.6
新聞や雑誌を読む	13.6	11.8	12.7
読書	11.5	14.3	12.9
パソコン利用	9.2	10.0	9.6
資料の依頼	4.0	4.9	4.4
その他	1.7	0.6	1.2

問20 図書館の利用で困ったこと

項目	男	女	合計
騒がしい	7.0	6.5	6.7
土日を含め24時間利用できない	52.8	57.4	55.0
本の数と種類が少ない	27.7	31.8	29.7
新聞や雑誌の種類が少ない	5.7	7.1	6.4
資料の取り寄せにお金がかかる	8.2	13.2	10.6
その他	4.9	7.8	6.3

問21 パソコン室の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	3.5	1.7	2.6
週に3、4回	4.8	2.9	3.9
週に1、2回	16.6	14.3	15.5
月に1、2回	21.3	23.8	22.5
ほとんど利用しない	38.5	45.1	41.8
まったく利用しない	15.4	12.2	13.8

問22 パソコン室及び無線LANの利用で困ったこと

項目	男	女	合計
困ったことはない	43.4	41.8	42.6
パソコンの数が少ない	8.0	9.4	8.7
紙などが散乱して汚い	5.2	7.2	6.2
騒がしい	7.2	7.1	7.2
土日曜日を含め24時間利用	25.8	32.1	28.9
ソフトの種類が少ない	3.7	2.2	3.0
持ち込みパソコンが利用できない	4.9	5.7	5.3
その他	15.5	13.1	14.3

問23 パソコン室の利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	40.1	40.8	40.5
研究	17.6	18.8	18.2
レポート作成	54.9	61.3	58.0
パソコンの使い方を学ぶ	3.3	3.9	3.6
メールのやりとり	8.7	8.3	8.5
ホームページを見る	16.7	13.6	15.2
ゲームをする	0.9	0.0	0.5
チャット利用	0.0	0.3	0.1
本学の情報を確かめる	19.9	17.4	18.7
電子ジャーナル	2.8	3.1	2.9
その他	5.6	5.8	5.7

問24 自分用パソコンの有無

項目	男	女	合計
持っている	98.3	99.0	98.6
持っていない	1.7	1.0	1.4

問24 自分用パソコンの利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	59.9	60.2	60.0
研究	32.0	33.4	32.7
レポート作成	89.3	95.9	92.5
パソコンの使い方を学ぶ	13.7	7.9	10.8
メールのやりとり	40.5	47.3	43.9
ホームページを見る	73.5	81.6	77.5
ゲーム	35.6	20.1	28.0
チャット利用	10.7	8.4	9.6
プログラム開発	5.7	1.0	3.4
自分用ホームページの作成	2.3	2.8	2.6
音楽ソフト等をダウンロード	28.7	29.7	29.2
自宅から大学情報の取得	33.7	32.5	33.1
電子ジャーナル	8.6	7.2	7.9
その他	4.1	2.4	3.2

問24 インターネットの接続状況

項目	男	女	合計
接続している	96.7	95.5	96.1
接続していない	3.3	4.5	3.9

問25 授業・研究のためのインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	9.0	6.9	8.0
15分未満	13.5	12.2	12.9
15分以上30分未満	12.7	13.3	13.0
30分以上1時間未満	24.9	24.4	24.7
1時間以上2時間未満	26.9	26.0	26.4
2時間以上3時間未満	8.0	10.4	9.2
3時間以上5時間未満	2.9	4.2	3.5
5時間以上	2.1	2.5	2.3

問26 授業・研究以外のインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	1.5	1.7	1.6
15分未満	2.3	3.2	2.7
15分以上30分未満	4.4	3.6	4.0
30分以上1時間未満	12.7	13.5	13.1
1時間以上2時間未満	29.1	29.4	29.3
2時間以上3時間未満	23.5	28.1	25.7
3時間以上5時間未満	15.4	14.6	15.0
5時間以上	11.1	6.0	8.6

問27 学生用掲示板でよく利用する案内

項目	男	女	合計
まったく見ない	33.4	29.0	31.3
休講通知	53.6	53.8	53.7
呼び出しの確認	48.5	51.0	49.7
単位取得の確認	31.0	31.5	31.3
講演案内	16.6	16.1	16.3
求人案内	8.4	12.9	10.6
奨学金案内	20.2	22.8	21.5
留学案内	2.0	1.5	1.8
その他	0.5	0.6	0.5

問28 海外留学について

項目	男	女	合計
考えていない	77.7	71.1	74.5
留学してみたい	22.3	28.9	25.5

問28 海外留学してみたい理由

項目	男	女	合計
外国人と友達になりたい	32.3	35.1	33.9
外国語で自由に話したい	70.1	77.4	74.1
海外で生活・就職してみたい	46.7	50.0	48.5
その他	9.6	6.7	8.0

問29 卒業後の進路

項目	男	女	合計
就職	74.6	87.8	81.1
本学の大学院へ進学	7.2	2.9	5.1
国内の他大学院へ進学	8.7	3.8	6.3
海外の大学・大学院へ進学	0.7	0.0	0.3
専門学校へ進学	0.1	0.0	0.1
まだ考えていない	7.5	4.4	6.0
その他	1.2	1.1	1.2

問29 大学院進学理由

項目	男	女	合計
もっと勉強したい	68.5	77.1	70.9
学問・研究の道を希望	61.3	64.6	62.2
高学歴を得たい	54.0	35.4	48.8
就職や資格取得に有利	44.4	33.3	41.3
希望の職に就けなかった	0.8	2.1	1.2
まだ就職したくない	13.7	8.3	12.2
友人が進学	0.0	0.0	0.0
その他	1.6	2.1	1.7

問30 将来の第一希望

項目	男	女	合計
民間企業	24.6	28.1	26.3
公務員・公的機関	26.6	23.2	24.9
教育職	10.2	13.2	11.6
研究職	10.2	3.9	7.1
専門職	25.1	30.1	27.6
家業	1.1	0.0	0.5
自分で起業	1.3	0.1	0.7
フリーター	0.1	0.1	0.1
その他	0.8	1.3	1.0

問31 大都市で働いてみたいか

項目	男	女	合計
強く思う	14.7	8.5	11.6
少し思う	32.4	34.2	33.2
あまり思わない	36.6	36.1	36.4
まったく思わない	16.3	21.3	18.7

問32 大都市に就職後出身地に帰りたいか

項目	男	女	合計
強く思う	40.2	45.8	43.0
少し思う	39.0	36.0	37.5
あまり思わない	14.7	14.6	14.6
まったく思わない	6.0	3.6	4.8

問33 職業を選択する際に重視すること

項目	男	女	合計
知識技能が活かせる	63.4	61.4	62.4
独創性や創造性を発揮	22.2	15.1	18.7
十分な収入	66.0	65.6	65.8
安定した生活	72.1	77.5	74.7
社会的な地位・名声	16.2	8.8	12.5
華やかな活躍	6.7	4.7	5.7
人や組織を動かす	6.6	4.0	5.3
自由な活動	25.0	19.3	22.2
人助けや社会奉仕	31.3	41.0	36.0
自分の時間を作れる	43.3	43.3	43.3
好きなことを仕事にできる	43.3	47.6	45.4
転職がない	12.7	14.6	13.6
家業を継ぐ	1.7	0.4	1.1
就職したい地域	25.4	34.3	29.8
その他	0.8	1.4	1.1

問34 就職や進学で教員や大学に希望すること

項目	男	女	合計
積極的な対策	30.5	32.8	31.6
就職先の開拓	26.2	29.2	27.7
教員が人材育成に積極的	20.6	18.2	19.4
教員が積極的に助言、指導、斡旋	25.7	28.6	27.1
希望はない	37.8	33.6	35.8
その他	1.5	1.9	1.7

問35 学生就職支援センターの利用

項目	男	女	合計
利用した	13.4	19.0	16.1
今後利用したい	43.3	39.3	41.3
利用しない	23.8	22.8	23.3
存在を知らない	15.5	12.9	14.2
場所を知らない	4.0	6.0	5.0

問36 学内のクラブやサークルに所属

項目	男	女	合計
所属している	76.3	78.9	77.6
所属していない	23.7	21.1	22.4

問36 学内のクラブやサークルに入ってよかったこと

項目	男	女	合計
教養・技能が身についた	36.8	34.7	35.7
友人ができた	83.5	85.7	84.6
健康維持に役立っている	31.0	21.0	26.0
人の接し方を学べた	39.6	44.2	41.9
積極性が出てきた	31.7	34.5	33.1
責任感や協調性が身についた	42.0	43.1	42.6
楽しく過ごせている	64.1	65.1	64.6
その他	1.6	1.1	1.3

問36 学内のクラブやサークルの施設や支援

項目	男	女	合計
満足している	76.4	77.5	76.9
満足していない	23.6	22.5	23.1

問37 学外のクラブやサークルに所属

項目	男	女	合計
所属している	6.0	5.6	5.8
所属していない	94.0	94.4	94.2

問37 学外のクラブやサークルに入ってよかったこと

項目	男	女	合計
教養・技能が身についた	44.4	62.5	52.9
友人ができた	60.0	60.0	60.0
健康維持に役立っている	22.2	22.5	22.4
人との接し方を学べた	33.3	57.5	44.7
積極性が出てきた	26.7	42.5	34.1
責任感や協調性が身についた	28.9	52.5	40.0
楽しく過ごせている	53.3	62.5	57.6
その他	4.4	0.0	2.4

問38 学内の友達

項目	男	女	合計
平均	24.9	28.9	26.9
人数	742	720	1462

問38 学内の友達で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	7.7	6.8	7.3
人数	742	720	1462

問38 学外の友達

項目	男	女	合計
平均	34.2	33.1	33.6
人数	742	720	1462

問38 学外の友達で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	9.3	6.4	7.9
人数	742	720	1462

問39 大切にしている人間関係

項目	男	女	合計
クラス・研究室・ゼミ	64.7	79.7	72.1
クラブやサークル	62.3	66.8	64.5
寮・下宿	11.4	14.4	12.9
入学後に親しくなった人	29.3	31.8	30.5
大学の教員	15.1	20.1	17.6
高校以来の友達	61.4	75.6	68.3
中学校以前からの友達	46.7	61.0	53.7
特になし	4.8	1.7	3.3
その他	1.2	1.9	1.6

問40 学内で留学生と話すことがあるか

項目	男	女	合計
よくある	5.2	4.2	4.7
ときどきある	8.7	10.8	9.7
ほとんどない	16.2	18.6	17.4
まったくない	69.9	66.4	68.2

問41 友人関係はうまくいっているか

項目	男	女	合計
うまくいっている	28.2	34.7	31.4
だいたいうまくいっている	60.4	56.8	58.7
あまりうまくいっていない	8.7	7.5	8.1
まったくうまくいっていない	2.7	1.0	1.8

問42 興味や関心を持っていること

項目	男	女	合計
政治・社会問題	35.3	21.7	28.6
授業・勉強・研究	60.0	61.0	60.5
友人関係や恋愛	44.7	57.5	51.0
家族・家庭のこと	27.9	44.9	36.2
趣味・遊び	72.7	72.6	72.7
スポーツ	43.7	23.2	33.7
進路	46.7	48.8	47.7
アルバイト	31.6	45.3	38.3
芸能関係	7.9	16.7	12.2
音楽・文芸・芸術	33.6	52.8	43.0
ボランティア	11.8	13.6	12.7
旅行・留学	23.4	36.0	29.6
その他	0.5	0.4	0.5

問43 平日授業の空き時間を過ごす場所

項目	男	女	合計
研究室や実習・実験室	15.4	21.9	18.6
空き教室	31.3	36.5	33.9
クラブ・サークルの部室	8.8	7.4	8.1
生協の店舗	34.2	40.0	37.1
図書館	21.4	22.5	21.9
大学会館	2.8	3.9	3.3
キャンパスの庭	2.1	1.8	2.0
学生ホール	6.8	12.5	9.6
学外	39.8	31.8	35.9
その他	8.3	6.3	7.3

問44 新聞をどのくらい読むか

項目	男	女	合計
毎日読む	8.6	6.0	7.3
週に5～6日	4.1	2.6	3.4
週に3～4日	4.7	4.6	4.6
週に1～2日	13.4	12.5	12.9
読まない	69.3	74.3	71.7

問44 新聞を一日に読む時間

項目	男	女	合計
5分未満	6.1	8.1	7.0
5分以上10分未満	27.0	31.9	29.2
10分以上30分未満	39.1	40.5	39.8
30分以上1時間未満	21.3	15.1	18.6
1時間以上2時間未満	6.5	3.8	5.3
2時間以上	0.0	0.5	0.2

問45 テレビのニュースをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	43.7	45.7	44.7
週に5～6日	9.6	11.5	10.6
週に3～4日	11.6	15.1	13.4
週に1～2日	13.5	12.2	12.9
見ない	21.5	15.4	18.5

問45 テレビのニュースを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	4.1	2.5	3.3
5分以上10分未満	10.4	11.3	10.9
10分以上30分未満	34.1	34.5	34.3
30分以上1時間未満	35.8	37.1	36.5
1時間以上2時間未満	13.5	12.0	12.7
2時間以上	2.2	2.6	2.4

問46 パソコンのニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	30.6	16.5	23.7
週に5～6日	6.8	5.7	6.3
週に3～4日	10.7	9.2	9.9
週に1～2日	17.9	19.9	18.9
見ない	34.0	48.8	41.2

問46 パソコンのニュースサイトを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	12.6	14.9	13.6
5分以上10分未満	26.9	36.0	30.8
10分以上30分未満	32.6	33.9	33.1
30分以上1時間未満	21.3	13.6	18.0
1時間以上2時間未満	5.1	1.4	3.5
2時間以上	1.6	0.3	1.0

問47 携帯電話のニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	30.6	23.6	27.2
週に5～6日	6.1	5.8	6.0
週に3～4日	8.0	8.6	8.3
週に1～2日	11.1	16.1	13.6
見ない	44.1	45.8	45.0

問47 携帯電話のニュースサイトを一日見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	11.2	16.9	14.0
5分以上10分未満	27.0	38.5	32.5
10分以上30分未満	36.4	30.3	33.4
30分以上1時間未満	19.9	12.8	16.5
1時間以上2時間未満	4.3	1.5	3.0
2時間以上	1.2	0.0	0.6

問48 関心を持っているニュース

項目	男	女	合計
トップニュース	73.6	81.0	77.3
社会面	53.4	52.5	53.0
政治面	39.3	27.8	33.6
経済面	32.4	16.7	24.6
国際面	30.8	24.6	27.7
文化面	23.0	29.8	26.4
家庭面	6.8	12.7	9.7
科学面	31.5	17.7	24.7
スポーツ面	45.3	21.0	33.2
地域・地方面	22.6	25.9	24.2
テレビ番組表	14.1	22.4	18.2

問49 SNSをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	64.2	80.4	72.1
週に5～6日	7.0	3.1	5.0
週に3～4日	3.9	2.9	3.4
週に1～2日	5.5	2.1	3.8
見ない	19.5	11.5	15.6

問49 SNSを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	8.0	2.8	5.3
5分以上10分未満	14.8	8.0	11.3
10分以上30分未満	25.7	19.5	22.5
30分以上1時間未満	25.2	28.7	27.0
1時間以上2時間未満	16.1	23.7	20.0
2時間以上	10.1	17.3	13.8

問49 参加している SNS

項目	男	女	合計
Twitter	60.8	73.3	67.2
Facebook	33.9	42.1	38.1
Mixi	4.2	5.5	4.8
LINE	90.9	94.5	92.7
その他	1.5	1.3	1.4

問49 SNS でトラブルに遭遇したことがあるか

項目	男	女	合計
ある	5.8	7.2	6.5
ない	94.2	92.8	93.5

問49 SNS でのトラブル内容

項目	男	女	合計
人間関係	65.7	71.7	69.1
金銭面	8.6	10.9	9.9
その他	25.7	17.4	21.0

問50 授業課題本以外で読む本の数

項目	男	女	合計
本は読まない	29.3	26.4	27.9
1冊以下	9.9	15.6	12.7
1冊程度	29.1	32.8	30.9
2ないし3冊	20.1	16.5	18.3
4冊以上	11.6	8.8	10.2

問51 インターネットでのトラブル

項目	男	女	合計
はい	11.9	6.9	9.5
いいえ	88.1	93.1	90.5

問51 インターネットでのトラブル内容

項目	男	女	合計
ウイルスやワームに感染した	29.2	26.0	28.1
迷惑メールを受信した	60.7	74.0	65.5
メールやホームページ上での嫌がらせ	3.4	18.0	8.6
掲示板等が荒らされた	3.4	4.0	3.6
架空請求された	47.2	34.0	42.4
詐欺にあった	3.4	2.0	2.9
アカウントを不正利用された	5.6	8.0	6.5
自分のファイルを見られた	0.0	2.0	0.7
実際に会おうとしつこく誘われた	6.7	20.0	11.5
商品等の購入でしつこく勧誘された	5.6	2.0	4.3
個人情報勝手に公開	2.2	14.0	6.5
その他	4.5	2.0	3.6

問52 通学時間(分)

項目	男	女	合計
平均	15.4	16.1	15.7
人数	748	720	1468

問53 通学方法

項目	男	女	合計
徒歩	59.2	60.4	59.8
自転車	75.3	78.9	77.0
バイク	1.9	0.7	1.3
自家用車	3.7	5.0	4.4
公共交通機関	8.7	10.6	9.6

問53 自転車の止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐輪スペース	99.1	99.5	99.3
構内の路上	0.4	0.4	0.4
構外	0.5	0.2	0.4

問53 駐輪スペースの設置状況

項目	男	女	合計
十分	34.6	26.6	30.6
不足だが困っていない	45.3	54.6	50.0
不足して困っている	20.1	18.8	19.5

問53 自転車にツーロックをしているか

項目	男	女	合計
はい	23.3	21.0	22.1
いいえ	76.7	79.0	77.9

問53 自家用車を止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐車場	32.1	33.3	32.8
構外の有料駐車場	50.0	47.2	48.4
その他	17.9	19.4	18.8

問53 駐車スペースの設置状況

項目	男	女	合計
十分	32.1	25.0	28.1
不足だが困っていない	32.1	19.4	25.0
不足して困っている	35.7	55.6	46.9

問54 朝食をとるか

項目	男	女	合計
毎日	50.7	55.4	53.0
5~6日	16.0	16.3	16.1
3~4日	13.5	14.0	13.8
1~2日	9.0	8.8	8.9
とらない	10.8	5.6	8.2

問55 睡眠時間

項目	男	女	合計
6時間以下	38.9	46.3	42.5
7~8時間	58.7	52.5	55.7
9時間以上	2.4	1.3	1.8

問55 睡眠状況

項目	男	女	合計
よい	69.7	68.6	69.1
わるい	30.3	31.4	30.9

問55 睡眠状況がわるい理由

項目	男	女	合計
寝つきが悪い	48.5	42.0	45.3
途中で目が覚める	20.3	22.6	21.4
昼夜逆転している	25.1	16.8	21.0
疲れがとれない	64.3	73.9	69.1
その他	6.2	8.8	7.5

問56 たばこを吸うか

項目	男	女	合計
吸っている	4.5	0.8	2.7
以前は吸っていた	2.8	0.8	1.8
吸っていない	92.6	98.3	95.4

問56 たばこ喫煙本数

項目	男	女	合計
平均	7.0	3.7	6.5
人数	34	6	40

問57 受動喫煙の機会

項目	男	女	合計
毎日	7.5	5.3	6.4
3～6日	13.5	12.1	12.8
1～2日	19.4	17.9	18.7
ほとんどない	39.3	43.9	41.6
まったくない	20.3	20.8	20.6

問58 飲酒の頻度

項目	男	女	合計
飲まない	38.2	41.1	39.6
週に1回以下	45.3	46.8	46.0
週に2～3回	12.4	10.8	11.6
週に4～5回	2.5	1.0	1.8
毎日	1.5	0.3	0.9

問59 健康のために心がけていること

項目	男	女	合計
スポーツをしている	40.9	21.8	31.5
体を動かすようにしている	42.1	40.3	41.2
自然・健康食品をとる	16.8	19.0	17.9
栄養バランスのとれた食事	35.0	41.4	38.1
栄養剤、栄養飲料	8.0	8.8	8.4
規則正しい生活	32.5	30.3	31.4
健康診断を受けている	7.5	5.7	6.6
体調をチェックする	23.1	25.7	24.4
特にない	16.7	19.4	18.1

問60 定期健康診断を受けたか

項目	男	女	合計
全部受けた	82.2	86.1	84.1
一部を受けた	7.4	3.9	5.7
受けなかった	10.4	10.0	10.2

問60 定期健康診断を受けなかった理由

項目	男	女	合計
知らなかった	12.8	12.5	12.7
忘れていた	29.5	29.2	29.3
授業があった	19.2	30.6	24.7
他の予定を優先した	15.4	16.7	16.0
受けるのが面倒	17.9	6.9	12.7
その他	5.1	4.2	4.7

問61 健康状態

項目	男	女	合計
良好	75.7	72.6	74.2
調子が悪い	19.7	22.4	21.0
病気だと思う	1.9	1.4	1.6
通院治療中	2.8	3.6	3.2

問62 自覚症状

項目	男	女	合計
自覚症状はない	34.9	24.2	29.6
疲れる	39.0	48.5	43.7
食欲がない	4.9	7.1	6.0
眠れない	13.5	14.9	14.2
頭痛がする	9.2	19.9	14.4
胃腸の調子が悪い	12.4	20.6	16.4
よく熱がある	0.4	1.5	1.0
便秘しやすい	5.1	23.1	13.9
下痢しやすい	14.2	12.6	13.4
イライラする	11.4	18.8	15.0
集中力の低下	23.9	30.4	27.1
無力感がある	20.9	27.4	24.0
憂鬱になる	18.2	24.4	21.3
その他	2.4	2.6	2.5

問63 悩んでいること

項目	男	女	合計
悩みはない	24.3	16.3	20.4
勉強・成績	39.7	43.1	41.3
卒業研究・論文	20.6	27.9	24.2
進路・就職	46.5	49.6	48.0
クラブ・サークル活動	14.8	20.1	17.4
人間関係	23.7	29.9	26.7
恋愛・結婚	18.3	19.0	18.7
自分自身の性格	28.6	34.9	31.7
健康上のこと	13.5	12.8	13.1
性的なこと	7.4	3.3	5.4
経済的なこと	20.1	21.3	20.6
家庭環境・家族	11.6	14.3	12.9
その他	0.9	0.7	0.8

問64 悩みの対処

項目	男	女	合計
自分自身で解決	51.1	38.6	45.0
誰かに相談	16.7	34.2	25.3
なりゆきにまかせる	31.1	27.2	29.2
その他	1.1	0.0	0.5

問65 悩みの相談相手

項目	男	女	合計
相談しない	36.0	20.8	28.5
相談する人がいない	3.9	2.6	3.3
友人	50.3	69.9	59.9
先輩あるいは後輩	13.9	15.1	14.5
家族	34.8	50.8	42.6
親戚	2.1	1.1	1.6
教員	4.1	5.7	4.9
事務職員	0.4	0.1	0.3
保健管理センター	0.5	0.3	0.4
なんでも相談窓口	0.5	0.6	0.5
その他	1.6	1.8	1.7

問66 保健管理センターやなんでも相談窓口を知っているか

項目	男	女	合計
知っている	51.3	57.6	54.4
知らなかった	48.7	42.4	45.6

問66 保健管理センターやなんでも相談窓口を知ったきっかけ

項目	男	女	合計
入学式の説明	53.1	49.9	51.4
学部学科のオリエンテーション	29.2	28.4	28.8
学生生活ガイド	35.9	33.3	34.5
ホケカン健康手帳	6.8	10.4	8.6
友達から	8.1	10.6	9.4
先生から	3.1	4.8	4.0
その他	3.9	2.9	3.4

問67 大学をやめたいと思ったこと

項目	男	女	合計
ない	84.4	83.5	83.9
ある	15.6	16.5	16.1

問67 大学をやめたい理由

項目	男	女	合計
学部、学科が合わない	32.5	34.5	33.5
自分の能力に合わない	24.8	34.5	29.7
授業がおもしろくない	41.9	30.3	36.0
進路変更	18.8	19.3	19.1
遊びたい	12.8	10.1	11.4
経済的理由	9.4	16.0	12.7
家庭の事情	5.1	6.7	5.9
日常生活の問題	13.7	16.0	14.8
恋愛・結婚問題	1.7	3.4	2.5
就職に不利	6.8	6.7	6.8
興味をなくした	31.6	31.9	31.8
他にやりたことを見つけた	9.4	10.1	9.7
学生との人間関係	18.8	26.1	22.5
教員との関係	5.1	10.9	8.1
単位を取れなかった	13.7	7.6	10.6
その他	7.7	4.2	5.9

問68 家計支持者の職業

項目	男	女	合計
民間企業	48.4	43.5	46.0
公務員・公的機関職員	17.1	21.4	19.2
教育職	6.3	6.3	6.3
研究職	0.7	0.7	0.7
専門職	7.6	9.3	8.4
農林漁業	4.1	2.4	3.3
自営業(自宅で)	4.3	5.3	4.8
自営業(自宅以外)	4.3	4.7	4.5
パート・アルバイト	3.9	3.5	3.7
無職・失業中	1.7	2.5	2.1
その他	1.6	0.6	1.1

問69 家計支持者の年収

項目	男	女	合計
100万円未満	4.4	4.6	4.5
100万円～200万円未満	10.2	9.6	9.9
200万円～400万円未満	23.3	23.3	23.3
400万円～600万円未満	24.7	24.0	24.4
600万円～800万円未満	15.0	13.2	14.1
800万円～1,000万円未満	8.7	6.5	7.6
1,000万円以上	5.6	4.6	5.1
その他	8.2	14.2	11.1

問70 生活費支出計(円)

項目	男	女	合計
平均	89,303	74,893	82,372
人数	588	545	1133

問70 食費(円)

項目	男	女	合計
平均	17,220	14,171	15,739
人数	586	553	1139

## 問70 住居費(円)

項目	男	女	合計
平均	27,143	28,342	27,717
人数	580	533	1113

## 問70 光熱水費(円)

項目	男	女	合計
平均	6,755	6,820	6,786
人数	570	524	1094

## 問70 娯楽費(円)

項目	男	女	合計
平均	9,696	9,153	9,434
人数	561	524	1085

## 問70 研究・勉学費(円)

項目	男	女	合計
平均	3,626	3,083	3,373
人数	513	447	960

## 問70 交通費(円)

項目	男	女	合計
平均	1,499	1,791	1,637
人数	489	439	928

## 問70 通信費(円)

項目	男	女	合計
平均	3,708	3,468	3,594
人数	515	465	980

## 問70 貯金(円)

項目	男	女	合計
平均	16,633	11,986	14,435
人数	488	438	926

## 問70 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	2,743	2,885	2,809
人数	431	369	800

## 問70 収入(円)

項目	男	女	合計
平均	92,686	76,024	84,646
人数	564	526	1090

## 問70 実家から(円)

項目	男	女	合計
平均	41,145	43,129	42,102
人数	526	490	1016

## 問70 奨学金(円)

項目	男	女	合計
平均	40,536	36,801	38,761
人数	486	440	926

## 問70 アルバイト(円)

項目	男	女	合計
平均	34,939	16,106	25,900
人数	454	419	873

## 問70 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	2,372	1,233	1,848
人数	368	313	681

## 問71 預貯金はあるか

項目	男	女	合計
ある	58.4	67.5	62.9
ない	41.6	32.5	37.1

## 問71 預貯金の金額(円)

項目	男	女	合計
平均	3,201,853	285,204	1,708,850
人数	390	409	799

## 問72 クレジットやローンの残額があるか

項目	男	女	合計
ある	27.5	32.2	29.8
ない	72.5	67.8	70.2

## 問72 奨学金の返済額(円)

項目	男	女	合計
平均	3,054,426	2,683,786	2,868,065
人数	177	179	356

## 問72 奨学金を除いたクレジットやローンの返済額(円)

項目	男	女	合計
平均	14,280	53,879	34,427
人数	168	174	342

## 問73 アルバイトをしているか

項目	男	女	合計
している	30.6	42.8	36.6
していない	69.4	57.2	63.4

## 問73 何日アルバイトをしているか

項目	男	女	合計
1～3日	63.8	61.7	62.6
4～6日	19.7	18.5	19.0
毎日	1.3	0.6	0.9
不定期	15.3	19.2	17.5

問73 一日のアルバイトの時間

項目	男	女	合計
決まっている	72.9	73.4	73.2
決まっていない	27.1	26.6	26.8

問73 一日のアルバイトの時間(時間)

項目	男	女	合計
平均	5.3	4.4	4.7
人数	160	223	383

問73 アルバイトの目的

項目	男	女	合計
経済的負担を軽減	44.5	43.5	43.9
遊びやつきあいのお金	46.7	54.9	51.4
自由に使えるお金が欲しい	65.9	71.1	68.9
社会経験	48.0	57.1	53.3
将来の仕事を経験	13.1	11.4	12.1
経済的に自立したい	35.4	36.0	35.8
貯金をしたい	41.0	48.4	45.3
みんながしている	3.9	4.9	4.5
その他	3.5	1.9	2.6

問74 授業料の出所

項目	男	女	合計
親	67.9	71.4	69.6
親戚	0.8	0.6	0.7
奨学金	21.5	19.9	20.7
アルバイト	0.8	0.3	0.5
免除されている	7.8	7.2	7.5
その他	1.2	0.7	1.0

問75 奨学金の申し込みをしたことがあるか

項目	男	女	合計
日本学生支援機構から	56.7	56.7	56.7
その他の奨学金から	9.8	10.4	10.1
奨学金を受けていない	38.1	38.2	38.1

問75 奨学金を受けているか

項目	男	女	合計
日本学生支援機構から	53.5	52.2	52.9
その他の奨学金から	9.4	7.6	8.5
奨学金を受けていない	40.4	43.1	41.7

問75 今年度の授業料免除の申し込みをしたか

項目	男	女	合計
はい	19.9	17.2	18.6
いいえ	80.1	82.8	81.4

問75 今年度の授業料免除を受けているか

項目	男	女	合計
はい	15.0	12.9	14.0
いいえ	85.0	87.1	86.0

問76 現住所の居住形態

項目	男	女	合計
実家	22.7	24.6	23.6
下宿	11.5	8.1	9.8
アパート	60.4	59.4	59.9
学生寮	4.5	6.8	5.7
その他	0.8	1.1	1.0

問76 下宿・アパートの広さ

項目	男	女	合計
6畳未満(バス・トイレなし)	3.2	2.5	2.8
6畳未満(バス・トイレ付)	6.9	6.0	6.4
6畳～12畳未満(バス・トイレなし)	9.7	7.6	8.7
6畳～12畳未満(バス・トイレ付)	73.6	78.0	75.7
12畳以上	6.7	5.8	6.3
その他	0.0	0.2	0.1

問76 下宿・アパートの同居人

項目	男	女	合計
いない	95.5	93.4	94.5
家族・親戚	2.0	2.5	2.2
友人・知人	2.4	4.1	3.2

問76 学生寮に住まない理由

項目	男	女	合計
集団生活がいや	24.7	26.5	25.6
部屋が古く狭い	9.5	5.1	7.4
設備が悪い	5.0	3.3	4.2
相部屋である	19.1	26.1	22.5
規則等に縛られる	15.1	14.8	14.9
自分の時間が持てない	16.5	15.4	16.0
その他	10.0	8.4	9.3

問76 学生寮に住む理由

項目	男	女	合計
経済的理由	76.5	81.6	79.5
集団生活が楽しめる	0.0	2.0	1.2
友人・知人が得られる	0.0	4.1	2.4
食事が出る	17.6	4.1	9.6
先輩・知人に勧められて	0.0	0.0	0.0
親・家族に勧められて	5.9	8.2	7.2
その他	0.0	0.0	0.0

問 77 所有しているもの

項目	男	女	合計
テレビ	76.6	77.9	77.2
ビデオ	10.8	7.2	9.1
ブルーレイ・HDD レコーダー	29.0	35.4	32.2
オーディオ機器	36.4	35.0	35.7
ゲーム機	55.7	30.3	43.3
冷蔵庫	74.3	84.0	79.1
洗濯機	68.6	77.2	72.8
クーラー・エアコン	57.5	64.7	61.0
加入電話	9.2	13.3	11.2
携帯・PHS	20.2	21.5	20.8
スマートフォン	82.4	82.5	82.4
パソコン	89.7	95.1	92.4
タブレット	12.6	8.6	10.6
プリンター	71.1	82.4	76.6
自転車	82.1	85.7	83.9
バイク	2.8	1.3	2.0
自動車	16.0	14.2	15.1

## 附属統計表（大学院学生男女比率）

問1 性別

男		女		合計
139	73.5%	50	26.5%	189

問2 年齢

項目	男	女	合計
平均	27.7	29.0	28.0
人数	137	49	186

問3 所属研究科(修士課程・博士前期課程)

項目	男	女	合計
人文社会科学研究科	2.2	12.0	4.8
教育学研究科	5.0	2.0	4.2
保健学研究科	5.0	4.0	4.8
理工学研究科	45.3	16.0	37.6
農学生命科学研究科	5.8	14.0	7.9

問3 所属研究科(博士課程・博士後期課程)

項目	男	女	合計
医学研究科	29.5	32.0	30.2
保健学研究科	0.7	6.0	2.1
理工学研究科	4.3	8.0	5.3
地域社会研究科	2.2	6.0	3.2

問4 学年(修士課程・博士前期課程)

項目	男	女	合計
1年	33.8	34.0	33.9
2年	30.2	16.0	26.5

問4 学年(医学研究科博士課程)

項目	男	女	合計
1年	1.4	8.0	3.2
2年	8.6	6.0	7.9
3年	12.2	6.0	10.6
4年	5.8	14.0	7.9

問4 学年(博士後期課程・後期3年博士課程)

項目	男	女	合計
1年	0.0	8.0	2.1
2年	4.3	0.0	3.2
3年	3.6	8.0	4.8

問5 出身大学

項目	男	女	合計
弘前大学	71.9	70.0	71.4
他大学(日本)	16.5	16.0	16.4
他大学(海外)	7.9	10.0	8.5
短期大学	0.7	4.0	1.6
専門学校	2.9	0.0	2.1

問6 大学や短期大学・専門学校卒業からの年数(年)

項目	男	女	合計
平均	2.9	4.0	3.2
人数	131	47	178

問7 実家の所在地

項目	男	女	合計
北海道	23.7	6.0	19.0
青森県	35.3	46.0	38.1
岩手県	2.9	0.0	2.1
秋田県	5.0	6.0	5.3
宮城県	2.9	0.0	2.1
山形県	1.4	2.0	1.6
福島県	0.7	0.0	0.5
関東	12.9	14.0	13.2
甲信越	2.2	2.0	2.1
北陸	0.0	0.0	0.0
東海	2.2	4.0	2.6
近畿	0.7	6.0	2.1
中国	2.2	2.0	2.1
四国	0.0	0.0	0.0
九州	1.4	2.0	1.6
沖縄	0.0	0.0	0.0
海外	6.5	10.0	7.4

問8 弘前大学大学院は第一志望か

項目	男	女	合計
はい	93.5	90.0	92.6
いいえ	6.5	10.0	7.4

問9 大学院進学理由

項目	男	女	合計
もっと勉強したい	45.3	50.0	46.6
より専門的な知識や技術を習得したい	71.2	72.0	71.4
将来、学問・研究の道に進みたい	31.7	26.0	30.2
就職や資格取得に有利	38.1	18.0	32.8
より高い学歴を得たい	28.8	18.0	25.9
現職教員として授業を改善・向上させたい	8.6	10.0	9.0
まだ自由な学生生活を楽しまない	18.7	6.0	15.3
まだスポーツや文化活動を続けたい	6.5	2.0	5.3
友人が進学	1.4	0.0	1.1
親など周囲の人に勧められた	5.8	14.0	7.9
まだ就職しなかった	14.4	12.0	13.8
希望する職に就けなかった	4.3	4.0	4.2
その他	3.6	2.0	3.2

問10 弘前大学大学院を選んだ理由

項目	男	女	合計
弘前大学に所属していた	71.2	62.0	68.8
自分の志望する専攻分野があった	33.8	36.0	34.4
大学の特色・学風に惹かれた	5.8	4.0	5.3
自分の能力・学力にあった	18.0	10.0	15.9
大学の施設・設備がよかった	6.5	4.0	5.8
指導を受けたい教員がいた	35.3	44.0	37.6
国立大学だから	27.3	18.0	24.9
実家に近かった	12.2	24.0	15.3
将来就職に有利	7.2	2.0	5.8
経済的負担が軽い	10.8	14.0	11.6
親など周囲の人に勧められた	2.9	6.0	3.7
指導教員の勧めがあった	10.8	16.0	12.2
良い評判を聞いた	6.5	4.0	5.8
継続した勉強や研究ができる	22.3	22.0	22.2
学生支援が充実している	3.6	2.0	3.2
実践と研究の両面を進めることができる	6.5	6.0	6.3
その他	4.3	4.0	4.2

問11 他大学の大学院の受験

項目	男	女	合計
受験した	3.6	4.0	3.7
受験しなかった	96.4	96.0	96.3

問11 他大学の大学院の受験した理由

項目	男	女	合計
自分の志望する専攻分野があった	100.0	100.0	100.0
大学の特色・学風に惹かれた	60.0	50.0	57.1
自分の能力・学力にあった	40.0	50.0	42.9
大学の施設・設備がよかった	80.0	50.0	71.4
指導を受けたい教員がいた	60.0	0.0	42.9
国立大学だから	80.0	0.0	57.1
実家に近かった	20.0	0.0	14.3
将来就職に有利	60.0	50.0	57.1
経済的負担が軽い	20.0	0.0	14.3
親など周囲の人に勧められた	0.0	0.0	0.0
指導教員の勧めがあった	0.0	0.0	0.0
良い評判を聞いた	20.0	50.0	28.6
継続した勉強や研究ができる	0.0	50.0	14.3
学生支援が充実している	0.0	0.0	0.0
1つだけでは不安	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

問12 授業に満足しているか

項目	男	女	合計
非常に満足している	28.1	26.0	27.5
まあまあ満足している	60.4	60.0	60.3
あまり満足していない	7.9	8.0	7.9
全く満足していない	3.6	6.0	4.2

問13 授業に満足できない理由

項目	男	女	合計
難しすぎる	7.9	4.0	6.9
やさしすぎる	5.0	2.0	4.2
興味・関心がない	20.1	12.0	18.0
受講したい科目が少ない	20.9	26.0	22.2
将来役に立たない科目が多い	9.4	2.0	7.4
受講者が多すぎる	0.7	0.0	0.5
必須科目が多すぎる	14.4	16.0	14.8
単位取得や科目選択が制限	10.1	16.0	11.6
施設・設備が不十分	6.5	10.0	7.4
教員の教え方になじめない	4.3	6.0	4.8
教員の熱意や工夫が足りない	5.8	4.0	5.3
資料の収集方法がわからない	4.3	14.0	6.9
実験等のやり方に不安がある	7.9	8.0	7.9
その他	8.6	8.0	8.5

問14 教員と話をするか

項目	男	女	合計
よくある	51.8	52.0	51.9
ときどきある	38.8	36.0	38.1
あまりない	7.9	8.0	7.9
まったくない	1.4	4.0	2.1

問15 ふだんの学習研究時間(時間)

項目	男	女	合計
平均	4.9	4.5	4.7
人数	139	50	189

問16 図書館の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	1.4	0.0	1.1
週に3、4回	0.0	0.0	0.0
週に1、2回	3.6	10.0	5.3
月に1、2回	18.7	20.0	19.0
ほとんど利用しない	45.3	42.0	44.4
全く利用しない	30.9	28.0	30.2

問17 図書館の利用目的

項目	男	女	合計
勉強・研究	61.5	63.9	62.1
調べもの	79.2	77.8	78.8
予習・復習	7.3	5.6	6.8
新聞や雑誌を読む	8.3	11.1	9.1
読書	5.2	8.3	6.1
パソコン利用	2.1	8.3	3.8
資料の依頼	10.4	22.2	13.6
その他	2.1	2.8	2.3

問18 図書館の利用で困ったこと

項目	男	女	合計
騒がしい	3.1	5.6	3.8
土日曜日を含め 24 時間利用できない	47.9	55.6	50.0
本の数と種類が少ない	35.4	38.9	36.4
新聞や雑誌の種類が少ない	12.5	11.1	12.1
資料の取り寄せにお金がかかる	16.7	19.4	17.4
その他	5.2	13.9	7.6

問19 パソコン室の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	2.2	2.0	2.1
週に 3、4 回	2.2	2.0	2.1
週に 1、2 回	2.2	2.0	2.1
月に 1、2 回	2.9	0.0	2.1
ほとんど利用しない	32.4	18.0	28.6
まったく利用しない	58.3	76.0	63.0

問20 パソコン室及び無線 LAN の利用で困ったこと

項目	男	女	合計
困ったことはない	40.3	36.0	39.2
パソコンの数が少ない	1.4	0.0	1.1
紙などが散乱して汚い	5.0	0.0	3.7
騒がしい	0.7	2.0	1.1
土日曜日を含め 24 時間利用できない	7.2	8.0	7.4
ソフトの種類が少ない	2.2	0.0	1.6
持ち込みパソコンが利用できない	2.2	6.0	3.2
その他	9.4	10.0	9.5

問21 パソコンの利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	15.1	22.0	16.9
研究	44.6	40.0	43.4
レポート作成	28.8	32.0	29.6
先行研究の検索	15.8	26.0	18.5
パソコンの使い方を学ぶ	1.4	0.0	1.1
メールのやりとり	19.4	24.0	20.6
ホームページを見る	17.3	22.0	18.5
ゲーム	1.4	0.0	1.1
チャット利用	0.7	0.0	0.5
本学の案内を確かめる	7.9	14.0	9.5
その他	3.6	0.0	2.6

問22 自分用パソコンの有無

項目	男	女	合計
持っている	94.2	88.0	92.6
持っていない	5.8	12.0	7.4

問22 自分用パソコンの利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	40.5	40.9	40.6
研究	76.3	68.2	74.3
レポート作成	75.6	77.3	76.0
パソコンの使い方を学ぶ	9.9	2.3	8.0
メールのやりとり	67.2	65.9	66.9
ホームページを見る	75.6	77.3	76.0
ゲーム	31.3	13.6	26.9
チャット利用	18.3	9.1	16.0
プログラム開発を行う	5.3	0.0	4.0
ホームページ作成	3.1	4.5	3.4
音楽ソフト等をダウンロード	28.2	15.9	25.1
自宅から大学情報の取得	28.2	25.0	27.4
その他	0.8	2.3	1.1

問22 インターネットの接続状況

項目	男	女	合計
接続している	93.9	90.9	93.1
接続していない	6.1	9.1	6.9

問23 授業・研究のためのインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	2.2	2.0	2.1
15 分未満	5.0	4.0	4.8
15 分以上 30 分未満	5.0	2.0	4.2
30 分以上 1 時間未満	16.5	16.0	16.4
1 時間以上 2 時間未満	24.5	24.0	24.3
2 時間以上 3 時間未満	18.7	18.0	18.5
3 時間以上 5 時間未満	18.0	20.0	18.5
5 時間以上	10.1	14.0	11.1

問24 授業・研究以外のインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	2.2	2.0	2.1
15 分未満	4.3	0.0	3.2
15 分以上 30 分未満	5.8	14.0	7.9
30 分以上 1 時間未満	12.9	14.0	13.2
1 時間以上 2 時間未満	26.6	30.0	27.5
2 時間以上 3 時間未満	18.0	22.0	19.0
3 時間以上 5 時間未満	17.3	12.0	15.9
5 時間以上	12.9	6.0	11.1

問25 学生用掲示板でよく利用する案内

項目	男	女	合計
まったく見ない	46.8	48.0	47.1
休講通知	32.4	32.0	32.3
呼び出しの確認	31.7	28.0	30.7
単位取得の確認	11.5	14.0	12.2
講演案内	12.2	20.0	14.3
求人案内	9.4	8.0	9.0
奨学金案内	23.0	26.0	23.8
留学案内	1.4	2.0	1.6
その他	1.4	0.0	1.1

問26 海外留学について

項目	男	女	合計
考えていない	67.6	54.0	64.0
留学してみたい	32.4	46.0	36.0

問26 海外留学してみたい理由

項目	男	女	合計
外国人と友達になりたい	17.8	21.7	19.1
外国語で自由に話したい	51.1	60.9	54.4
海外で生活・就職してみたい	62.2	60.9	61.8
その他	15.6	13.0	14.7

問27 修了後の進路

項目	男	女	合計
就職	79.1	70.0	76.7
本学博士課程へ進学	2.9	4.0	3.2
岩手連合大学院へ進学	0.0	0.0	0.0
国内他大学の大学院へ進学	0.7	4.0	1.6
海外大学院へ進学	1.4	0.0	1.1
専門学校へ進学	0.0	0.0	0.0
まだ考えていない	9.4	16.0	11.1
その他	6.5	6.0	6.3

問28 将来の第一希望

項目	男	女	合計
民間企業	34.5	22.0	31.2
公務員・公的機関	6.5	10.0	7.4
教育職	10.1	14.0	11.1
研究職	21.6	22.0	21.7
専門職	23.0	26.0	23.8
家業	0.0	2.0	0.5
自分で起業	2.2	0.0	1.6
フリーター	0.0	0.0	0.0
その他	2.2	4.0	2.6

問29 大都市で働いてみたいか

項目	男	女	合計
強く思う	25.9	16.0	31.7
少し思う	33.1	28.0	36.0
あまり思わない	29.5	30.0	26.5
まったく思わない	11.5	26.0	5.8

問30 大都市に就職後出身地へ帰りたいか

項目	男	女	合計
強く思う	31.7	32.0	31.7
少し思う	38.1	30.0	36.0
あまり思わない	23.7	34.0	26.5
まったく思わない	6.5	4.0	5.8

問31 職業を選択する際に重視するもの

項目	男	女	合計
知識や技能が活かせる	68.3	68.0	68.3
独創性や創造性の発揮	27.3	14.0	23.8
十分な収入	60.4	42.0	55.6
安定した生活	60.4	64.0	61.4
社会的な地位・名声	18.7	4.0	14.8
華やかな活躍	8.6	4.0	7.4
人や組織を動かす	12.2	2.0	9.5
自由な活動	23.7	22.0	23.3
人助けや社会奉仕	25.9	20.0	24.3
自分の時間を作れる	32.4	20.0	29.1
好きなことを仕事にできる	39.6	46.0	41.3
転職がない	8.6	2.0	6.9
家業を継ぐ	1.4	0.0	1.1
就職したい地域	16.5	18.0	16.9
その他	0.0	0.0	0.0

問32 就職や進学で教員や大学に希望すること

項目	男	女	合計
積極的な対策	22.3	22.0	22.2
就職先の開拓	22.3	24.0	22.8
教員が人材育成に積極的	12.9	24.0	15.9
教員が積極的に助言、指導、斡旋	17.3	22.0	18.5
希望はない	41.0	32.0	38.6
その他	0.7	2.0	1.1

問33 学生就職支援センターの利用

項目	男	女	合計
利用した	17.3	20.0	18.0
今後利用したい	27.3	22.0	25.9
利用しない	38.1	46.0	40.2
存在を知らなかった	14.4	8.0	12.7
場所を知らなかった	2.9	4.0	3.2

問34 学内の友達

項目	男	女	合計
平均	11.9	7.0	10.6
人数	139	50	189

問34 学内の友達で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	4.0	1.7	3.4
人数	139	50	189

問34 学外の友達

項目	男	女	合計
平均	25.4	16.4	23.0
人数	139	50	189

問34 学外の友達で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	6.3	4.1	5.8
人数	139	50	189

問35 大切にしている人間関係

項目	男	女	合計
同じクラス・研究室・ゼミ	69.1	80.0	72.0
クラブやサークル	41.7	34.0	39.7
寮や下宿など	11.5	8.0	10.6
入学後に親しくなった人	23.7	24.0	23.8
大学の教員	41.0	56.0	45.0
高校以来の友達	52.5	50.0	51.9
中学校以前からの友達	36.0	40.0	37.0
特にない	3.6	2.0	3.2
その他	4.3	4.0	4.2

問36 学内で留学生と話すことがあるか

項目	男	女	合計
よくある	14.4	18.0	15.3
ときどきある	13.7	18.0	14.8
ほとんどない	18.7	12.0	16.9
まったくない	53.2	52.0	52.9

問37 友人関係はうまくいっているか

項目	男	女	合計
うまくいっている	32.4	34.0	32.8
だいたいうまくいっている	58.3	60.0	58.7
あまりうまくいっていない	7.9	4.0	6.9
まったくうまくいっていない	1.4	2.0	1.6

問38 興味や関心を持っていること

項目	男	女	合計
政治・社会問題	41.0	24.0	36.5
授業・勉強・研究	58.3	70.0	61.4
友人関係や恋愛	30.2	40.0	32.8
家族・家庭のこと	38.1	48.0	40.7
趣味・遊び	66.2	54.0	63.0
スポーツ	48.2	12.0	38.6
進路	31.7	32.0	31.7
アルバイト	15.1	10.0	13.8
芸能関係	9.4	6.0	8.5
音楽・文芸・芸術	28.8	36.0	30.7
ボランティア	5.8	6.0	5.8
旅行・留学	29.5	40.0	32.3
その他	0.7	6.0	2.1

問39 平日の授業の空き時間を過ごす場所

項目	男	女	合計
研究室や実習・実験室	77.7	80.0	78.3
空き教室	3.6	2.0	3.2
クラブ・サークルの部室	1.4	2.0	1.6
生協の店舗	6.5	6.0	6.3
図書館	5.0	10.0	6.3
大学会館	0.7	0.0	0.5
キャンパスの庭	0.0	2.0	0.5
学生ホール	0.0	0.0	0.0
学外	19.4	16.0	18.5
その他	5.8	8.0	6.3

問40 新聞をどのくらい読むか

項目	男	女	合計
毎日読む	17.3	14.0	16.4
週に5～6日	3.6	6.0	4.2
週に3～4日	7.2	10.0	7.9
週に1～2日	14.4	28.0	18.0
新聞は読まない	57.6	42.0	53.4

問40 新聞を一日に読む時間

項目	男	女	合計
5分未満	6.8	6.9	6.8
5分以上10分未満	28.8	27.6	28.4
10分以上30分未満	47.5	44.8	46.6
30分以上1時間未満	11.9	13.8	12.5
1時間以上2時間未満	1.7	3.4	2.3
2時間以上	3.4	3.4	3.4

問41 テレビのニュースをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	52.5	60.0	54.5
週に5～6日	3.6	12.0	5.8
週に3～4日	12.9	10.0	12.2
週に1～2日	10.1	4.0	8.5
ニュースは見ない	20.9	14.0	19.0

問41 テレビのニュースを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	2.7	2.3	2.6
5分以上10分未満	7.3	7.0	7.2
10分以上30分未満	34.5	30.2	33.3
30分以上1時間未満	37.3	37.2	37.3
1時間以上2時間未満	14.5	20.9	16.3
2時間以上	3.6	2.3	3.3

問42 パソコンのニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	60.4	54.0	58.7
週に5～6日	8.6	4.0	7.4
週に3～4日	7.9	12.0	9.0
週に1～2日	14.4	18.0	15.3
ニュースは見ない	8.6	12.0	9.5

問42 パソコンのニュースサイトを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	4.7	4.5	4.7
5分以上10分未満	18.9	31.8	22.2
10分以上30分未満	36.2	34.1	35.7
30分以上1時間未満	28.3	20.5	26.3
1時間以上2時間未満	10.2	4.5	8.8
2時間以上	1.6	4.5	2.3

問43 携帯電話のニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	38.1	38.0	38.1
週に5～6日	5.8	4.0	5.3
週に3～4日	7.2	8.0	7.4
週に1～2日	5.0	6.0	5.3
ニュースは見ない	43.9	44.0	43.9

問43 携帯電話のニュースサイトを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	6.4	10.7	7.5
5分以上10分未満	26.9	50.0	33.0
10分以上30分未満	37.2	28.6	34.9
30分以上1時間未満	21.8	7.1	17.9
1時間以上2時間未満	5.1	0.0	3.8
2時間以上	2.6	3.6	2.8

問44 関心を持っているニュース

項目	男	女	合計
トップニュース	76.6	85.4	78.9
社会面	59.9	64.6	61.1
政治面	51.1	22.9	43.8
経済面	41.6	12.5	34.1
国際面	45.3	29.2	41.1
文化面	23.4	37.5	27.0
家庭面	5.8	14.6	8.1
科学面	42.3	31.3	39.5
スポーツ面	43.8	10.4	35.1
地域・地方面	27.7	29.2	28.1
テレビ番組表	12.4	20.8	14.6

問45 SNSをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	55.4	54.0	55.0
週に5～6日	3.6	6.0	4.2
週に3～4日	6.5	6.0	6.3
週に1～2日	6.5	8.0	6.9
SNSは見ない	28.1	26.0	27.5

問45 SNSを一日見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	6.0	2.7	5.1
5分以上10分未満	16.0	29.7	19.7
10分以上30分未満	31.0	21.6	28.5
30分以上1時間未満	26.0	21.6	24.8
1時間以上2時間未満	9.0	13.5	10.2
2時間以上	12.0	10.8	11.7

問45 参加しているSNS

項目	男	女	合計
Twitter	47.0	32.4	43.1
Facebook	61.0	64.9	62.0
Mixi	15.0	10.8	13.9
LINE	77.0	73.0	75.9
その他	1.0	2.7	1.5

問45 SNSでトラブルに遭遇したことがあるか

項目	男	女	合計
ある	1.0	8.1	2.9
ない	99.0	91.9	97.1

問45 SNSでのトラブル内容

項目	男	女	合計
人間関係	100.0	0.0	25.0
金銭面	0.0	33.3	25.0
その他	0.0	66.7	50.0

問46 授業課題本以外で読む本の数

項目	男	女	合計
本は読まない	27.3	14.0	23.8
1冊以下	15.1	20.0	16.4
1冊程度	31.7	32.0	31.7
2ないし3冊	13.7	22.0	15.9
4冊以上	12.2	12.0	12.2

問47 インターネットでのトラブル

項目	男	女	合計
はい	7.2	10.0	7.9
いいえ	92.8	90.0	92.1

問47 インターネットでのトラブル内容

項目	男	女	合計
ウイルスやワームに感染した	40.0	40.0	40.0
迷惑メールを受信した	90.0	80.0	86.7
メールやホームページ等での嫌がらせ	10.0	20.0	13.3
掲示板等が荒らされた	0.0	20.0	6.7
架空請求された	20.0	60.0	33.3
詐欺にあった	20.0	0.0	13.3
アカウントを不正利用された	0.0	40.0	13.3
自分のファイルを見られた	10.0	0.0	6.7
実際に会おうとつこく誘われた	0.0	20.0	6.7
商品等の購入に関してつこく勧誘	10.0	20.0	13.3
自分の個人情報勝手に公開	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

問48 通学時間(分)

項目	男	女	合計
平均	32.3	29.2	31.5
人数	139	50	189

問49 通学方法

項目	男	女	合計
徒歩	50.4	56.0	51.9
自転車	46.0	34.0	42.9
バイク	3.6	0.0	2.6
自家用車	14.4	26.0	17.5
公共交通機関	12.9	16.0	13.8

問49 自転車を止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐輪スペース	100.0	100.0	100.0
構内の路上	0.0	0.0	0.0
構外	0.0	0.0	0.0

問49 駐輪スペースの設置状況

項目	男	女	合計
十分	43.8	41.2	43.2
不足だが困っていない	37.5	58.8	42.0
不足して困っている	18.8	0.0	14.8

問49 自転車にツーロックをしているか

項目	男	女	合計
はい	17.2	23.5	18.5
いいえ	82.8	76.5	81.5

問49 自家用車止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐車場	85.0	84.6	84.8
構外の有料駐車場	0.0	0.0	0.0
その他	15.0	15.4	15.2

問49 駐車スペースの設置状況

項目	男	女	合計
十分	10.0	23.1	15.2
不足だが困っていない	40.0	38.5	39.4
不足して困っている	50.0	38.5	45.5

問50 朝食をとるか

項目	男	女	合計
毎日	43.9	62.0	48.7
5～6日	10.1	14.0	11.1
3～4日	15.8	8.0	13.8
1～2日	9.4	8.0	9.0
朝食はとらない	20.9	8.0	17.5

問51 睡眠時間

項目	男	女	合計
6時間以下	41.0	54.0	44.4
7～8時間	56.8	44.0	53.4
9時間以上	2.2	2.0	2.1

問51 睡眠状況

項目	男	女	合計
よい	75.5	68.0	73.5
わるい	24.5	32.0	26.5

問51 睡眠状況がわるい理由

項目	男	女	合計
寝つきが悪い	47.1	50.0	48.0
途中で目が覚める	23.5	6.3	18.0
昼夜逆転している	23.5	12.5	20.0
疲れがとれない	70.6	87.5	76.0
その他	8.8	6.3	8.0

問52 たばこを吸っているか

項目	男	女	合計
吸っている	15.8	0.0	11.6
以前は吸っていた	10.8	6.0	9.5
吸っていない	73.4	94.0	78.8

問52 たばこの喫煙本数(本)

項目	男	女	合計
平均	9.8	0.0	9.8
人数	22	0	22

問53 受動喫煙の機会

項目	男	女	合計
毎日	6.5	12.0	7.9
3～6日	7.9	6.0	7.4
1～2日	18.7	12.0	16.9
ほとんどない	46.0	42.0	45.0
まったくない	20.9	28.0	22.8

問54 飲酒の頻度

項目	男	女	合計
飲まない	15.1	26.0	18.0
週に1回以下	51.1	52.0	51.3
週に2～3回	20.9	12.0	18.5
週に4～5回	7.9	8.0	7.9
毎日	5.0	2.0	4.2

問55 健康のために心がけていること

項目	男	女	合計
スポーツをしている	36.0	16.0	30.7
体を動かすようにしている	40.3	42.0	40.7
自然・健康食品をとる	18.0	24.0	19.6
栄養バランスのとれた食事	30.2	42.0	33.3
栄養剤, 栄養飲料	9.4	8.0	9.0
規則正しい生活	24.5	28.0	25.4
健康診断を受けている	17.3	14.0	16.4
体調をチェックする	15.8	24.0	18.0
特にない	18.0	24.0	19.6

問56 定期健康診断を受けたか

項目	男	女	合計
全部受けた	88.5	82.0	86.8
一部を受けた	2.9	4.0	3.2
受けなかった	8.6	14.0	10.1

SQ 受けなかった理由

項目	男	女	合計
知らなかった	25.0	14.3	21.1
忘れていた	33.3	14.3	26.3
授業があった	0.0	0.0	0.0
他の予定・仕事を優先	25.0	57.1	36.8
受けるのが面倒	0.0	0.0	0.0
その他	16.7	14.3	15.8

問57 健康状態

項目	男	女	合計
良好	80.6	66.0	76.7
調子が悪い	14.4	24.0	16.9
病気だと思う	3.6	4.0	3.7
通院治療中	1.4	6.0	2.6

問58 自覚症状

項目	男	女	合計
自覚症状はない	33.8	20.0	30.2
疲れる	30.9	54.0	37.0
食欲がない	2.2	0.0	1.6
よく眠れない	10.1	10.0	10.1
頭痛がする	10.8	18.0	12.7
胃腸の調子が悪い	10.8	22.0	13.8
よく熱がある	0.7	2.0	1.1
便秘しやすい	6.5	24.0	11.1
下痢しやすい	19.4	6.0	15.9
イライラする	9.4	22.0	12.7
集中力の低下	18.7	30.0	21.7
無力感がある	15.1	18.0	15.9
憂鬱になる	12.9	24.0	15.9
その他	2.2	0.0	1.6

問59 悩んでいること

項目	男	女	合計
悩みはない	23.7	16.0	21.7
勉強や成績	20.1	16.0	19.0
修士・博士論文	43.9	40.0	42.9
研究	46.8	50.0	47.6
進路・就職	32.4	32.0	32.3
クラブ・サークル活動	1.4	0.0	1.1
人間関係	15.8	20.0	16.9
恋愛・結婚	12.9	22.0	15.3
自分自身の性格	11.5	18.0	13.2
健康上	10.8	8.0	10.1
性のこと	8.6	4.0	7.4
経済的なこと	18.0	22.0	19.0
家庭環境・家族	10.1	18.0	12.2
仕事	12.2	26.0	15.9
その他	1.4	0.0	1.1

問60 悩みの対処

項目	男	女	合計
自分自身で解決	53.2	36.0	48.7
誰かに相談	20.9	34.0	24.3
なりゆきにまかせる	25.2	30.0	26.5
その他	0.7	0.0	0.5

問61 悩みの相談相手

項目	男	女	合計
相談しない	30.9	18.0	27.5
相談する人がいない	5.8	6.0	5.8
友人	41.0	66.0	47.6
先輩・後輩	11.5	24.0	14.8
家族	30.9	44.0	34.4
親戚	1.4	2.0	1.6
教員	11.5	12.0	11.6
事務職員	0.0	0.0	0.0
保健管理センター	1.4	0.0	1.1
なんでも相談窓口	0.0	0.0	0.0
職場の上司	7.2	6.0	6.9
職場の同僚	3.6	4.0	3.7
その他	2.2	0.0	1.6

問62 保健管理センターやなんでも相談窓口について知っているか

項目	男	女	合計
知っている	43.2	58.0	47.1
知らなかった	56.8	42.0	52.9

問62 保健管理センターやなんでも相談窓口を知ったきっかけ

項目	男	女	合計
入学式の説明	43.3	55.2	47.2
学部学科のオリエンテーション	20.0	20.7	20.2
学生生活ガイド	25.0	20.7	23.6
ホケカン健康手帳	6.7	3.4	5.6
友達から	16.7	6.9	13.5
先生から	11.7	6.9	10.1
その他	5.0	13.8	7.9

問63 大学をやめたいと思ったこと

項目	男	女	合計
ない	82.7	80.0	82.0
ある	17.3	20.0	18.0

問63 大学をやめたいと思った理由

項目	男	女	合計
研究科、講座等が合わない	54.2	10.0	41.2
能力に合わない	29.2	30.0	29.4
授業がおもしろくない	29.2	10.0	23.5
進路変更	20.8	0.0	14.7
遊びたい	8.3	10.0	8.8
経済的理由	12.5	10.0	11.8
家庭の事情	8.3	0.0	5.9
日常生活の問題	16.7	10.0	14.7
恋愛・結婚問題	4.2	0.0	2.9
就職に不利	4.2	0.0	2.9
興味をなくした	45.8	10.0	35.3
他にやりたことを見つけた	16.7	0.0	11.8
学生との人間関係	0.0	10.0	2.9
教員との関係	8.3	20.0	11.8
仕事の事情	8.3	10.0	8.8
単位を取れなかった	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	20.0	5.9

問64 家計支持者の職業

項目	男	女	合計
民間企業	30.2	14.0	25.9
公務員・公的機関職員	12.9	16.0	13.8
教育職	9.4	20.0	12.2
研究職	2.2	2.0	2.1
専門職	23.7	26.0	24.3
農林漁業	4.3	2.0	3.7
自営業(自宅で)	7.2	0.0	5.3
自営業(自宅以外)	4.3	4.0	4.2
パート・アルバイト	3.6	4.0	3.7
無職・失業中	2.2	6.0	3.2
その他	0.0	6.0	1.6

問65 家計支持者の年収

項目	男	女	合計
100万円未満	6.5	10.0	7.4
100万円～200万円未満	7.2	4.0	6.3
200万円～400万円未満	15.1	30.0	19.0
400万円～600万円未満	25.2	20.0	23.8
600万円～800万円未満	20.9	22.0	21.2
800万円～1,000万円未満	12.2	8.0	11.1
1,000万円以上	10.8	2.0	8.5
その他	2.2	4.0	2.6

問66 生活費支出計(円)

項目	男	女	合計
平均	142,785	142,901	142,814
人数	104	34	138

問66 食費(円)

項目	男	女	合計
平均	27,884	25,361	27,244
人数	106	36	142

問66 住居費(円)

項目	男	女	合計
平均	36,910	39,588	37,570
人数	104	34	138

問66 光熱水費(円)

項目	男	女	合計
平均	9,858	8,897	9,618
人数	102	34	136

問66 娯楽費(円)

項目	男	女	合計
平均	12,385	16,294	13,348
人数	104	34	138

問66 研究・勉学費(円)

項目	男	女	合計
平均	11,772	14,339	12,430
人数	90	31	121

問66 交通費(円)

項目	男	女	合計
平均	6,522	9,000	7,147
人数	89	30	119

問66 通信費(円)

項目	男	女	合計
平均	6,247	9,206	7,005
人数	93	32	125

問66 貯金(円)

項目	男	女	合計
平均	105,060	395,713	177,123
人数	91	30	121

問66 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	10,880	20,000	13,160
人数	75	25	100

問66 収入計(円)

項目	男	女	合計
平均	176,194	295,739	207,295
人数	91	32	123

問66 実家から(円)

項目	男	女	合計
平均	29,903	40,190	32,226
人数	72	21	93

## 問66 奨学金(円)

項目	男	女	合計
平均	48,929	44,696	47,882
人数	72	21	93

## 問66 仕事(円)

項目	男	女	合計
平均	161,633	159,986	161,235
人数	91	29	120

## 問66 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	2,059	0	1,641
人数	51	13	64

## 問67 預貯金はあるか

項目	男	女	合計
ある	66.9	78.0	69.8
ない	33.1	22.0	30.2

## 問67 預貯金の金額(円)

項目	男	女	合計
平均	2,437,108	1,767,813	2,244,158
人数	79	32	111

## 問68 クレジットやローンの残額はあるか

項目	男	女	合計
ある	14.4	26.0	17.5
ない	85.6	74.0	82.5

## 問68 貸与奨学金の返済額(円)

項目	男	女	合計
平均	1,060,946	1,573,333	1,265,901
人数	18	12	30

## 問68 奨学金を除いたクレジットやローンの返済額(円)

項目	男	女	合計
平均	2,062,279	4,355,005	2,881,110
人数	18	10	28

## 問69 仕事をしているか

項目	男	女	合計
している	61.2	72.0	64.0
していない	38.8	28.0	36.0

## 問69 何日仕事をしているか

項目	男	女	合計
1～3日	32.9	19.4	28.9
4～6日	27.1	36.1	29.8
毎日	32.9	36.1	33.9
不定期	7.1	8.3	7.4

## 問69 一日の仕事時間

項目	男	女	合計
決まっている	71.8	88.9	76.9
決まっていない	28.2	11.1	23.1

## 問69 一日の仕事時間(時間)

項目	男	女	合計
平均	7.2	7.3	7.2
人数	58	31	89

## 問69 仕事の目的

項目	男	女	合計
経済的負担の軽減	57.6	41.7	52.9
遊びやつきあいのお金	18.8	19.4	19.0
自由に使えるお金が欲しい	29.4	19.4	26.4
社会経験	15.3	11.1	14.0
将来の仕事を経験	5.9	2.8	5.0
経済的に自立したい	16.5	22.2	18.2
貯金をしたい	22.4	25.0	23.1
研究費・学会参加費	14.1	16.7	14.9
その他	11.8	22.2	14.9

## 問70 授業料出所

項目	男	女	合計
親	39.6	24.0	35.4
親戚	0.7	0.0	0.5
奨学金	12.9	16.0	13.8
仕事	34.5	42.0	36.5
免除されている	12.2	18.0	13.8
その他	0.0	0.0	0.0

## 問71 奨学金の申し込みをしたことがあるか

項目	男	女	合計
日本学生支援機構	60.4	50.0	57.7
その他の奨学金	16.5	22.0	18.0
申し込んだことがない	31.7	34.0	32.3

## 問71 奨学金を受けているか

項目	男	女	合計
日本学生支援機構	38.8	34.0	37.6
その他の奨学金	5.8	8.0	6.3
奨学金を受けていない	56.8	58.0	57.1

## 問71 今年度の授業料免除の申し込みをしたか

項目	男	女	合計
はい	36.0	34.0	35.4
いいえ	64.0	66.0	64.6

## 問71 今年度の授業料免除を受けているか

項目	男	女	合計
はい	24.5	32.0	26.5
いいえ	75.5	68.0	73.5

問72 現住所の居住形態

項目	男	女	合計
実家	16.5	32.0	20.6
下宿	3.6	2.0	3.2
アパート	66.2	56.0	63.5
学生寮	5.0	0.0	3.7
その他	8.6	10.0	9.0

問72 下宿・アパートの広さ

項目	男	女	合計
6畳未満(バス・トイレなし)	3.1	0.0	2.4
6畳未満(バス・トイレ付)	6.2	6.9	6.3
6畳～12畳未満(バス・トイレなし)	2.1	0.0	1.6
6畳～12畳未満(バス・トイレ付)	68.0	72.4	69.0
12畳以上	19.6	20.7	19.8
その他	1.0	0.0	0.8

問72 下宿・アパートの同居人

項目	男	女	合計
いない	76.3	100.0	81.7
家族・親戚	19.6	0.0	15.1
友人・知人	4.1	0.0	3.2

問73 所有しているもの

項目	男	女	合計
テレビ	72.7	80.0	74.6
ビデオ	6.5	8.0	6.9
ブルーレイ・HDDレコーダー	32.4	42.0	34.9
オーディオ機器	28.8	32.0	29.6
ゲーム機	49.6	16.0	40.7
冷蔵庫	82.7	82.0	82.5
洗濯機	74.1	80.0	75.7
クーラー・エアコン	62.6	72.0	65.1
加入電話	10.8	20.0	13.2
携帯・PHS	28.8	22.0	27.0
スマートフォン	70.5	76.0	72.0
パソコン	80.6	84.0	81.5
タブレット	22.3	14.0	20.1
プリンター	51.8	52.0	51.9
自転車	61.9	68.0	63.5
バイク	8.6	2.0	6.9
自動車	38.1	44.0	39.7

## 学生生活実態調査専門委員会

委員長	石川	玲	(保健学研究科)
委員	日比野	愛子	(人文学部)
	田中	義久	(教育学部)
	古川	賢一	(医学研究科)
	深瀬	政秋	(理工学研究科)
	牛田	千里	(農学生命科学部)
	栗原	由紀子	(人文学部)
	高橋	恵子	(保健管理センター)
	佐藤	友暁	(総合情報処理センター)
	工藤	弘文	(学生課)
	事務担当	澤田	祐子
粕谷		常好	(学生課)

本調査に多大なるご協力を賜りました弘前大学情報処理センターの葛西真寿センター長、研究推進部社会連携課共同センターグループの須藤勝弘氏と竹内淑怜女史に心より感謝申し上げます。

### 第7回 学生生活実態調査報告書

平成27年3月

弘前大学学務部学生課

〒036-8560 弘前市文京町1番地  
電話 0172-36-2111 (代表)